

CONTENTS



特集1 初の国産Palmデバイス

ソニーCLIEの魅力に迫る

6

Palm vol.2
Magazine
パーム・マガジン

Palm Magazine vol.2

Cover

Photo YUASA Tethuo

Art Direction MAKI Shuuzo

Palm Magazine Web

<http://www.ascii.co.jp/palm/>

news	エントリーユーザー向け低価格機 Palm Computing m100 登場!	24
	PHSユニットを内蔵した初のPalmデバイス Work Pad 31J	30
	Palmのニュースをピックアップ! information	35
useful	初心者歓迎 Palmの基本をマスターしよう	40
	本格的な手書き認識ソフトウェア 「NEOS GOGOPen for Palm」	74
	続々登場 スプリングボードモジュール	76
	Palm強化大作戦	86
	図解Palmの中身を見てみよう	92
	オンラインショッピングを実験 Webサイトでお買い物	98
	素朴な疑問に答えます! FAQ	106
	欲しかったPalmの情報はここにある! TO GO サイト案内板	136
	現行機種を一挙に紹介 Palm デバイスカタログ	140

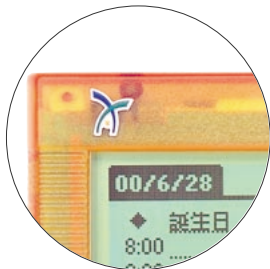
CONTENTS



特集2

あなたのPalmをステップアップ

50



variety 達人座談会
達人に聞くPalm使いこなし術 68

Webはゲーム天国！
Palmでゲームを楽しもう 81

(株)ジャストシステム 日本語入力の強力な助っ人
「ATOKPocket」 94

Palmウェア開発講座
カウンターアプリケーションを作ってみよう 112

開発環境の準備
CodeWarrior Liteをインストールする 116

Palmware 新着おすすめPalmウェア 122

厳選Palmウェア200 124

Present Webでアンケートに答えてプレゼントをもらおう！ 97

CD-ROMの使い方 119

CLiÉ

[クリエ]

2000年9月9日、初の国産Palmデバイスであるソニーの「CLiÉ」が発売された。もっとも注目されたのは、ジョグダイヤルやメモリースティックといったソニー独自の技術を採用したこと。特に片手で使えるジョグダイヤルは、これまでのPDAにはなかった軽快な操作性を実現している。直線的でスリムなデザインのCLiÉは、新しい時代を予感させるPalmデバイスと言ってもいいだろう。

新機軸は、ハードウェアだけではない。ソフトウェアに目を向けると、連文節変換が可能な日本語入力システム「ATOK Pocket」の搭載、パソコンとの画像のやり取りが簡単に行える「Picture Gear Pocket」など、ユーザーにとってはうれしい機能が満載だ。

ここでは、新しいPalmの世界を見せてくれるCLiÉの魅力を紹介しよう。



CLiÉ



CLiÉ



PART 1. CLIEのハ

ソニー独自の技術であるジョグダイヤルやメモリースティックに話題が集まるCLIEだが、USBクレードルやモバイルコミュニケーションアダプターなど、一歩先を行く充実したハードウェア環境を用意している。ここでは、PalmデバイスとしてのCLIEの基本的なスペックや特徴を見てみよう。

これがソニーのCLIEだ

初の純国産Palmデバイスとして発売された「^{クリエ}CLIE」は、家電AV業界では常に魅力的なデバイスを作り上げてきたソニー(株)がリリースした製品だけに、ハードウェアの細かな部分にも配慮した加工精度、日本人の手の大きさを考慮したデザインや質感など、注目すべき点は多い。

一見すると、その直線的でスリムなデザインが印象的だ。ポディーサイズは、幅70.9mm×奥行き15.2mm×高さ114.7mm。これまで最小最軽量だった「Palm x」と比べると、片手で握ったときのホールド感にもっとも影響する横幅が約7mm狭くなっている。これなら、日本人の手の大きさにもフィットするし、ジョグダイヤルの操作も片手で無理なく行える。

ポディーカラーは、カラー液晶の「PEG-S500C」とモノクロ液晶の「PEG-S300」で、ボタン周辺や液晶上部の本体色が異なっている。PEG-S500Cは濃いブルーとシルバー、PEG-S300はグレーとシルバーのツートンカラーが採用されている。パーソナルをターゲットとしながらも、ビジネスユースでも違和感がないようにシックにまとめたあたりは、センスを重視するソニーらしさといえるのかもしれない。

CLIE本体の主な仕様

モデル	カラー：PEG-S500C / モノクロ：PEG-S300
OS	日本語版Palm OS Ver.3.5
CPU	Dragonball EZ (20MHz)
メモリー	8MB (DRAM) / 4MB (フラッシュメモリー) 8~64MB (メモリースティック)
インターフェース	USB(クレードル)、シリアル、赤外線
LCD表示装置	半透過型バックライト搭載STNカラー液晶(S500C) / バックライト搭載モノクロ液晶(S300)
解像度	160×160ドット
表示色 / 階調	256色カラー(S500C) / モノクロ16階調(S300)
外形寸法	幅70.9×奥行き15.2×高さ114.7mm
質量	約120g



① ジョグダイヤル
操作性に定評のあるジョグダイヤルは、左側面の上部に装備されている。アクションは、上回し、下回し、プッシュ、上押し回し、下押し回しの5つが用意されている。ただし、ジョグダイヤルで操作するには、アプリケーションがジョグダイヤルに対応している必要がある。

ードウェアを見てみよう

..... 難波 茂広



② 液晶画面

カラー版のPEG-S500Cはバックライト付き半透過型STNカラー液晶ディスプレイを、モノクロ版のPEG-S300はバックライト付き白黒液晶ディスプレイを採用している。半透過型カラー液晶パネルは、周囲の外光の明るさにより視認性が変わってくるので、「Palm c」などに採用されている透過型液晶パネルとはまったく異なる特性を示す。

明るい室内なら、半透過型も透過型も同じように見やすい。しかし、室内が薄暗い場合、バックライトが常時点灯している透過型液晶は、高いコントラストが得られるので視認性が良くなる。それに対して、通常時はバックライトを点灯させない半透過型液晶は、外光が得られないので視認性が悪くなる。半透過型液晶のバックライトは、外光を取り込むことができない真暗な環境で利用するために搭載されているので“ほのかな明るさ”でしか点灯せず、薄暗いところで点灯してもほとんど視認性は変わらないからだ。

逆に、直射日光が照りつけるような屋外では、外光をたくさん取り込むことができる半透過型液晶は視認性が良いが、透過型液晶はバックライトよりも日光の明るさが勝るためにほとんど見えなくなってしまう。つまり、PEG-S500Cは、アウトドアに向けたカラーPalmデバイスといえる。

一方、PEG-S300が搭載している白黒液晶は、Palm xとほぼ同等かやや高いコントラストを持ち、文字などの視認性は非常に良好だ。グレースケール対応アプリケーションでも液晶がにじむことはなく、白黒液晶を搭載したPalmデバイスの中ではかなり完成度は高い。

③ シルクスクリーンエリア

左右両サイドに、ホーム、メニュー、キーボード、検索の4つのアイコンがあり、グラフィティエリアの左側には、日本語版Palmデバイスの特徴である、変換、決定、あ/ア、日/英アイコンが配置されている。また、メニューアイコンの下には、液晶のコントラストを調整するコントラストアイコンが設置されている。

④ 各種アプリケーションボタン

従来のPalmデバイスと同様に、向かって左から、予定表ボタン、アドレス帳ボタン、上下ボタン、To Doボタン、メモ帳ボタンが配置されている。電源オフの状態から、上下ボタン以外のアプリケーションボタンを押すと、電源がオンとなり該当するアプリケーションが起動する。

⑤ 電源ボタン

電源のオン/オフを行う電源ボタンは、本体上面の右端に配置されている。ボタン自体は小さいが、滑り止めの突起がついているので、この突起を背面側に倒すようにすると押しやすい。なお、電源ボタンを押しながらリセットボタンを押すと、ハードリセットされて工場出荷の状態になる。

⑥ スタイルラス

スタイルラスはこの位置に挿入する。独自形状だが、両端に取り外し可能な樹脂パーツを採用し、中央部分は金属製パーツを使って適度な重量を持たせているので、基本的にはほかの機種に付属しているものと似たような構造だ。上部の樹脂パーツを取り外すと、リセットピンが出てくる。

⑦ メモリースティックスロット

CLIE本体上面のやや右よりのところに、メモリースティックを挿入する専用のスロットが用意されている。スロットの開口部分のサイズは22.5mm×3mmで、メモリースティックが挿入されていないときに開口部分をふさぐためのシャッターなどは、特に用意されていない。

⑧ 赤外線通信ポート

従来のPalmデバイスとは異なり、赤外線通信ポートは本体上面の左端に配置されている。そのため、赤外線通信ポートを向かい合わせるときには注意が必要だ。CLIE同士で赤外線通信を行う場合には、本体をまっすぐ向かい合わせるのではなく、互いに右側にずらすことになる。

⑨ インターフェースコネクター

本体下面中央部には、HotSyncクレードルやACアダプター、モバイルコミュニケーションアダプターを接続するためのインターフェースコネクターが配置されている。コネクターは13個の端子が間仕切りによって分けられていて、GNDとなる一番左の端子だけがわずかに出っ張っている。コネクターの両側には、アダプターのツメとドッキングするための穴が用意されている。

なお、CLIEの電源は、内蔵の充電式リチウムイオン電池を使用している。使用可能時間は、通常使用時で約15日間となっており、モノクロでもカラーでもほとんど変わらない。ただし、データ通信や赤外線通信を行うとかなり電力を消費するので、このような使い方を頻繁に行うユーザーはバッテリー切れに注意が必要だ。

ソニー CLIE の 魅力に迫る

Palmに初めて導入された注目の機能

ジョグダイヤル

ジョグダイヤルは、携帯電話やICレコーダー、VAIOシリーズなどにソニーが採用している共通のインターフェースデバイスだ。ダイヤルを回して押すだけというシンプルな動作で、さまざまな操作を簡単かつ直感的に行うことができる。CLIEでは、向かって左側面の上部に、このジョグダイヤルが装備されている。左手で持ったときは親指で、右手で持つ場合は人さし指で操作できる位置にある。スタイラスを使わなくても、片手だけでほとんどの操作ができるように考えられているわけだ。

ジョグダイヤルのアクションは、単にダイヤルを回転させるだけの「上回し」と「下回し」、ダイヤルを強く押し込む「ブッシュ」、ダイヤルを押し込んだまま回転させる「上押し回し」と「下押し回し」の5つ。ただし、ジョグダイヤルで操作するに

は、使用するアプリケーションがジョグダイヤルに対応している必要がある。

CLIEのホーム画面で表示されるアイコンをよく見ると、予定表やアドレス、メモ帳、To Do、ATOK設定など、左下に丸いジョグダイヤルのマークが付いているものがある。これは、ジョグダイヤル対応のアプリケーションであることを表している。例えば、予定表では表示画面の切り替えや表示する日付の移動、アドレスやTo Do、メモ帳では画面のスクロールや項目の移動、選択といった基本的な動作が、ジョグダイヤルに割り当てられている。ホーム画面からは、ダイヤルを回転させることでアプリケーション一覧から選択し、そのまま起動することもできる。

標準搭載されている「ATOK Pocket」を使ってみると、ジョグダイヤルの便利さを実感するはずだ。変換候補の一覧を表示させてから確定するまでの一連の操作、そして変換する文節の長さの切り替えなど、文字を入力したあとの操作はすべてジョグダイヤルだけで行うことができる。

ホーム画面でジョグダイヤルを回すと、アプリケーションを選択して起動できるようになる



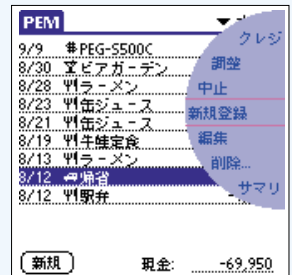
いち早くジョグダイヤルに対応した山田達司氏作のDOCリーダー「J-DOC Reader」のAbout画面



「J-DOC Reader」の操作設定画面。画面下部の項目がジョグダイヤルの操作に関する設定だ



福本修仁氏作の支出管理ソフト「PEM」の画面。ジョグダイヤル対応で操作性を向上させている



ジョグダイヤルを押すと、ユニークなダイヤル式のメニューが表示される



回しやすく押しやすい形状のジョグダイヤル



ジョグダイヤルは、CLIE本体左側面の上部に装備されている



左手で持つと、ちょうど親指で操作できる位置にある

メモリースティック

メモリースティックは、デジタルビデオカメラやサイバースhotsシリーズ、メモリースティックウォークマンなどのソニー製品に採用されている、データ記憶用の小型フラッシュメモリーカードだ。本体は薄紫色で、4、8、16、32、64MB容量の製品がすでにリリースされている。昨年末からは、著作権保護技術に対応したマジックゲート



多くのソニー製品に採用されているメモリスティック

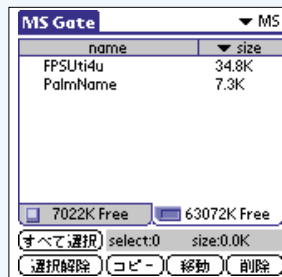


CLIE本体上面にメモリスティック用の専用スロットが装備されている

(MG)メモリスティックも登場し、その用途は広がりを見せている。

CLIE本体の上面には、このメモリスティックを挿入する専用スロットが装備されている。標準搭載アプリケーションの「MS Gate」を使用すれば、本体メモリーとメモリスティック間のファイルの移動やコピー、削除、それにメモリスティックから本体へのアプリケーションのインストール、メモリスティックのフォーマットなどを行うことができる。CLIEに標準添付されている8MBのメモリスティックには、付属CD-ROMと同様にあらかじめ各種アプリケーションが収録されている。したがって、パソコンを経由しなくても、直接メモリスティックから標準添付のアプリケーションをインストールできるのである。

なお、標準添付の「Palmscape」にはWebページを直接メモリスティックに保存する機能が、同じく「PictureGear Pocket」にはサイバースhootで記録したデジタル写真のプレビュー画像を直接読み込む機能が用意されている。



メモリスティック内のファイルを管理する専用のソフトウェア「MS Gate」

そのほかの付属品

クレードルとACアダプター

CLIE本体には、HotSync用のクレードルと、内蔵のリチウムイオンバッテリーを充電するためのACアダプターが標準添付されている。クレードルは、ネイティブのUSBデバイスとして設計されているので、シリアル経由の接続と比べると、HotSyncに要する時間が大幅に短縮できる。このUSBクレードルは、パソコンに接続するだけで自動的に認識される一般的なUSB機器とは少々異なる設計になっており、HotSyncを実行しているときだけパソコンからUSB機器として認識される。なお、パソコン側にUSBポートがない場合は、別途シリアル接続クレードルを購入する必要がある。

また、クレードル後部にはACアダプターを接続するためのコネクタが装備されており、ここにACアダプターを接続することで、CLIEをクレードルに置くだけで充電す

ることができるようになっている。通常はクレードルに置いて充電し、旅行などの際にはACアダプターだけを持って行けばいいわけだ。



CLIEに標準で付属するHotSync用USBクレードル



クレードルもCLIEに合わせてスリムなデザインになっている



CLIE付属のACアダプター。旅行などの際には、これだけ持っていけばいい



クレードル後部には、ACアダプターを接続するためのコネクタが装備されている

モバイルコミュニケーションアダプター

モバイルコミュニケーションアダプターは、CLIEのインターフェースコネクタに接続して、PDC方式の携帯電話やPHSと接続してデータ通信を行うための専用アダプターだ。アダプター自体には電池を内蔵せず、電源をCLIE本体から供給する方式なので、通信時のバッテリー切れには注意が必要だ。しかし、そのぶん大幅に小型化され、CLIEと接続したときに統一感のあるスリムなデザインに仕上がっている。

アダプターの正面にはクレードルと同じ

ようにHotSyncボタンが、左右側面には本体から取り外すためのリリースボタンがそれぞれ配置されている。HotSyncボタンを押したときの動作は、環境設定のボタンパネルで設定することができるので、よく使う通信アプリケーションを割り付けておくといいだろう。

また、標準でPDC用、PHS用1、PHS用2の3種類のケーブルが付属しているので、cdmaOne方式以外の電話機なら、そのまますぐにデータ通信が始められる。



モバイルコミュニケーションアダプターには、標準でPDC用、PHS用1、PHS用2の3種類のケーブルが付属している



CLIE本体とドッキングするインターフェースコネクタ



PDC用ケーブルで携帯電話と接続したところ。CLIEとモバイルコミュニケーションアダプターの一体感がよくわかる

PART 2.

一味違うCLIEの標準搭載アプリケーション

..... 難波 茂広

初の国産PalmデバイスであるCLIEには、「ATOK Pocket」をはじめ、「PictureGear Pocket」や「gMedia」、「Palmscape」など、標準搭載されているソフトウェアを見ても、ソニー製品らしい“こだわり”が随所に感じられる。ここでは、実際にユーザーが利用する各種アプリケーションについて順に紹介しよう。

Palm OS標準アプリケーションとMS Gate

CLIEに搭載されているPalm OS標準のPIMアプリケーションは、そのほとんどがCLIE専用バージョンで、ジョグダイヤルに対応したカスタマイズがなされている。各種操作を片手だけで行えるので、操作性はかなり向上している。

アプリケーションのアイコンが並ぶホーム画面では、ジョグダイヤルを押し込むと表示カテゴリーが切り替わり、回転させると現在表示しているカテゴリーのアプリケーション選択メニューが表示される。メニューが表示されているときに、アプリケーションを選択してジョグダイヤルを押し込めば、そのアプリケーションが起動するという仕組みになっている。

操作性が向上した標準アプリケーション

「予定表」でのジョグダイヤルの動作は、回転で日付の変更、押し込みで表示方法の変更となっている。同じことは、上下ボタンと予定表ボタンでも行えるのだが、片手で簡単に操作できる分だけ、使いやすくなっている。

「アドレス」や「メモ帳」では、リスト上でジョグダイヤルを押し込むと表示カテゴリーが切り替わり、回転でデータを選択し

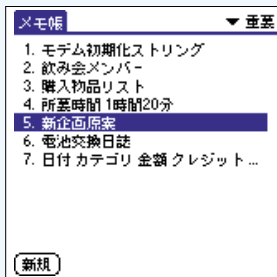
て押し込むと詳細表示に切り替わる。データの詳細表示画面では、上下ボタンが1画面単位のスクロールなのに対して、ジョグダイヤルの回転は1行単位でのスクロールに割り当てられている。なお、詳細表示画面でジョグダイヤルを押し込むと、リスト画面に切り替わる。

「To Do」では、回転でデータを選択を行い、押し込みはメモが添付されたデータであればメモ表示、それ以外では表示カテゴリーの変更に割り当てられている。

CLIEに搭載されたアドレス3.5Sでは、PictureGear Pocket形式の画像ファイルをアドレスデータに貼り付けることが可能になってい

る。この写真付きアドレスデータは、CLIE同士なら赤外線ですそのまま転送できるのだが、CLIE以外のPalmデバイスに送信するときは互換性がない。そこで、ビームする際には、写真の有無を選択できるようになっている。

なお、CLIEのアドレス上では写真画像が添付されていても、パソコン上のPalm Desktopのアドレスには、写真まで含めて同期されることはない。あくまでも、CLIE内だけの機能となる。



メモ帳のリスト画面では、ジョグダイヤルの回転でメモを選択することができる



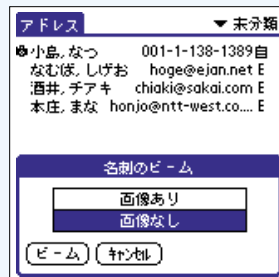
To Doでは、ジョグダイヤルの押し込みで右上のカテゴリーが切り替わる



予定表では、ジョグダイヤルの押し込みで表示方法を切り替える



CLIEなら、写真を添付したアドレスデータが簡単に作成できる

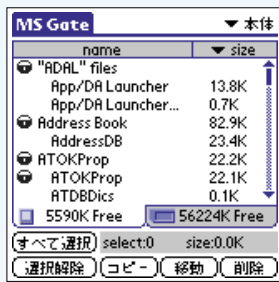


赤外線通信でアドレスデータを送るときは、写真の有無を選択する

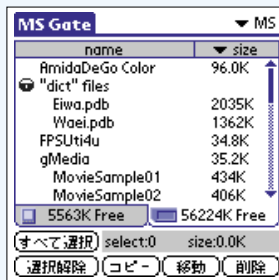
メモリスティックと本体を結ぶ MS Gate

「MS Gate」は、CLIE本体とメモリスティック内のファイルのコピー、移動、削除などを行うファイルユーティリティである。本体やメモリスティック内のファイルを一覧形式でリスト表示し、選択したファイルを一括で操作することができる。また、メモリスティックをフォーマットする機能も搭載されている。

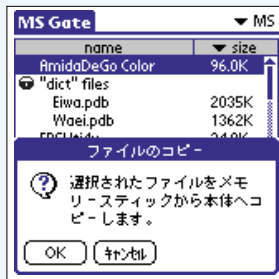
MS Gateを使えば、ウィンドウ上の「¥PALM¥PROGRAMS¥MSFILES」フォル



MS Gateで表示された本体内のファイル。左側の鍵マークは、ロックされたファイルを表している



MSタブをタップすると、メモリスティック内のファイルリストを表示する



ファイルをコピーする前に表示される確認のダイアログ



ファイルをコピー中は、メモリスティックを抜かないように警告が出る

ダーに保存したPalm用アプリケーションやデータベースを、直接CLIEにインストールすることも可能だ。実は、CLIE本体に付属する8MBのメモリスティックには、標準添付される各種アプリケーションが収納されている。したがって、パソコンを経由せずメモリスティックから、これらのアプリケーションをインストールできるように

なっている。

ファイルのリスト表示では、アプリケーションとそのアプリケーション用データベースごと、つまりクリエイターIDごとにまとめてソートされる。アプリケーションとデータベースをまとめてインストールするときなど、どのファイルが必要か迷わずにすむのでなかなか便利だ。

連文節変換を実現したATOK Pocket

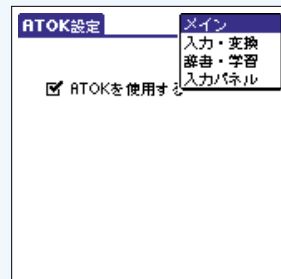
「ATOK Pocket」は、㈱ジャストシステムが開発したPalm用日本語変換ソフトである。これまでの日本語入力は、グラフィティによるアルファベットの入力とPalm OS日本語版にあらかじめ用意されていたローマ字変換機能を組み合わせただけで、日本語への変換は単文節あるいは単語単位で行えなかった。

しかし、CLIEに搭載されたATOK Pocketは、小さなプログラムサイズながら、連文節変換機能を搭載している。パソコン用のATOKと比較しても十分に高い変換精度を誇り、なおかつ高速な変換が行えるのが特徴だ。さらに、CLIEではジョグダイヤルを利用して、候補語の選択や文字の確定が可能になっている。また、ROM内に搭載され

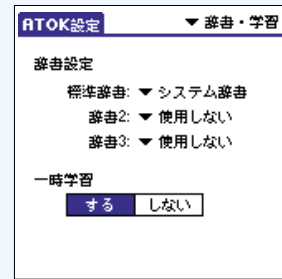
ているので、内蔵RAM容量を圧迫しないというのうれしい仕様だ。

ATOK Pocketの設定

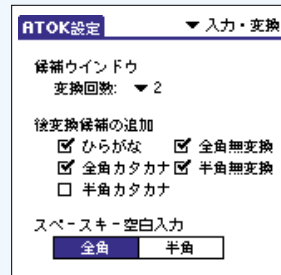
ATOK Pocketの設定は、「ATOK設定」と「辞書UT」の2つのアプリケーションで行う。まず、ATOK Pocketを利用するためには、ATOK設定を起動して設定する必要がある。ATOK設定を最初に起動すると、使用許諾契約の同意を確認される。このとき入力する使用者の姓・名はユーザー辞書に登録されるので、今後自分の名前を変換するときは誤変換なく入力できるという仕組みになっている。なお、通常の単語登録は、辞書UTを利用する。



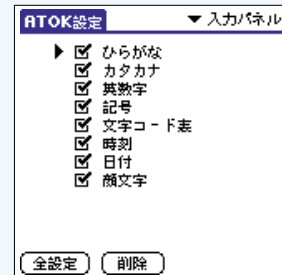
ATOK設定では、メイン、入力・変換、辞書・学習、入力パネルの4つの設定を呼び出すことができる



「辞書・学習」パネルで、使用する辞書の登録と一時学習のオン/オフを設定できる

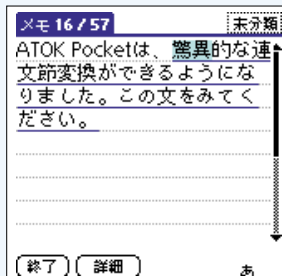


「入力・変換」パネルで、候補ウィンドウ、後変換候補の追加、スペースキー入力などを設定する

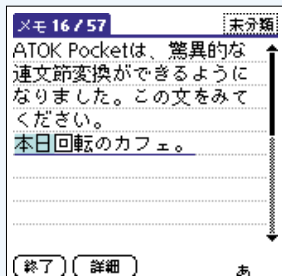


「入力パネル」設定では、入力パネルのリストに表示したいものを選択する

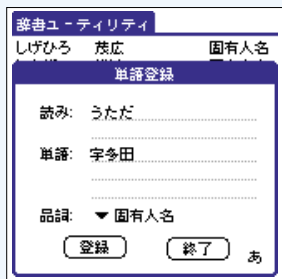
ソニーCLIEの魅力に迫る



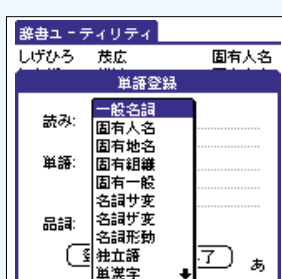
実際に連文節変換してみると、簡単な文ならほとんど手直しの必要はない



パソコン用のATOK13発売時に話題になったフレーズだが、残念ながら誤変換だった



辞書UTの新規単語登録の画面。読み、単語、品詞を設定して登録すればいい



登録する品詞は、一般名詞や各種固有名詞など、パソコン用ATOKと同様に豊富だ

「MS Gate」は、CLIE本体とメモリースティック内のファイルのコピー、移動、削除などを行うファイルユーティリティである。本体やメモリースティック内のファイルを一覧形式でリスト表示し、選択したファイルを一括で操作することができる。また、メモリースティックをフォーマットする機能も搭載されている。

MS Gateを使えば、ウィンドウ上の「¥PALM¥PROGRAMS¥MSFILES」フォルダーに保存したPalm用アプリケーションやデータベースを、直接CLIEにインストールすることも可能だ。実は、CLIE本体に付属する8MBのメモリースティックには、標準添付される各種アプリケーションが収録

ATOK Pocketでの日本語入力

ATOK Pocketは、Palm OS日本語版の日本語変換機能を完全に置き換えるものなので、文字を入力するあらゆるシチュエーションでインラインでの利用が可能だ。実際には、日本語を入力する位置にカーソルを置き、グラフィティーエリアの左側の「日/英」ボタンをタップして「かな入力」モードにするだけで利用できる。あとはグラフィティーでローマ字を入力すれば、次々とカーソル位置にアンダーライン付きのかな文字が入力されていく。変換したい文章の入力が終わったら、グラフィティーで

「スペース」を入力するか変換ボタンをタップすることで、連文節単位で変換される。

変換機能には、連文節かな漢字変換機能、候補学習を行うメモリー学習機能、システム辞書と2種類の補助辞書による辞書変換機能（ただし、現在はシステム辞書のみで補助辞書は後日配布される）、後変換候補の追加によるカタカナや英単語の入力などが搭載されている。実際に変換してみると、Palm OS標準搭載の日本語変換機能とは比較できないほど驚異的な変換精度で、メールなどに使うような文章であれば、誤変換の少なさ、文節区切りの的確性は十分満足できるレベルだ。また、メモリー学習機能により、一度入力したフレーズは再度変換するときにはかなりの確率で正しく変換されるようになる。

ジョグダイヤルでの変換操作

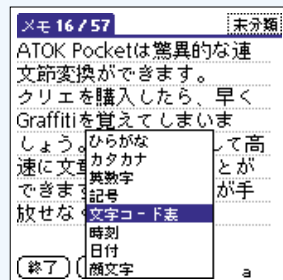
変換候補や文節区切りに満足できなければ、そのときはジョグダイヤルの出番だ。ATOK Pocketでは、変換候補の一覧を表示させてから変換確定するまでの一連の操作、そして文節区切りの変更など、文字を入力したあとの操作は、すべてジョグダイヤルだけで行うことができる。

変換候補は、ジョグダイヤルを上下に回転させることで変更でき、確定するときは

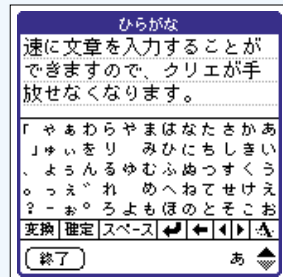
押し込めばいい。また、文節区切りの変更は、ジョグダイヤルを押したまま上下に回転させるだけでいい。ジョグダイヤルを使用しなくても、ペンのタップやドラッグ操作によって、変換候補の選択や文節区切りを変更することはできる。しかし、ジョグダイヤルを利用することで、グラフィティーエリアにペンを固定しておけるというのは大きなメリットだ。

ユニークな文字パレット

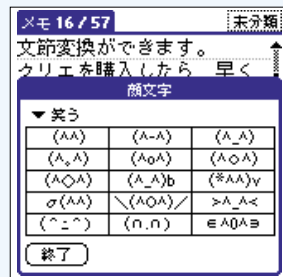
グラフィティー入りに慣れていなくても、いわゆるソフトキーボードである「文字パレット」が用意されている。文字種別、日付、時刻、顔文字など、複数のパレットが用意され、タップして選ぶだけの簡単な操作で入力できる。メールなどでよく利用される「顔文字」入力パネルには、笑う、泣く、怒る、驚く、焦る、謝礼、返事など、8種類のパネルが用意されている。



グラフィティー入力エリアの数字マークをタップすると、入力パネルリストが表示される



最も一般的な「ひらがな」入力パネル。グラフィティーでの入力が苦手でも大丈夫



メールなどでよく使われる「顔文字」入力パネルも用意されている



Webサーフィンを楽しめるPalmscape

「パームスケープ」は、憐イリンクスが開発したPalm OS上で動作するWebブラウザだ。CLIEに標準で付属している最新版のバージョン3.0SJでは、TableタグやFlameタグを使用したWebページの閲覧にも対応している。また、ジョグダイヤルやメモリースティックスロットに対応するため、カスタマイズされたCLIE専用バージョンでもある。

Palmscapeの基本的な操作

Palmscapeの画面構成は、最上部にドキュメントタイトル、最下部に操作アイコン群が配置されていて、中央部分のほとんどの領域をWebページの表示に当てている。ページが1画面で表示できないときは、右端に縦スクロールバーが表示される。ただし、横方向はスクロールせずに、テキスト、画像とも、表示できなければ改行する仕様となっている。

Palmscapeはインストールした状態でそのまま使うことが可能だが、まずはじめに設定を確認しておくといい。オプションメニューの「設定」を開くと、文字コードやキャッシュ容量、プロキシ、画像のロード

などの基本的な設定項目が表示される。通信速度が遅い携帯電話を用いてWebページをブラウズする場合は、画像のロードの設定を必要に応じて実行できる「ユーザー指定」に設定しておくとう便利だ。

Palmscapeのほとんどの操作は、最下部の操作アイコンで行うことが可能だ。例えば、ブラウズするWebページの選択は、左端の「選択」アイコンから行うことになる。カテゴリーごとに分けることもできるので、自分流の使い方ができるはずだ。

ジョグダイヤルとメモリースティック

CLIEに付属しているPalmscapeは、ジョグダイヤルとメモリースティックに対応している。ジョグダイヤルの動作は、Webページ閲覧中は通常の回転で1行ずつスクロールし、押し回してページスクロールとなっている。ページ中にURLリンクがある場合は、下回して前方向にある隣のリンクが、上回して後方向にある隣のリンクが選択される。このとき、ジョグダイヤルを押し込めば、選択されたリンクのページが読み込まれる。

メモリースティックに関しては、Webページやチャンネルをメモリースティックに移動・コピーしたり、メモリースティック内に保存したWebページやチャンネルを直接閲覧することができる。Palmscapeでは、メモリースティック内の「¥Palm¥Programs ¥PALMSCAPE」フォルダーを利用するので、たくさんのチャンネルを持ち歩きたい場合は、パソコンからこのフォルダーにチャンネルをコピーしておけばいい。

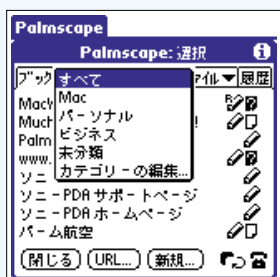
パソコンからデータを取り込む

バージョン3.0からは、Palmscape専用のコンジット（パソコンとデータを同期するモジュール）が用意され、パソコンで自動巡回したWebページをPalmに取り込む機能も搭載された。これは、Palmscape上でダウンロード予約したページを、HotSync時にパソコン側で自動巡回してPalmscape形式に変換し、Palmへ自動的に転送するという機能だ。また、Palmscape CruiserとPalmscape Bookmarksという2つのウィンドウ用アプリケーションが新たに加えられたことで、さらに連携機能が強化されている。

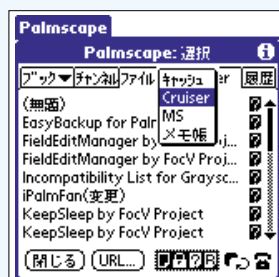
Palmscape Cruiserは、PalmscapeでオフラインブラウズしたいWebページのダウンロード予約を、パソコン上から行うアプリケーションだ。サイト名とURL、そして自動巡回するサイトの深さを第1～4階層まで設定しておけば、自動巡回後にWebページを



ほとんどの基本的な設定は、オプションメニューの各種設定から行う



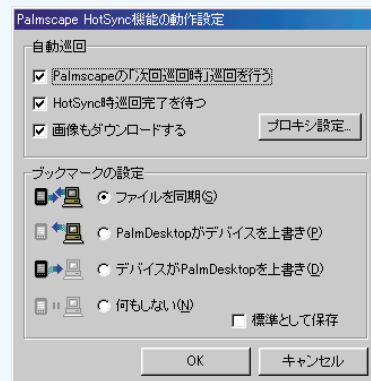
ページ選択のブックマークでは、カテゴリごとにリストを表示可能だ



ページ選択の画面でファイルを選ぶと、キャッシュ、Cruiser、MS、メモ帳の4つのリストを選択できる



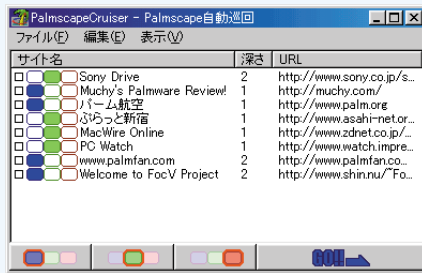
ページ選択ダイアログでは、URLを直接入力してWebページを表示することもできる



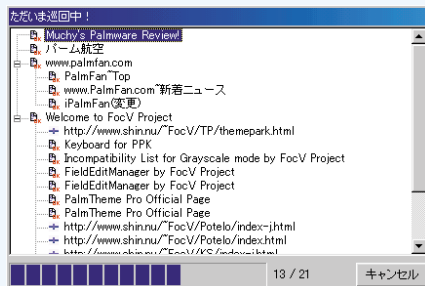
Palmscapeコンジットの動作設定には、自動巡回に関するオプションが用意されている

特集 ① 初の国産Palmデバイス

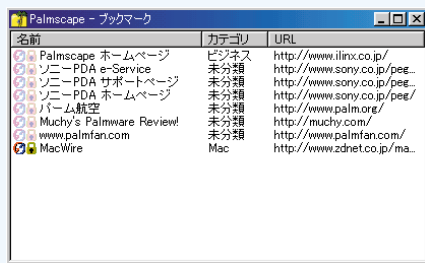
ソニー-CLIEの 魅力に迫る



PalmScape Cruiserのサイトリスト。下部のボタンでグループ分けすることができる



PalmScape CruiserやHotSync中の自動巡回時には、進行状況が表示される



PalmScape Bookmarksの画面。リスト左側のマークは巡回とプライベートのチェック

PalmScape形式に変換し、次回のHotSync時にCLIEに転送することができる。

PalmScape Cruiserに登録したサイトは、巡回チェックボックスをオンすることにより、自動巡回時の対象にすることが可能だ。また、これらのサイトは、青、緑、赤の3色のタブでグループ分けすることができ、このグループごと一括して自動巡回のオン/オフ設定を行える。もちろん、青+赤といった複数のグループの組み合わせも可能だ。

PalmScape Bookmarksは、PalmScapeのブックマークと同期することが可能で、従来はPalmでしか編集できなかったブックマークを、パソコン上で編集できるというアプリケーションだ。なお、PalmScape Cruiser、PalmScape Bookmarksともに、ウィンドウズの「お気に入り」フォルダーにあるショー

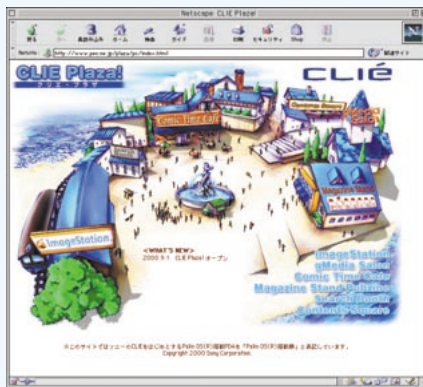
トカットをドラッグ&ドロップするだけで、サイト情報を登録することができる。

新しいチャンネル機能で
コンテンツブラウザとして活用

バージョン3.0から搭載されたチャンネル機能は、今後注目を集めそうだ。チャンネルとは、複数のWebページをPalmScapeで閲覧できる圧縮データ(アプリケーションと同じように、アイコンも表示される)に変換したもので、大量のWeb情報をまとめておくことができる。

チャンネルをダウンロードしておくか、あるいはHotSyncでインストールしておけば、あとはインターネットに接続することなく大量の情報を閲覧することができる。なお、Palm Desktopの「Add-on」フォルダー内にPalmScapeと一緒に収録されている「インターネット」と「簡易Help」はこのチャンネルである。

9月1日にオープンした「CLIE Plaza!」



CLIEユーザー必見の「CLIE Plaza!」
(http://www.peo.ne.jp/plaza/pc/index.html)



PalmScapeに対応した「CLIE Plaza!」内の「Contents Square」

(http://www.peo.ne.jp/plaza/pc/index.html)内にある「Contents Square」では、PalmScapeでの閲覧に最適化されたチャンネルがすでに数多く提供されている。

PalmScapeは、Palmの定番Webブラウザとして人気を博していたが、CLIEに付属しているバージョン3.0SJでは、パソコンとの連携機能を標準で装備し、Palm単独で通信しなくても使えるオフラインブラウザとしても利用できるようになった。さらに、チャンネル機能の搭載により、単なるWebブラウザからコンテンツブラウザへと華麗なる変身を遂げている。

特にCLIEユーザーにとっては、「CLIE Plaza!」に用意されたコンテンツの閲覧など、非常に重要なアプリケーションだといえる。使い方によっては、さまざまなシチュエーションで利用できるのも、CLIEを使いこなす最初の一步として、PalmScapeの使い方をマスターするといひ。



「CLIE Plaza!」は、CLIEからPalmScapeで閲覧するのも非常に見やすい



「Contents Square」でダウンロードできるチャンネル。これは昭文社のマップルガイド



「のひらPubzine」では、Palmに最適化されたメールマガジンの購読ができる



CLIEをメール端末に変えるMultiMail

Palm OSに標準搭載されているメールは、パソコンのメールソフトと同期してPalmにメールを取り込む機能しか持っていない。それに対して、CLIEに付属している「MultiMail」は、Palm単独でのメール送受信からメールの閲覧、作成まで行えるPOP3、APOP、SMTP対応（IMAP4には非対応）のメールソフトだ。付属のMultiMail コンジットを利用すれば、標準のメールと同じように、「Outlook Express 5.0」などのパソコン用メールソフトと連携することも可能だ。

なお、CLIEに付属しているMultiMailは、WorkPad c3 50Jなどに付属している「MultiMail日本語版」とは異なり、米パーム社が米アクチュアル・ソフトウェア社を買収したあとに改良して、日本語化したバージョンである。機能自体は大幅に簡略化されているが、誰にでも使いやすいようにというコンセプトで、シンプルにまとめられている。

MultiMailの基本的な使い方

基本的な機能としては、単一のメールアドレス、複数のメールフォルダの登録、

フィルター機能、自動振り分け機能などを搭載している。12個までのメールフォルダを新規に作成でき、メールを読んだあとに手で移動したり、フィルター機能で受信時にメールの差出人や内容によって、自動的に各フォルダに振り分けることも可能だ。なお、MultiMail日本語版とは異なり、添付ファイルには非対応となった。

メールの送受信では、いったんメールのヘッダー部分だけをダウンロードして、必要なメールのみを再度ダウンロードする利用法が、フィルター機能を徹底的に設定して、不要なメールを受信しないようにする利用法の、2通りの受信方法が選択できる。どちらも機能的には申し分ないので、モバイルコミュニケーションアダプターに接続する通信手段や、実際に受信するメールの量によって使い分けるといいだろう。

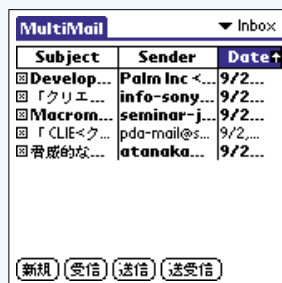
なお、後者の使い方をする場合、フィルターの設定を行う必要がある。フィルターは、メールのTo、From、Subject、cc、Date、Sizeに関して一致する条件を設定し、条件に一致した場合に受信処理の有無を指定することができる。フィルターは複数個

設定することが可能なので、メーリングリストやメールニュース、メールマガジンなどを購読していても、CLIE単独で通信するときには受信しないように設定することが可能だ。

パソコン用ソフトとの連携

付属のMultiMailコンジットを利用すれば、パソコン上のメールクライアントソフトとメールボックスごとに同期させることもできる。現時点でMultiMailコンジットが対応しているメールクライアントソフトは、「Netscape 4.5」以上、「Eudora Pro」、「Outlook Express」の3つである。それ以外のアプリケーションでも、MAPIに対応していれば同期できるようだ。

MultiMailコンジットを利用したメールの連携は、受信メールに関しては基本的にOutlook ExpressからMultiMailへの一方向の連携となるので、既読属性などをMultiMailで変更しても、パソコン上では反映されない。パソコンで受信したメールをとりあえずPalmで読みたい、必要なメールだったらPalmで返信したいというようなライト感覚で利用するにはちょうどいい機能だろう。



受信したメールは、メールのヘッダーや送信者、日付がリスト表示される



メールフォルダは、Inbox、Outbox、Sent、Trash以外に12個まで設定できる



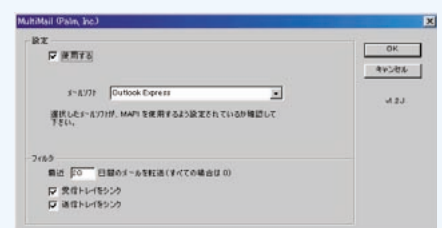
受信時には、本文まで受信するかヘッダーだけにするかを選択できる



メールサーバーの設定メニューから署名の設定まで、順番に設定していけばいい



受信フィルターの設定。条件を満たしたときの送受信の有無を指定できる



MultiMailコンジットを使えば、パソコン用のメールソフトと連携がとれる

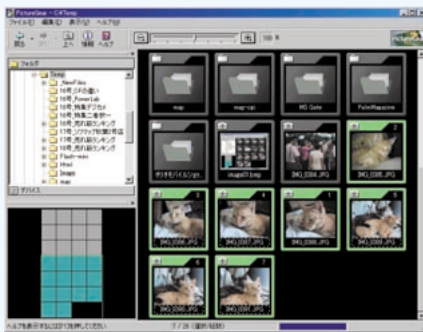
特集 ①

初の国産Palmデバイス

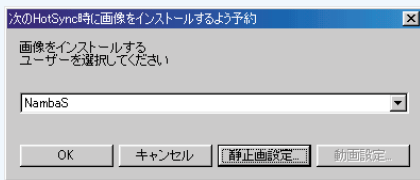
ソニーCLIEの 魅力に迫る

デジタルフォトを取り込めるPictureGear Pocket

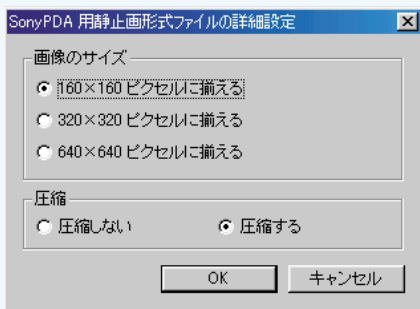
ピクチャーギア ポケット
「PictureGear Pocket」は、㈱インク
スが開発したイメージブラウザだ。通常
は2段×3列のサムネールが表示され、拡大
表示したい画像をクリックすると、160×
160ドットのピクセルサイズで全画面表示
することができる。ジョグダイヤルにも対
応しており、サムネール画面ではダイヤル
の回転で画像選択、押し込みで拡大表示の
動作、画像の拡大表示中はダイヤルの回転
で前後の画像の表示、押し込みでサムネ
ールに戻るという動作が割り当てられている。
全画面表示しているときにメニューをタッ
プすることで、コメントの書き込みや画像
を赤外線通信で送ることも可能だ。



PictureGear Pocket形式に画像を変換する
PictureGear Liteの基本画面



HotSync経由でCLIEにインストールする
ときは、ユーザー名が必要になる



PictureGear Pocket形式に変換する前に、
CLIEに取り込む画像サイズを選択する

PictureGear Liteで画像変換

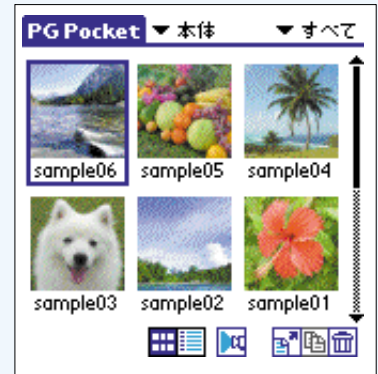
閲覧できる画像形式は、PictureGear
Pocket形式のみだ。したがって、付属CD-
ROMに収録されている「PictureGear 4.2
Lite」をパソコンにインストールし、これ
を使ってあらかじめ変換してからCLIEに転送
する必要がある。

PictureGear Liteは、ウィンドウ用イメ
ージブラウザで、BMP、JPEG、TIFF、
FlashPix、GIF、PNG、DVF形式の画像を
表示することができる。PictureGear
Pocket形式に変換してCLIEに取り込むに
は、イメージ一覧画面で変換するファイル
を選択してから、ファイルメニューの「出
力サービス」で行う。「次回HotSync時に
インストールされるように予約」はHotSync
経由で、「Sony PDA形式でメモリスティ
ックに出力」では、メモリスティック経
由でそれぞれインストールできる。

基本的な使い方

このような方法でCLIEに取り込んだ画像
は、アドレスデータに顔写真として貼り付
けたり、スライドショーの再生、メモリス
ティックへの画像データの保存などに活
用できる。下部に並んだボタンでは、ス
ライドショーの再生、移動、コピー、削除
などのファイル操作を行い、上部のタブを
タップすると、閲覧元を本体とメモリス
ティックから選択するプルダウンメニューが
表示される。メモリスティックに保存し
ておいた画像なども、直接表示すること
が可能だ。なお、これらの画像は、メモ
リスティックの「¥PALM¥PROGRAMS¥
picturegear」フォルダーに保存される。

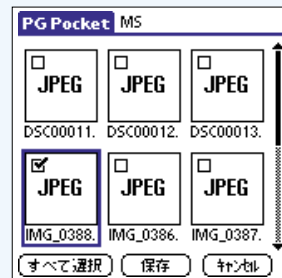
また、PictureGear Pocketでは、「サイバ
ーショット」シリーズで撮影したデジタル
画像が入っているメモリスティックから、



PictureGear Pocketでは、縦2段×横3列の
サムネール画像が表示される



スライドショ
ーでは、表示順
序やループ、フ
ェードなどを設
定できる



サイバースョ
ットで撮影した
デジタル画像を、
メモリスティ
ックから直接取
り込める



閲覧する画像の
読み込み元は、
本体とメモリス
ティックの両
方に対応して
いる

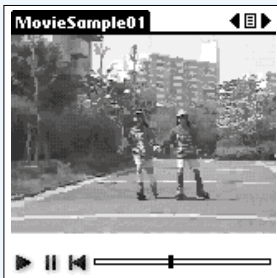
160×120ピクセルの画像に変換して直接取
り込むことも可能だ。これは、メモリス
ティックの「¥Dcim¥100MSDCF」フォル
ダーにあるJPEGファイルを取り込むとい
う仕組みである。ただし、PictureGear
Pocketで変換した画像は、CLIEの256色液
晶で表示できるカラーパレットに最適化さ
れないため、パソコン上のPictureGear Lite
で変換した画像と比較すると、画質は劣る
ようだ。



そのほかの付属アプリケーション

動画再生が楽しめるgMedia

ムービメディア
「gMedia」は、モノクロの動画再生を行うソフトだ。PictureGear Pocketの静止画と同じように、MPEG-1、AVI、およびQuickTime 3.0/4.0形式の動画ファイルを、いったんPictureGear 4.2 Liteで読み込み、gMedia形式に変換してからCLIEに取り込むことで再生できる。ただし、音声の再生はできないので、純粋に動画のみを楽しむことになる。



gMediaを使えば、PictureGear Liteで変換した動画ファイルを再生できる



gMedia形式の動画ファイルを、赤外線通信でビームすることも可能だ

「CLIE Plaza!」の「gMedia Salon」では、すでに近日公開予定の映画の予告編ムービーなどが公開されている。これらのコンテンツをダウンロードし、ムービーを再生して自慢してみるのも楽しいだろう。なお、現在収録されているgMediaはモノクロ版だが、後日カラー版がリリースされる予定だ。

楽しいあみだくじゲーム AmidaDeGo

ファミタデゴ
「AmidaDeGo」は、YOUCHAN氏と山田達司氏が共同で開発した楽しいあみだくじゲームだ。最低2人から最大6人まで参加することができ、そのときの当たり数も「1つ」

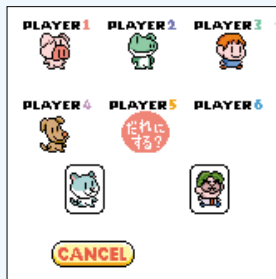
から「ALL」まで細かく設定することができる。くじ引きで複数の人を当たりにしなければならないときには、その人数を当たり数に、合コンなどでの座席決めや順番を決めるときには当たり数を「ALL」にすることで、さまざまなシチュエーションで利用できる楽しいソフトだ。

「何人であそぶ?」と「あたりはいくつ?」を設定したら、プレイヤーのキャラクターを選択して、実際のおみだくじが開始される。YOUCHAN氏がデザインしたかわいいキャラクターがあみだくじ上を歩いていく様子、そして当たり外れが決定したときのアニメーションなど、見ている人をほのぼのとさせてくれる。



ゲームを開始すると、まずプレーする人数、当たりの数を選択する

人数を決めたら、次はどのキャラクターにするかを選択する

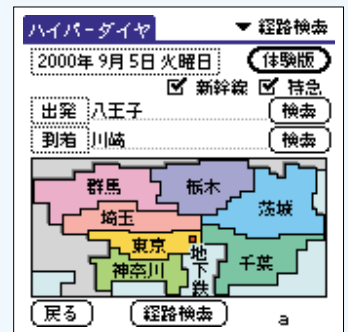


スタートすると、かわいいキャラクターがあみだくじ上を歩いていく

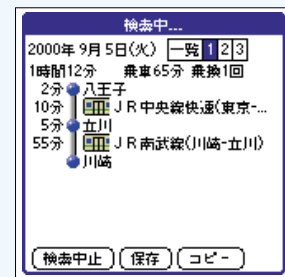
電車の経路が検索できる ハイパーダイヤ

「ハイパーダイヤ」は、日立情報システムが開発したPalm用時刻表・経路検索ソフトだ。CLIEに収録されているのは体験版で、経路検索機能は関東地方限定、時刻表示機能は東京都内を走る京王線限定となっている。

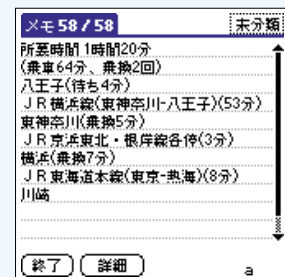
経路検索では、直接駅名が駅名の一部を入力することですぐに検索することができる。また、エリアをタップしていき、路線から駅名を選択することも可能だ。検索開始後、1件目の結果が出た時点ですぐに表示され、バックグラウンドで2件目以降の検索を行っている。ルートが複数あるときに、すべての検索が終了するまで待たされることはない。また、検索結果はメモ帳にコピーしておくことも可能だ。



全国地図で関東エリアをタップすると、そのエリアの拡大地図が表示される



検索の途中でも、1件目の検索結果が出た段階ですぐに画面表示される



検索した結果は、メモ帳にコピーして保存しておくことができる

PART 3. 「CLIE」が目指すのは アフター5の携帯情報端末

**ビジネスマンがスーツのポケットに入れて持ち歩くPDAはもう古い。
女子高生がポシェットに忍ばせるPDAこそが、ソニーの狙いだった！**



7月13日、Palmユーザーが首を長くして待っていたソニー(株)のPalm OS機「CLIE」が、そのベールを脱いだ。パソコンで定評のある日本語入力ソフト「ATOK」を搭載し、外部メモリーにメモリースティックを採用した国産機だ。ソニースタイルで8月21日より行なわれた先行受注では、初日分は即日完売したという人気の背景はどこにあるのだろうか。「CLIE」開発を担当したソニー(株)パーソナルITネットワークカンパニーのキーマン、事業戦略部企画1課の高砂哲男氏、ネットワーク&インターフェース部4課の高瀬昌毅氏にインタビューした。

● ソニー(株)パーソナルITネットワークカンパニー

ソニーの目指す方向

「AVテクノロジー分野」というと、同じPalm OS陣営の中でソニー(株)の目指す方向は他社と違いますね。その点についてはいかがでしょうか？

高砂 一般的に、携帯情報端末は「ビジネスで使うもの」というイメージが強いのですが、ソニー(株)では「モバイルエンターテインメント」とか「パーソナルエンターテインメント」という言葉を使い、ビジネス以外にも幅広く楽しみを実現する機器にしていきたいと考えています。

ビジネスユースがメインではないということですか？

高砂 「Visor」の登場で多少イメージが変わってきたとは思いますが、「携帯情報端

末といえばビジネス用途」というのが一般的な認識です。しかし、ソニー(株)では「ビジネスにも使ってほしいが、それよりも家庭やアウトドアでのエンターテインメント分野で使ってほしいと考えています。

ワイシャツのポケットではなく、カジュアルシャツのポケットに入れるというイメージでしょうか？

高砂 例えば、携帯電話は非常に幅広い層が使っています。ビジネスマンもいれば、主婦や若年層も使っているわけです。それぞれの層により使い方も違うわけですが、我々の商品も同様に幅広い層にさまざまなカタチで使ってほしいと考えています。

「CLIE」のデザインや色合いは、ま

だ硬いイメージを与えるように思いますが、Visorや「Palm Computing m100」のようなカラフルなデザインは考えなかったのですか？

高砂 「エンターテインメントを目指す」という最終的なビジョンはありますが、現状ではそこまで市場が育っていないだけに、ビジネス市場は無視できません。そこで、ファーストモデルではターゲットとしてビジネスユーザーもねらっています。今回の参入ではPalm市場のシェアを得るというのではなく、他社とともに市場を広げ、いままで使っていなかった人にもPalmデバイスの存在を浸透させていきたいと考えています。

「9to5に持ち歩くPDA」から市場に参入し、「アフター5も使える」「ウィークエンドやナイトユーズのPDA」という方向に広げようということですね。

高砂 イメージとしては、そのとおりです。また、それは当社の得意とする分野でもあります。最終的には、女子高生にも使ってほしいですね。

ソニー(株)
パーソナルITネットワークカンパニー
ネットワーク&インターフェース部4課
高瀬昌毅氏





Palmの中での「CLIE」の特徴

製品としての特徴を聞かせてください。

高瀬 ハードウェア面では、最初のモデルでも「携帯性や操作性の面で最適なもの」を提案したいと考えていました。その結果、横幅を狭め、手にフィットする大きさにすること。さらに、液晶画面サイズも見やすさのために大きくすること、携帯性のために小さくするという相反する要素のバランスも追求したので、「手に持ったとき」「画面を見たとき」に違いを感じることができると思います。他社製のPalm系機種と比べると若干厚みはありますが、メモリースティックの装備という理由もあるので、実質的には薄いというイメージを持っていただきたいと思います。

ジョグダイヤルの操作のためにも持ちやすい形状が必要ですね。

高瀬 Palm標準のスクロールボタンは不自然な位置にありますよね。ソニー側では、外出時に「片手で操作できる」ことにこだわりました。特に「ビューアー」としての操作に関しては、すべてジョグダイヤルだけで済むよう工夫してあります。また、ジョグダイヤルを右手でも操作できるよう多少下に配置して、奥行き方向にも微妙な位置にしています。

そのほかの特徴で注目されるのは、メモリースティックですね。

高瀬 メモリースティックに関しては、3つの機能を考えています。1番目は、使うデータ量が増えることに対応するための大容量ストレージ。2番目はメモリースティックを装備するAV機器との連携です。現在、メモリースティックを持つAV機器は(ライセンスも含めて)200万台が存在するわけですが、これらと連携し、データ交換するためにも有効だと考えています。「CLIE」には、「CyberShot」で撮影した画像をダイレクトに表示できるソフトも内蔵しています。そして3番目の機能は、拡張



ソニー(株)
パーソナルITネットワークカンパニー
事業戦略部 企画1課
高砂哲男氏

モジュールとしてのものです。商品としては来年以降になりますが、CCDカメラやGPSユニットなどの周辺機器を拡張モジュール化する構想を持っています。

この3つの機能に加え、メモリースティックは著作権対応の優れたメディアです。SD(セキュアデジタルカード)は考え方が近いとはいえ、CF(コンパクトフラッシュ)では著作権対応はしていませんし、スプリングボードはほかの機器との連携ができませんから、やはりメモリースティックが理想的だと考えています。

Palmデバイスの拡張モジュールでは、スプリングボードはホットプラグアンドプレーをスローガンにしていますし、すでに汎用拡張モジュールとして活用され始めているCFに比べ、現時点ではメモリー機能しか持たないメモリースティックは技術的に不利なのではありませんか？

高瀬 メモリースティックを挿すだけで、自動的にアプリケーションを起動させる技術については考えています。まだ実際に市場に出していないことが弱点だといえますが、携帯性という面ではサイズの小さいことが優位に働くと考えています。

高砂 現実的な話ですが、毎日実験を兼ねて使っていて便利なのは、パソコンとの連携時の単純なメモリーとしての使い勝手な

んです。VAIOでメモリースティックにソフトをインストールしておいて、それを読み込ませるといった使い方はHotsyncよりはるかに速いんです。それだけでもメリットは大きいと感じています。

CFなどへの変換アダプターのようなものがあれば、今後より一層便利になると思うのですが、そのような製品は考えていないのでしょうか？ また「CLIE」用のメモリースティック拡張モジュールはソニーからも発売されるのでしょうか？

高瀬 もちろん、ソニーとして発売するものもありますが、仕様を公開することでサードパーティーにも作ってもらいたいと考えています。現在はまだ予告段階ですし、具体的な話ができませんが、メモリースティック拡張モジュールの仕様についてもデベロッパースイトで公開していきますので、将来的にはサードパーティーからもさまざまな製品が発売されるでしょう。

仕様の公開はいつごろですか？

高瀬 現在準備中ですが、年内ぐらいには具体的な話をすることができると思います。

カラーモデルと白黒モデルの違い

PEG-S300とPEG-S500Cの違いと、それぞれの用途についてどのように考えていますか？

高砂 ハードスペックもバンドルされているソフトもほとんど同じで、液晶が違う程度です。今回カラーモデルを作るにあたり、筐体が大きくなったりバッテリー消費が激しくなることは避けたいと考えました。機能が向上し、価格が安くなっても、携帯性が損なわれたり、バッテリーの持ちが悪くなるようでは製品の価値がなくなると考えてIMAにし、当初より大きさとバッテリー消費をモノクロ並みに抑えることを目指しました。その結果、同一の筐体に収めることができました。

ターゲットとしているユーザーですが、動画や静止画のようなエンターテインメン

ソニー CLIE の 魅力に迫る



「CLIE」の付属ケースは縦開きで、ジョグダイヤルが使いやすい仕様になっている。また、本体につながっているため、置き忘れる心配もない

ト性を求めるユーザーにはカラーモデルを、従来のPDAとしての使い方を考えているユーザー層には白黒モデルというイメージで捉えています。白黒モデルの特徴としては、液晶サイズが若干小さいのでクリアに表示できる点とバックライトが反転しないという点です。

せっかくのカラー液晶画面が暗いという意見がありますが……

高瀬 屋内で見るときに暗いという欠点は承知していますし、今後の改善点ともいえます。しかし、もともとのコンセプトが「携帯」ですから、屋外の使用を意識して、サイズとバッテリー寿命を重視し、半透過型液晶を採用した結果ともいえます。屋内で見やすい、バックライト点灯を必要とする全透過型液晶ではサイズやバッテリー寿命の面で不利です。消費電力もサイズも小さいまま、画面を明るくできることが理想ですが、現状では二者択一ですので、このような判断を下しました。

ユーザーの間では、きれいなカラーか、見やすい白黒かで悩むところですね。オープン価格とはいえ、実売価格にそれほど差がないことやAV指向ということなどを考え合わせると、カラーモデルに力を入れているようにも思えるのですが……

高砂 CLIEの目指すエンターテインメントという方向性もありますから、カラーモデルに対して積極的なのは事実ですが、カラー版だけ売りたいとは考えるわけではありません。あくまでも、ユーザーが自身の用途に合わせて使い分けたいだけですね。

通信環境の標準装備

周辺機器として、通信キットを標準添付したのはなぜですか？

高瀬 今回はネットワークにつながることも重視していたので、買ってすぐネットワークに接続できる環境として用意しました。オプション設定ではなかなか購入してもらえないので、最初から携帯電話とPHS用の接続アダプターを付属させました。

通信アダプターには電池が入っていませんし、本体も充電式バッテリーを採用しているようですが、ヘビーユーザーだと電池切れの心配はありませんか？

高砂 通常の使用レベルなら、まず問題ありません。また、ACアダプターはクレードルから外せるようにしてあるので、携行するにも邪魔になりません。トラベルセットを買わなくても、電源だけは持ち歩けるといことです。

これまでのPalmデバイスでは、メールなどもパソコンからHotSyncで受け取るという使いほうの方が一般的でしたが、「CLIE」では直接通信するという使い方をメインに考えていたということでしょうか。

高瀬 そうです。メーカーやブラウザーソフトを標準搭載したのも、その考え方からです。もちろん、ソフトとしては従来の方法も行うことができます。「MultiMail」や「Palmscape」についても、ソニー向けに改良をしています。ジョグダイヤル対応はもちろん、「Picture Gear Pocket」との連携などもそのひとつです。例えば、ブラウザーで見た画像をタップすると、Picture Gear Pocket形式で保存するというような機能です。

標準アプリケーションについても、かなり手を入れているのでしょうか？

高瀬 アドレス帳の画像以外では、主なソ

フトをジョグダイヤル対応にしています。これも片手で操作できることを目指した結果です。

Palm標準のスクロールボタンが不要になりますね。ボタンレイアウト自体を変えることは考えなかったのでしょうか。

高瀬 もちろん、それは考えました。しかし、既存のソフトでジョグダイヤル対応していないものをきっちり動かすためには、標準ボタンは必要でした。将来、すべてのソフトがジョグダイヤル対応になり、スクロールボタンが不要になるというのが理想形です。

画像関連ソフトが充実

ソフト面での特徴を教えてください。

高砂 イメージング分野に特化した点ですね。特に今回は、Palmデバイスで初めて動画を扱えるように「gMedia」と「Picture Gear Pocket」を装備したことが最大の特徴です。最初にどんなソフトを載せるかということ考えたときに「ソニーらしさ」＝「AV」を現実的に可能なものとするという制約の中で、まずは「静止画」を狙いました。そして、それを面白くするためにVAIOやCyberShotとの連携という意味から「Picture Gear Pocket」が生まれたのです。もちろん、既存の機器と連携することで、ユーザーの初期投資を抑えたいという考えも根底にあります。

そのほかに、アドレス帳にも画像を張り付けられるようにしています。画像をどう使ってもらおうか、どうすれば面白いかということを考えました。写真の張ってある名刺がありますね。あのイメージです。動画についてですが、プランはあったものの、実は開発の途中から急遽スタートしたんです。

「CLIE」の箱に入っているもの一式。内容物が多いのは、ほかのPalmデバイスのマニュアルがCD-ROMなのに対して、あえてマニュアル本を用意したため





日本語処理は「ATOK」

日本語入力に「ATOK」を採用した理由は？

高瀬 当初から、Palmの日本語処理に非力さを感じていたことと、製品企画を始めたころにタイミングよく話が出てきたことから、ATOKを採用することに決めました。ソニー(株)としても入力を重視していましたから、ハード・ソフトの両面で使いやすさを追求しました。ATOKをジョグダイヤル対応にしたことも、そのひとつです。今後とも入力支援に関してはいろいろ考えていくつもりです。

しかし、ATOKの標準搭載でメモリー容量やほかのソフトには影響はありますか？

高瀬 ATOKは1.2MBありますが、システムソフトとしてフラッシュメモリー上に載っていますので問題ありません。辞書サイズも、ちょうど収まるように調整してもらいましたので、こちらも問題ありません。標準添付されるメモリースティックにインストール用アプリケーションが入っています。同じものはCD-ROMにも入っていますから、HotSyncで移すこともできます。Palm本体で動くソフトはメモリースティックにも入っているのです。極端な話、パソコンを持たないユーザーにも遜色なく楽しんでいただけたらと思います。つまり、最初にもお話ししましたが、「CLIE」はパソコンの周辺機器という位置付けではなく、独立した情報機器として新しい世界を作っていくことを目指しているということです。もちろん、クレードルをUSB接続にしたことなど、パソコンとの連携も重視しているのはいうまでもありません。

海外でも発売開始

海外での販売予定はありますか？

高砂 8月30日に米国で英語版白黒モデル

の製品発表を行いました。そのほかの地域では未定です。通信アダプターなしの製品で、価格は\$399です。添付ソフトは日本語版とはかなり違います。ネットワークに直接つながらないので、メーカーは入っていません。オフライン用ブラウザの「Abant

go」やシンクソフトの「True Think」などが入っています。

米国での販売は店だけですか？

高砂 Webを使ったダイレクト販売も考えていますが、販売地域は米国内のみとなります。



「CLIE Plaza!」のトップメニュー。リゾートタウンのような雰囲気だ。6つのメニューがある



Palmscape用のコンテンツ検索エンジン。Palmで読みやすい画像サイズで表示されるので、外出先で便利



「CLIE」で閲覧できる書き下ろしマンガのコーナー。専用のマンガビューアも無償ダウンロードできる

「CLIE Plaza!」で200%活用しよう

ソニー(株)「CLIE」公式サイト内に9月1日からオープンした「CLIE Plaza!」には、「CLIE」をフル活用するための仕掛けがある。「CLIE」ユーザーでなくても楽しめるが、「CLIE」ユーザーなら、2倍楽しめることは間違いなし。



個人が撮影したデジタル画像やデジタルビデオ映像を保存したり公開することができるコーナー



「CLIE」で再生できる映像収録コーナー。映画の予告編や秘蔵プレミアム映像のほか、ユーザーの作品を公開することもできる



Palm用のメールマガジン配信コーナー。さまざまなジャンルのメールマガジンが用意されているほか、試読コーナーもある

Palmscapeで楽しめるコンテンツが収録されたコーナー。Palm情報から映画やラーメンの情報まで満載されている

エントリーユーザー向け低価格機

Palm Computing m100 登場!



パームコンピューティングが新しく発売した

「Palm Computing m100」は、

1万9800円という低価格に加え、今までのPalmシリーズとは

異なる新型デザインとなっている。

特徴的な丸みのある本体、本体を好みの色に取り替えられるフェースプレート、

カバーを閉じたまま時刻を表示できる時計機能、手書きイメージを

そのまま保存できる手書きメモなど、エントリーユーザーを意識した製品だ。

藤田 実 文

競合ひしめくPalmデバイス市場

Palmデバイスが各社から続々と登場している中で本家パームコンピューティング㈱の製品ラインナップは、スタイリッシュハイグレードな「Palm x」、カラーモデルの「Palm c」に集約してきた。これ以外に、米国では低価格な「Palm e」やPalm.net対応の「Palm 」という製品もリリースされたが、日本市場には投入されていない。

かたや低価格でカラフルな本体と拡張性に期待できるハンドスプリング㈱の「Visor」がPalmデバイスとしては新規のユーザー層を中心に好調に販売を伸ばしており、さらにパワーユーザーが期待するCF（コンパクトフラッシュ）スロット搭載の米TRG社「TRGpro」、マルチメディア機能を満載したコンパクトなソニー㈱の「CLIE」などが、あとに続いている。

このような状況のもと、パームコンピューティング㈱より、さらに幅広いユーザー層の獲得に向けて登場したのがPalm Computing m100（以下、m100）だ。競合ひしめくPalmデバイスの中において、m100はどのような製品に仕上がったのか。本誌が発売されるころには、すでに店頭でも入手が可能になっているはずだが、今回は試作機をベースにご紹介したい。

m100の開発コンセプト

パームコンピューティング㈱によると、購入前のエントリーユーザーが持つ携帯情報端末への印象を以下のように分析している。

- 値段が手頃でない
- データ入力がしにくい
- 習得に時間がかかる
- 利便性、機動性に欠ける
- データ損失の不安(バッテリー切れ)
- 装置そのものを紛失する不安
- 壊れやすい/長持ちしそうでない

これらの課題に対し、パームコンピューティング㈱が出した答えがm100だ。個々の仕様を見ると、確かに今回発表されたm100がこれらを意識しているのはよくわかる。また、想定されるユーザー像として以下のような分析もある。

- コンピューターにそれほど詳しくない
- 終始、動き回っている
- オーガナイザーとしての機能性を求めている
- (システム手帳からの乗り換え)
- 新しい技術の採用は比較的遅いが、便利なものはすぐに受け入れる
- 価格に敏感
- 同僚、友人、家族、メディアなど、人の意見を重要視
- ブランドに敏感

明らかに今までのPalmデバイスの購買層とは違うユーザーを意識しているといえる。基本的にこれらの分析は米国本社で行われたものだそうだが、すでに圧倒的なシェアを誇る米国市場でさらなるユーザーを勝ち取るには大変有効なアプローチといえるだろう。また日本においても、現在Visorが善戦を広げているエントリーユーザー市場が、m100の登場でさらに活況となるに違いない。

外観・ハードウェア

丸みを帯びた特徴的なデザイン

ひと目見てわかるとおり、今までのPalmデバイスとは一線を画す丸みを帯びたデザインが特徴的だ。かわいいという点では、一世を風靡した「たまごっち」的なイメージも持てる。その丸みからか、写真を見るとずっしりとしたような印象を受けるが、実物を手にすると思ったよりコンパクトなことに驚く。実際のサイズは、Palm系デザインの「WorkPad(30J)」と比較して縦に2mm、横に3mm小さくなっており、厚みは同じだ。



今までのPalmデバイスにない、特徴的な丸みを帯びたデザイン



本体上部から見たところ。2つの穴はフリップカバー用で、中央にあるのは電源ボタンだ

ひと回り小さめの液晶ディスプレイ

採用されている液晶ディスプレイは、従来のものより若干小さめのものになっている。その分ドットピッチが狭くなっており、表示文字などは小さくなるもののドットのアラがなくなり、逆にきれいで見やすい。画面のタップ操作などでも、小さくなったゆえの不便さというものは特にない。



TRGpro(左) Palm (中) m100(右)を比較してみた。液晶パネルはm100が最も小さい

故障を減らすため、軽く丈夫に

ディスプレイに使われている素材も、従来製品がガラスを使用していたのに対しプラスチックに変更されており、軽く丈夫になっている。今までのPalmデバイスの故障原因のトップが、落下させて液晶が割れてしまうということだったが、今回プラスチックパネルを採用した理由という。丸みを帯びたボディーや総重量も25g軽量化されたことと合わせ、落下時に壊れる確率はぐっと下がるに違いない。

交換できるフェースプレート

製品パッケージに入っているm100本体はブラックボディー仕様。工具なしにワンタッチで本体正面のフェースプレートと呼ばれる外装を取り外すことが可能だ。カラフルなオプションのフェースプレートを購入すれば、誰でも簡単に好きな色のボディーに取り替えることができる。フェースプレートはシルバーミスト/ブルーミスト/グリーンミスト/パシフィックブルー/ルビーパールの5色。色の違いだけでなく、さまざまなデザインのプレートの登場にも期待したいところだ。



フェースプレートは5種類のカラーオプションが発売される



フェースプレートを外したところ。こちら工具なしでワンタッチで取り外しが可能

時計表示窓付きのフリップカバー

今までのPalmシリーズの中で、もっとも凝ったデザインがされたフリップカバーだ。カバーを閉じたままスクロールボタンの上ボタンを押せるようになっており、それによって液晶の中央部分に開いたシースルーウインドウ部分に時計を表示させることができる。押し続けければ、バックライトを点灯させることも可能だ。今後、この仕様を活かしたユニークなアプリケーションの登場などにも期待できるかもしれない。



フリップカバーはワンタッチで取り外すことができる

メモリー容量は2MB

多くの最新のPalmデバイスのメモリー容量が8MBであるのに対し、m100では一世代前の製品群と同等の2MBに制限されている。データ容量が増えがちなメール機能などが標準で省かれたこともあり、エントリーユーザーには2MBで十分との判断によるものだろう。実際にPIM主体の使い方をするとすれば、2MBでもかなりのデータを入力することが可能だし、販売価格との引き替え条件となれば、これはこれで大いに納得できる仕様だといえる。



メモリー容量は2MBだ

マスクROM

OS搭載メモリーには、多くのPalmデバイスが専用ツールで書き換えが可能なフラッシュROMを搭載しているのに対し、ハンドスプリング製のVisorと同様、低コストのマスクROMが利用された。OSの大幅な入れ替えは不可能だが、組み込みの工数も含めて、これもコスト削減のためには必要な仕様なのだろう。

Graffiti入力エリア

今回、Graffiti入力エリアにも若干の仕様変更があった。従来からエリアの下にある「abc」「123」という部分をタップするとソフトウェアキーボードを表示するなどの機能がなかったが、加えて左右の上の部分にもアイコンが付いた。時計マークをタップすることで「クロック」と呼ばれる時計アプリケーションが立ち上がり、コントラストマークをタップすることでコントラスト調整が可能となった。



グラフィティ入力エリアの上部両サイドに増えたアイコン。左側が時計機能、右側がコントラスト調整機能だ

取り扱いがラクな乾電池仕様

最近のPalmシリーズは充電式が多かったが、m100では乾電池仕様を採用された。急な電池切れでも充電の必要性がなく、いつでもその場で電池交換することで対処できるのがメリットだ。一般的な使い方でも6~8週間の利用が可能だ。これはm100本体をクレードルに頻繁に載せることが少なめで、十分な充電ができないだろうと想定したエントリーユーザーを意識した仕様といえるだろう。



電源は手軽な単4アルカリ乾電池×2本

電源ボタン

電源ボタンは本体上の中央にある。押し続けるとバックライトが点灯する。バックライトは文字が光るPalmデバイス標準の方式が採用されている。



バックライトは文字が点灯するタイプだ

HotSyncケーブルが同梱

本体下部のHotSync用シリアルポート形状も新しくなった。ピン配置はPalm系と共通だが、挿し込み口の形状が少し変わっており、今までのクレードルやオプションのキーボードなどは使えない場合が多い。また、今までのPalmシリーズと異なり、標準でクレードルは付属していない。代わりにコンパクトなHotSyncケーブルが付いているが、クレードルを使いたい場合は別売のm100専用クレードルを購入する必要がある。Palm Portable Keyboardは、Palm cと共通に使える新バージョンがまもなく登場するとのことだ。



HotSync用シリアルコネクタ部分の形状も新しくなった

専用HotSyncケーブルが標準で付いている

HotSyncケーブルを取り付けたところ。コネクタのボタンを押すと、HotSyncが始まる

ソフトウェア・OS・アプリケーション

Palm OS 3.5日本語版搭載

搭載されているOSは、m100対応のPalm OS 3.5日本語版だ。OSレベルではほかの最新Palmデバイスと同等だが、m100用に時計アプリケーションや手書きメモなどの機能が追加されており、逆にメール機能や支払いメモ機能が削除されている。



搭載されているOSはPalm OS 3.5.1



時計機能

今までにない特徴的なアプリケーションのひとつが時計機能だ。フリップカバーを閉じた状態でも、正面に出ている上スクロールボタンを押すことで、カバーのシースルー部分に時計が表示される。アラームの設定も可能だ。また、カバーを開いてグラフィティー入力エリアの左上角にある時計アイコンをタップすることで、時計アプリケーション「クロック」が立ち上がる。



新機能の「クロック」画面。数字が大きく見やすくなっている



正面のボタンを押すと、シースルーウインドウから時計が見える



シースルーウインドウからはこのように見える



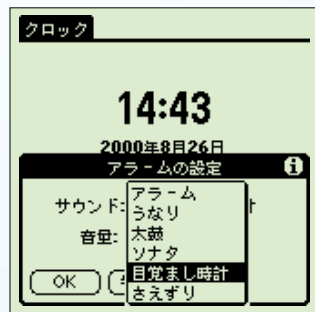
フリップカバーを開けたとこ

新しいアラームサウンド

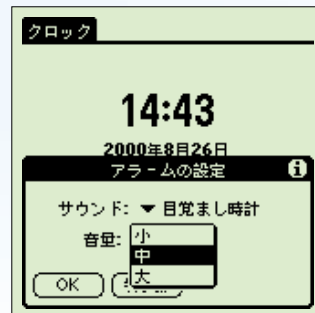
「アラーム」も、これまでのPalmデバイスにはない新しい音色が準備されており、うなり、太鼓、ソナタ、目覚まし時計、さえずりなどのサウンドを選択することができる。



さまざまな種類のアラームサウンドを追加されている



クロックでのアラーム選択画面



従来のPalmシリーズよりアラームの音量が大きく設定されている

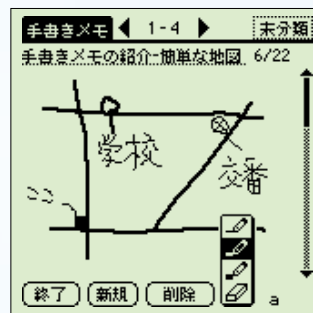
手書きメモ

もうひとつの特徴的な機能が、「手書きメモ」だ。従来、標準で搭載されていたメモ機能はグラフィティーによる文字入力にしか対応していなかったが、手書きメモは液晶画面に書いたイメージをそのまま記録することができる。グラフィティーに慣れていない人も手軽に利用できるアプリケーションだ。物理的な画面サイズだけでなく、スクロールさせて下の方に書くこともできる。また、手書きメモにアラームを設定し、必要な時間にその内容を知らせてくれるようにすることも可能。すでに「BugMe!」などのシェアウェアでも実現されていた機能ではあるが、これは便利だ。

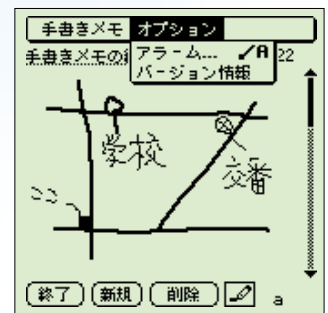
ただし、現時点ではこの手書きメモのデータをパソコンにバックアップすることはできても、表示はできない。そういった使い方を望むなら「TealPaint」など、サードパーティー製のお絵かきアプリケーションを利用することをお勧めする。これらはパソコン側での表示ツールなども充実しているので、ぜひ試してみたい。なお、標準のメモ機能も内蔵されているので、手書きメモよりも標準のメモが使いたいという方は、必要に応じてボタンへのアプリケーションの割り当てを変更して利用するのもいい。



こちらも新機能の「手書きメモ」画面だ



ペンの選択、データのカテゴリー分類が可能

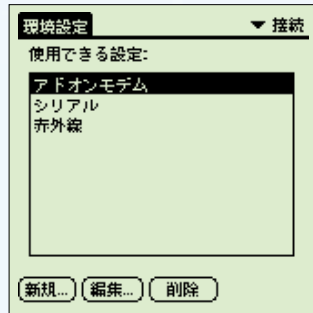


手書きメモにはアラームを設定する機能もある



外されたアプリケーション

従来標準で搭載されていたのにも関わらず、m100で削除されたアプリケーションもある。「電子メール」と「支払いメモ」だ。いずれも、エントリーユーザーの利用率が低いものと判断して削除されている。しかしながら、OSレベルでの通信機能は他機種と同様のものが搭載されているため、メール送受信アプリケーションとメールブラウザアプリケーションをインストールすることでメール端末として利用することが可能だ。なお、メーカーとしては、システム・エンジニアリング・サービス㈱からm100対応メーカーソフトとして「PaPi-Mail」が発売されている。支払いメモもシェアウェアの「PEM」や「PilotMoney」などをインストールして利用することができる。



標準メール機能は削除されているが、TCP/IP接続機能は内蔵されている

周辺機器・アクセサリ

本体デザインが新しくなったm100。専用周辺機器やアクセサリなども続々と登場する予定だ。

Palm m100 HotSyncクレードル

m100にぴったりの斬新なデザインのクレードル。データの同期やアプリケーションのインストールも行える。

推定小売価格：3480円（税別）

問い合わせ：パーム コンピューティング㈱

URL <http://www.palm-japan.com/>

Palm m100 HotSyncケーブル

モバイルユーザーにお勧めの携帯用ケーブル。HotSyncボタンを押すだけでパソコンとデータのシンクロ可能。マックにも標準で対応（本体に1本付属）。

推定小売価格：2480円（税別）

問い合わせ：パーム コンピューティング㈱

URL <http://www.palm-japan.com/>

Palm Portable Keyboard

人気の折り畳み式ポータブルキーボードで、Palm cと共用。今秋発売予定で、価格は未定。

問い合わせ：パーム コンピューティング㈱

URL <http://www.palm-japan.com/>

Palm m100 スタイラス3本セット

標準に付属しているスタイラスと同タイプの3本セット。予備に持っている安心だ。

推定小売価格：980円（税別）

問い合わせ：パーム コンピューティング㈱

URL <http://www.palm-japan.com/>

PaPi - Mail

m100対応のメーカーソフト。これまでのPalmシリーズとは異なり、m100にはメール機能が削除されているが、これさえあればメールの送受信が可能。

推定小売価格：4980円（税別）

URL 合わせ：システム・エンジニアリング・サービス㈱

<http://www.papi.ses.co.jp/PaPi-Mail/>

Palm m100 フェースプレート

取り外しが簡単なフェースプレート。好みや気分に合わせてm100のフェースを自由に変えることができる。カラーは5色をラインアップ（シルバーミスト/ブルーミスト/パシフィックブルー/ルビーパール/グリーンミスト）。

推定小売価格：1980円（税別）

URL 合わせ：パーム コンピューティング㈱

<http://www.palm-japan.com/>

Palm m100 スリムレザーキャリングケース

持ち運びに便利なスリムでコンパクトなケース。クレジットカードスロットには名刺やカードが収納可能。

推定小売価格：3380円（税別）

URL 合わせ：パーム コンピューティング㈱

<http://www.palm-japan.com/>



クレジットカードスロットは3つ

横開きのスリムレザーキャリングケース

Palm m100 レザーフリップケース

高級レザーを使った高品質なフリップケース。フリップカバーがm100本体を保護する。

推定小売価格：3380円（税別）

URL 合わせ：パーム コンピューティング㈱

<http://www.palm-japan.com/>



縦開きのレザーフリップケース

ふた側にはポケットが付いている

PalmGlove m100 ソフトケース

防水性に優れたネオプレン製ケース。免許証や名刺などを収納できるポケット付きで携帯に便利。カラーは3色をラインアップ（黒/黄/ロイヤルブルー）。

推定小売価格：2980円（税別）

URL 合わせ：パーム コンピューティング㈱

<http://www.palm-japan.com/>



写真は黒とロイヤルブルーのコンビ

本体下部もしっかりカバーする縦開きタイプ

これらのほかにコダック、シンガポールShinei Sangyo、米ノースター・システムズ社の3社も、新たにデジタルカメラ、MP3プレーヤー、バックアップモジュールといったm100向け周辺機器へのサポートを表明している。



選択のポイント

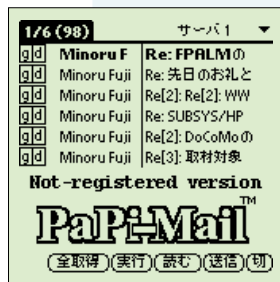
1万9800円という低価格でPalmデバイスが手に入ることが、まず重要な選択ポイントとなる。ただし、メールの送受信をしたい場合は、追加投資が必要なことも考慮し、ほかの機種と十分比較検討したほうがいだろう。通信のために必要なモデムや携帯電話アダプターがオプション機器として、まだ整備されていないというのがその理由だ。もちろん、NM502iなどを用いて赤外線による通信機能を使うことでメールの送受信は可能だ。メモリー容量が2MBというのは、活発なメール端末としての利用や辞書などの大きいデータを必要とするアプリケーションを利用するには向かない。しかしながら、主に電子手帳的にPIMマシンとして使うという方には2MBメモリーでもかなりの使い方ができるのでお勧め。

フェイスプレートでフェイスをいろいろな色に取り替えられるというのも楽しい。グラフィティー入力になかなかなじめそうにないという方には手書きメモが標準でインストールされているのも魅力となる。m100が、今までPalmデバイスに興味がありながらも、使いこなせるかどうか不安を感じてユーザーになれなかった方々にまで愛用されるマシンとして、人気が出ることに期待したい。

仕様	
製品名	Palm Computing m100 (パームコンピューティング・ エム・ワンハンドレッド)
基本ソフト	Palm OS 3.5日本語版
外形寸法	(縦)118mm x (横)79mm x (奥行き)18mm
重量	137g (フリップカバー、電池装着時)
ディスプレイ	160 x 160ドット、バックライト 機能搭載LCDモノクロディスプレイ
CPU	Dragonball EZ 16MHz
メモリー	RAM 2MB
インターフェイス	シリアルポート、赤外線通信ポート
バッテリー	単4アルカリ乾電池2本使用 (1日15-25回の標準的使用で約2カ月間使用可能)
発売時期	2000年9月9日 (予定)
価格	1万9800円 (推定小売価格(税別))
付属品	Palm Desktopソフトウェア (ウィンドウズ版、マック版) HotSyncケーブル、マック向けシリアルアダプター、 単4アルカリ乾電池2本、クイックスタートガイド、専用スタイラス、 フリップカバー
アプリケーション	アドレス帳、予定表、クロック、To Doリスト、メモ帳、 手書きメモ、電卓、基本ガイド
Palm Desktop システム条件	【ウィンドウズ用】対応プロセッサ：インテル社製486プロセッサ以上 対応OS：ウィンドウズ 95/98、ウィンドウズ NT 4.0 必要メモリー / 必要ハードディスク容量：8MBのRAM / 20MB以上のハードディスク容量 周辺機器：CD-ROMドライブ 【マッキントッシュ用】対応プロセッサ：PowerPCプロセッサ以上 対応OS：マックOS 8.1以降 必要メモリー / 必要ハードディスク容量：32MBのRAM / 24MB以上のハードディスク容量 周辺機器：CD-ROMドライブ

コラム 検証 メールソフト「PaPi-Mail」を組み込む

メール機能が標準では組み込まれていないm100だが、システム・エンジニアリング・サービス㈱のメールソフト「PaPi-Mail」がm100対応となって登場する。バージョン1.3ではメールリーダー機能がサポートされるので、m100でも複数のアプリケーションの組み合わせなしにメールの送受信と読み書きが可能だ。PaPi-MailのリーダーはほかのPalmデバイスで標準に組み込まれているメール機能の画面デザインがベースだが、PaPi-Mailの一部として機能するようになっている。早速、インストールしてみたが、特に問題なく動作した。



システム・エンジニアリング・サービス㈱より、m100対応のPaPi-Mailが提供されている



最新バージョンの1.3では、メール機能が内蔵されていないm100のために、PaPi-Mailとの行き来が簡単なりリーダーが付属する



今回、メール受信実験を行ったDoCoMo NM502iとPaPi-Mail



PHSユニットを内蔵した初のPalmデバイス Work Pad 31J



ユーザー待望のPHSユニット内蔵型Palmデバイス「WorkPad 31J」が登場した。外見的には、これまでのWorkPad 30Jと何ら変わらないが、内部の拡張スロットに専用のPHSユニットが装着されている。ここでは、WorkPad 31Jの概要や、実際に通信を行った際の使い勝手などについて紹介しよう。

難波 茂広 文



WorkPad 31Jの概要

PHSユニットを内蔵したWorkPad 31Jは、'99年2月に発売されたWorkPad 30Jとハードウェアの基本部分は同一である。企業向けに販売されるPalmデバイスで、市販の予定はない。外観の違いは、わずかに背面に貼られているPHSユニットのシール程度だ。

ポディーサイズは82mm（幅）×18mm（奥行き）×120mm（高さ）重さは182gで、WorkPad 30Jより20gほど重くなっている。液晶は16階調表示が可能なモノクロ画面、内蔵RAMは4MBと内部ハードウェアのスペックもWorkPad 30Jとまったく同じである。

WorkPad 31Jの特徴は、内部のオープン拡張スロットにPHSユニットが内蔵されていることだけ。逆に言えば、これ以外に取り立ててハードウェア面で特徴があるわけではない。PHSユニットを内蔵していることで、標準でインターネット接続に対応している。しかし、PHSを利用しなければ、まさにWorkPad 30Jそのままなのである。

また、搭載しているPalm OSのバージョンは、Palm OS 3.1.1日本語版である。同バージョンでは、赤外線HotSyncやNM502iを利用する場合は、IrEnhanceソフトウェアをインストールして赤外線通信機能を拡張する必要がある。

ソフトウェアは、付属している「はじめよう！ WorkPadでインターネット データ



展示会などで参考出品されていたPHSユニット内蔵のWorkPad 30J。裏面がクリアパーツで構成されている

通信機能内蔵 Ver 1.00P」（CD-ROM付き冊子）の中に、WorkPad c3（50J）と同様にPalmscapeやMultiMailなどのインターネット通信用アプリケーションが収録されている。それに加えて、内蔵

PHSユニットの動作に必要なソフトウェア

付属CD-ROM内に収録されているソフトウェア

ソフトウェア	バージョン
PHS設定	1.27
PHS Manager	1.53
PHS Serial Manager	1.37
Palmscape	1.0P
JotMail	1.0.5J
MultiMail	1.0P
PHS Launcher	1.0P

PHS Launcherは、ランチャーでは半角カナ文字で「インターネット」と表示される。

Work Pad 31J



本体背面には、内蔵されているPHSユニットのシールが貼られている



WorkPad 31Jのシステム情報画面。搭載しているPalm OSのバージョンはv.3.1.1だ



ランチャーで表示される付属ソフトは、Palmscape、JotMail、MultiMail、インターネット (PHS Launcher) の4種

サービス会社と契約すればいい。ちなみに、今回評価したWorkPad 31Jは、DDIポケットと回線契約されたものであった。

PHSユニット用ソフトウェアと 利用方法

内蔵PHSユニットの動作に必要なソフトウェアをインストールすると、アプリケーションリストに「PHS Launcher」(表示されるアプリケーションの名称は、半角カナの「インターネット」)がインストールされる。また、環境設定には、シリアル設定とPHS設定の2つの環境設定パネルが追加される。

PHS Launcherは、憐イリンクスが開発したインターネット接続専用のアプリケーションランチャーである。「Palmscape」, 「MultiMail」, 「JotMail」などの通信用アプリケーションを呼び出すほかに、シリアル設定、モデム、ネットワーク、インターネットの4つの環境設定パネルを呼び出す



WorkPad 31Jには、「はじめよう! WorkPadでインターネット データ通信機能内蔵 Ver 1.00P」(CD-ROM付き冊子)が同梱されている

が3つ用意されている。これらのソフトウェアを、CD-ROM内のインストーラから一括でインストール予約し、HotSyncを実行することで、WorkPad 31JのPHS通信機能が利用できるようになる。

ちなみに、同冊子によれば、上記のように一番はじめにインストールする必要があると記述されているが、評価機ではこれらのソフトウェアがプリインストールされていて、すぐにPHS通信機能を利用することが可能であった。また、これらのソフトウェアはハードリセットを行うと消去されてしまい、再インストールする必要があるので注意してほしい。

PHSユニット

内蔵しているPHSユニットはデータ通信専用で、PHSユニットを用いての音声通話を行うことはできない。また、発信専用となっており、一般の電話回線からの着信を受けることもできない。通信速度は、PIAFS 1.0専用で最大32kbpsとなっている。

ホームアンテナには非対応、公衆回線専用なので、自営モードを使用した内線通信を利用することはできない。したがって、

発信するときは常に公衆回線に接続するので、通話料が必ず発生する。また、室内で電波状況の悪い場所では、ホームアンテナが利用できず、自営モードの内線通信ができないことにより、電波状況を改善する術が閉ざされていることになる。これらを考慮すると、窓際や室外などPHS電波の入りやすい場所での利用が中心になるだろう。

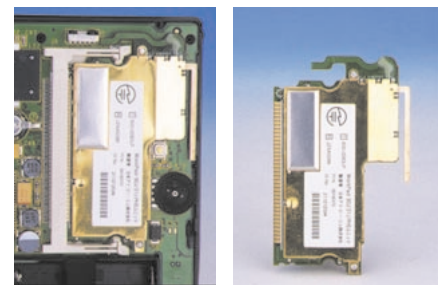
PHSのアンテナは、WorkPadの裏側から見て右上の角から、縦横に3~4cm程度の簡単なものが2本内蔵されている。データ通信をしているときは、PHSの信号強度が低下する恐れがあるので、この部分を手で覆わない方がいいとのことである。

また、PHSによるデータ通信をした場合のバッテリー駆動時間は、単4型アルカリ乾電池2本を利用した場合で約4時間(カタログ値)。通常Palmデバイスは、PIMの利用なら常に1カ月以上は電池が持つ。通信時に4時間しか持たないというのは、それだけPHSユニットの消費電力が大きいからだ。ただ、例えば同じようにアルカリ乾電池を利用する日本電気(株)のウィンドウズCEマシン「MobileGear MC/R330」では、モデムによる通信時には2時間しか使用できない(しかも単3アルカリ乾電池で)。一概に同じレベルで比較することはできないが、アルカリ乾電池を利用している携帯端末の中では、それほど通信時の電池の持ちが悪い部類ではないだろう。

なお、PHSユニットを利用するためには、別途PHSサービス会社と回線契約を行う必要がある。特に契約するPHSサービス会社の指定はされていないので、NTTドコモ、DDIポケット、アステルの3社の中から、利用するエリアによって一番電波状態のよい



WorkPad 31Jの背面カバーを開けたところ



右上のオープン拡張スロットに、PHSユニットが装着されている

PHSユニットの右上から左側に曲がって伸びている緑の部分と、右側から下方向に伸びている金色の部分が、2本のPHSアンテナだ



拡張スロットから、PHSユニットを外したところ



PHS Launcherの起動画面。通信用アプリケーションをタップするだけで起動するようになっている



右下のプルダウンメニューでは、4つの環境設定パネルを呼び出すことができる



PHS LauncherのAbout画面。開発元はPalmscapeでお馴染みの髷イリンクス

こともできる。

WorkPad 31Jに標準搭載されている4つのインターネット通信アプリケーション (Palmscape1.0P、JotMail for WorkPad 1.0.5J、MultiMail日本語版 1.0P、PHS Launcher 1.0P) は、PHSユニット用に一部がカスタマイズされており、画面右上部にPHSユニットの電源オン/オフとアンテナ強度、通信状況を表すアイコンが表示されるようになっている。電源オフのときにこのアイコンをタップするとPHSユニットの電源がオンに切り替わり、逆にオンのときにタップすると電源オフとなる。

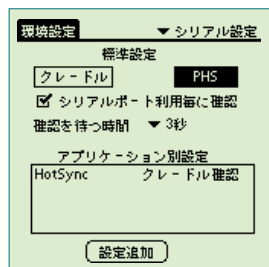
このように、対応しているアプリケーション側からPHSユニットの電源オン/オフが簡単に切り替えられるので、通常はPHSユ

ニットの電源をオフにしておき、通信するときにアプリケーションから電源オンに切り替えることができるわけだ。ただし、PHSユニットに対応していないアプリケーションからは、PHSユニットの電源操作を行うことができない。また、アンテナ強度を知る術もないので、通信時の使い勝手が若干悪くなる。

PHS Launcherや環境設定から呼び出せるシリアル設定パネルで、標準的に利用する通信ポートをクレードル (シリアルポート) にするかPHSにするかを選択できる。「シリアルポート利用毎に確認」のボックスがチェックされていると、アプリケーションがシリアルポートを利用するたびに、シリアル設定確認ウィンドウが表示される。

その時々に応じて利用するポートを選択することができるので便利ではあるが、アプリケーションに応じて利用するポートが決まっているのであれば、アプリケーション別設定をしたほうが簡便だ。

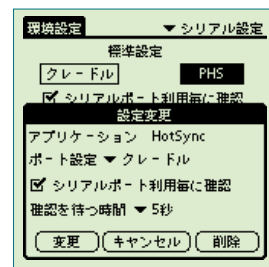
環境設定から呼び出せるPHS設定パネルでは、内蔵



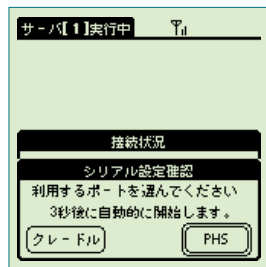
シリアル設定パネルの基本画面。標準設定とアプリケーション別設定を使い分け可能だ



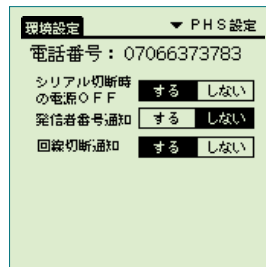
シリアル設定パネルのアプリケーション別設定追加画面で、個別の設定が追加できる



シリアル設定パネルのアプリケーション別設定変更画面で、個別の設定を行う



「シリアルポート利用毎に確認」のチェックがオンになっていると、確認ウィンドウが表示される



PHS設定パネルの基本画面では、切断時の電源のオン/オフなどを設定する

するPHSユニットの電話番号の表示、シリアル切断時の電源OFF [する・しない]、発信者番号通知 [する・しない]、回線切断通知 [する・しない] の設定をすることができる。

この中では、NTTドコモと回線契約した場合には、発信者番号通知を「する」に設定しないとmoperaには接続することができないので注意が必要である。それ以外は、通常の利用では特に設定変更する必要はない。

データ通信の利用と注意事項

WorkPad 31Jには、インターネット接続するときに利用するためのソフトウェアとして、WebブラウザのPalmscape v1.0P、統合型メールソフトウェアのMultiMail日本語版 v1.0P、手書きメモの添付ができるメールソフトのJotMail v1.0.5Jが付属している。これらの通信ソフトでは、内蔵PHSユニットのPHSステータスが表示されたり、内蔵PHSユニットを直接制御することができるので便利である。逆に、それ以外の通信ソフトでは、インターネットへの接続・切断以外に内蔵PHSユニットを制御する方法がないので、実際に利用するときには注意が必要となる。

これらのPHSステータス表示に対応したアプリケーションから一度非対応のアプリケーションに切り替えてしまうと、PHSの通信状況を確認するのに、再びPHSステータス対応のアプリケーションを起動しなければならない。また、データ通信を終了するときは、PHS対応アプリケーションから忘れずに回線切断した方がいいようだ。

ところで、WorkPad 31Jが搭載しているPalm OS 3.1.1では、標準のOSレベルでは利用するシリアルポートが複数ある場合に、そのつど切り替える必要がある。赤外線通信を拡張するIr Enhanceソフトウェアをインストールした人なら経験があるかもしれないが、このシリアルポートの切り替えは基本的に手動で行う必要があるため少々煩雑だ。クレードルのHotSyncボタンを押したのにHotSyncがスタートせず、実は赤外線ポートをシリアルとして設定したままだったといった経験はないだろうか。

Work Pad 31J



画面右上に見るのがPHSステータス。この画面は、電波強度「中」で通信中のもの



画面右上に見るのがPHSステータス。この画面は、待受中だが圏外のもの



環境設定のネットワークパネルは、一度設定しておけば、あとはまったく開く必要がない。

WorkPad 31Jでは環境設定にシリアル設定パネルが用意されていて、アプリケーションごとに自動的に利用するポートを切り替えてくれる。この点は、Palm OS 3.1.1でありながら、いちいち気にせず利用できるのが快適だ。

なお、PHSユニットを利用したデータ通信中は、タイマー設定の設定時間に関係なく、WorkPadの電源が自動的にオフになることはない。「インターネット接続を切断し忘れて、気がついたら電池切れになっていた」という事故を防止するためにも、接続したら忘れずに最後に切断しておく必要がある。

添付アプリケーション

では、WorkPad 31Jに付属しているインターネット通信アプリケーションについて、順に紹介しよう。

Palmscape for WorkPad v1.0P

Palmscapeは、イリクス㈱が開発したWebブラウザである。バージョン1.0は、WorkPad c3 (50J) に付属している。WorkPad 31Jに付属しているバージョン

1.0Pは、これを元にPHSユニット用にカスタマイズしたものである。

現在では、ソニー㈱が発売しているPalmデバイス「CLIE」に添付されているバージョン3.0が最新で、同バージョンではイメージ画像の表示やTable、Flameタグにも対応している。WorkPad 31Jに添付されたバージョン1.0Pでは、これらの機能がまだ搭載されていないので、テキストのみを表示するテキストブラウザとなっている。

Palmscape 1.0Pでインターネットのホームページを閲覧すると、イメージ画像は表示せずにALTオプションに記述された代替文字が表示され、Tableタグで作られた表組みは左から右、上から下の順にセルに記入されているテキストが表示される。Flameタグに関しては、Flamesetタグで指定された各Flameのページへのリンクと、NoFlameタグの内容を表示するといった具合だ。

確かに、パソコンWebブラウザと比較すると機能的に物足りないかもしれないが、テキストブラウザであることがかえって幸いしている点も多い。まず、イメージ画像を読み込まないことで、閲覧しようとしたページを素早く表示することができる。また、イメージ画像や表組みでレイアウトされたページは、Palmの小さい画面で閲覧す

ることを考慮して作成されることは少ないので、まず作り手側の意図する通りに表示されることはない。むしろ、おかしなレイアウトになってしまうことが多い。これらレイアウト用のHTMLタグをすべて無視し、ページの内容である文章のみを読み込むので、Palmの小さな画面でも、必要な情報のみを簡便に読むことができるわけだ。

さらに、現在国内では携帯電話用のコンテンツが続々と作られている。絵文字などの閲覧や課金ができないので、iモード専用コンテンツの利用には一部制限が生ずるものの、一般の携帯情報端末向けに作られたコンテンツの場合は、逆にPalmscapeで閲覧した方が見やすいはずである。

JotMail for WorkPad v1.0.5J

JotMailは、SumacFieldの漆畑広樹氏が制作したソフトウェアで、手書きメモをサポートしたPOP3、APOP、SMTP対応の統合型メールソフトウェアである。WorkPad 31Jに付属している製品は、WorkPad c3 (50J) 付属の「はじめよう！WorkPadでインターネット」CD-ROMに収録されている「JotMail for WorkPad」を元に、PHSユニット用にカスタマイズしたものだ。

メールソフトとしての基本機能はいたってシンプルで、メールサーバーや電子メールアドレス、本名の設定だけすれば、あとはトップ画面の「Jotアイコン」をタップするだけで、メールの送受信を行うことができる。

そのほかに、手書きメモの作成や作成したメモをメールに添付してパソコンへ送信することも可能だ。なお、送信した手書きメモは、パソコン上ではビットマップイメージ (BMP) の添付ファイルとして受け取ることができる。

MultiMail for WorkPad 日本語版 v1.0P

MultiMail for WorkPad 日本語版は、アクチュアル・ソフトウェア社が開発した英語版を元に、イリクス㈱が日本語版を開発したWorkPad用のメールソフトウェアである。WorkPad 31Jに付属している製品は、WorkPad c3 (50J) 付属の「はじめよう！WorkPadでインターネット」CD-ROMに収



環境設定で、どのインターネット通信アプリケーションを使うかを設定できる



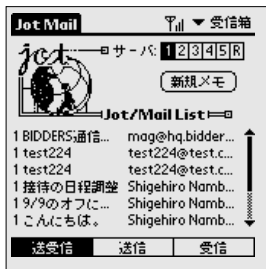
Palmscapeの起動画面。右上のPHSステータスで通信中ということがわかる



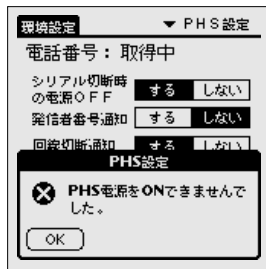
人気サイト「パーム航空」の中のコンテンツ「iPAL」を閲覧しているところ



JotMailのAbout画面。手書きメモをサポートした統合型メールソフトだ



JotMailのメールリスト画面。左上のJotアイコンをタップするだけで、メールの送受信を行うことができる



バッテリー残量が少なくなっていると、PHSの電源をオンにすることができなくなる

TRGproにP-in Comp@ctを装着したところ。P-in Comp@ctの上部が、若干飛び出すことになる



録されている「MultiMail for WorkPad日本語版」を元に、PHSユニット用にカスタマイズしたものだ。メール送受信からメールの閲覧、作成までを単独で行うことができるPOP3、APOP、IMAP4、SMTP対応の統合型メールソフトウェアで、付属のMultiMail Conduitを利用すれば、Outlook Express 5.0などのパソコン用メールソフトと連携することも可能だ（ただし、付属しているのはウィンドウズ用のみ）。

メールソフトの基本部分はたいへん高機能で、8つまでのメールアカウントと、各アカウントごとに16個のメールフォルダーを設定可能である。メールの送受信では、メールのヘッダー部分だけをダウンロードして、必要なメールのみを再度ダウンロードする利用法と、フィルター機能を設定して必要なメールのみを受信する利用法の、2通りの使い方が可能だ。また、添付ファイルの送受信をサポートし、受信したメールに添付されたPalm用ソフトウェア（prc、pdbファイル）を直接インストールすることができるなど、ほかのメールソフトウェアでは実現できない機能を豊富に備えている。

ただし、高機能なため全体的な動作が若干遅く感じると、通信中のメール送受信速度が遅いので、通話時間がかかってしまうところが弱点である。

ライバルとの比較と課題

Palmデバイスのバリエーションがなかった1年前ならいざ知らず、現在ではコンパクトフラッシュType スロットを搭載した「TRGpro日本語版」に、NTTドコモのデータ通信専用PHS「P-in Comp@ct」を装着することで、Work Pad 31Jのコンセプト

トである“PHS一体型Palmデバイス”は、ほぼ近い形で実現することができる。しかも、TRGproとP-in Comp@ctの組み合わせなら、PHSを取り外してパソコンでの高速データ通信に転用することも可能だ。ただし、TRGproにP-in Comp@ctを装着した場合は、CFスロットのカバーを取り付けることができないので、一部の基板や赤外線モジュールが露出する。その点では、外見上はまったくWorkPad 30Jと変わらずに、強度的にも問題のないWorkPad 31Jのほうが優れていると言えるだろう。

システム全体の価格としては、共に回線契約料を除外して考えると、TRGproとP-in Comp@ctでは通信用ソフトウェアなしで4万7千円前後、WorkPad 31Jは通信用ソフトウェア付きで3~6万円程度となるようだ。WorkPad 31Jの場合は、企業向けとして販売されるので正確な価格は公表されていないが、まとまった台数を導入するのであればWorkPad 31Jの方が安くなるようである。

ところで、PHSを内蔵すると確かにスマートかつコンパクトにPDAでデータ通信を行うことができるのだが、WorkPad 31J専用PHS回線契約が必要になるので、どうしても運用上のコスト的な問題がつきまわってしまう。

もし、WorkPad 31Jの内蔵PHSユニットが自営モードに対応していれば、内蔵のPHSユニットを回線契約せずに子機として利用し、PHS親機としてP-LINK STATIONのような機器を導入することによって、回線契約をひとつにまとめて月額基本料を節約することができたはずだ。また、日本電気の「Aterm IWX70」のようなワイヤレスTAを利用して、NTTの電話回線経由で室内（あるいは工場内など）で利用するこ

とも可能だったはずである。自営モードに対応していない以上、それらの利用法もかなわない。ちなみに、P-in Comp@ctの場合は自営モードに対応しているので、TRGproとP-in Comp@ctの組み合わせでは、これらの利用法も実現可能である。

望まれるPHSユニットの単体販売

PHSユニットを内蔵したWorkPad 31Jの登場によって、これまで通信には弱いと言われていたPalmデバイスの弱点を補い、インターネットや電子メールを手軽に利用できる環境が実現した。ただし、現状ではこのPHSユニットは、本体とセットのWorkPad 31Jとしてしか販売されない。WorkPad 30Jをすでに持っているユーザーの場合、わざわざWorkPad 31Jに買い換えるくらいなら、ほぼ同じコンセプトを実現できるTRGproに買い換えたほうが、個人ユースである限りは利点が多いだろう。

しかし、PHSユニットが単体で発売され、既存のWorkPad 30JユーザーがPHSユニットを搭載することができるのであれば、話は違ってくる。WorkPad 30Jユーザーの中には、PHSユニットが登場するのを心待ちにして、オープン拡張スロットに何も装着せずに待っている人も多いと思われる。ここは、ぜひ個人ユーザー向けに、PHSユニットの単体発売を期待したい。

なお、PHSモジュール組み込み用キット（PHSモジュールとドライバーソフトウェアなどのキッティング）の販売は㈱アイテス、組み込み用キットとWorkPadとのキッティングは日本IBMが行う予定という情報があるが、具体的な日程や価格はまだ決定していないようである。



Information

ソフトニュース



うわさのPIM ソフトがベールを脱いだ

(株)クロストークは、マック用のPIMソフト「コマンド・アイ Palm」を発売した。

基本機能は、Palmデバイスとデータのシンクロが行える「予定表」「アドレス帳」「To Do」「メモ帳」。そのほかに、Palmデバイスに対応した従来のPIMソフトにはなかった「お財布」「フォトメモリ」「データベース」「Eメール」「占い」などの機能を持っている。

「お財布」では、Palmデバイスの「支払いメモ」とデータのシンクロを行い、本ソフトのカレンダー上で収支確認やコメントに記入した内容を確認できる。「Eメール」はPalmデバイスで受信したメールをマック上で閲覧・管理する機能だが、マックでは新規作成や編集作業は行えない。画像管理の「フォトメモリ」は、デジカメなどで撮影した画像ファイルのサムネール表示や、スライドショー表示ができる。画像をPalmデバイスで閲覧するには、シェアウェアの画像ビューアソフト「FireViewer」を使用する。ただし、Palmデバイスからマックへの画像転送には未対応。「データベース」は、カード型のシンプルデータベース機能を持ち、「日記」や



図 (株)クロストーク (TEL082-256-8883)
価1万2800円
URL <http://www.crosstalk.co.jp/>

「音楽CD」などのテンプレートが用意されている。また、オリジナルフォームの作成も可能だ。しかし、データベースに関してはPalmデバイスとデータを同期することはできない。「占い」は、今日の運勢(総合/ビジネス/恋愛/旅行/学業/人間関係/金運)を占ってくれるお楽しみ機能だ。毎回本ソフトを起動すると表示される。

セキュリティ機能もあり、マック上でPIMデータのシークレット設定を行うと、Palmデバイスにそれが反映される。Palm OS 3.5を搭載した機種では、マスク表示にも対応する。各データの項目はインデックスごとに15種類の分類ができるが、



ウィンドウはPalmデバイスに似たデザイン。各機能へはハードウェアボタンを模したボタンでアクセスする。右上の緑のボタンでソフトが終了する

EメールだけはPalm OSと同じ10種類の分類にしか対応していない。印刷機能では、A4/A5/システム手帳形式のほか、A-one/HISAGOなどのラベル印刷用の宛名フォームが用意され、さまざまな用途に使える。タブ区切りテキストでのデータ書き出し/読み込みが行え、ほかのPIMソフトからの乗り換えもスムーズだ。

推奨システム環境はマック OS 8.1以降、Palm OS 3.1と3.5に対応。なお、この製品にはマックとPalmデバイスを接続するケーブルは含まれていない。別売りのPalm コンピューティング(株)製の「Palm Connect」を用意しよう。



複数のデバイスでデータを共有するサービス開始

フュージョンワン(株)は、インターネットを経由してパソコンや、Palm デバイスなどのPDA、iモード対応携帯電話などの間で、データの共有を行う「インターネット Sync サービス」と、インターネットのさまざまな情報を各デバイスのPIMソフトに自動的に取り込む「1-Click Sync」サービスを9月1日より開始した。

「インターネット Sync サービス」は、パソコンやPDAのカレンダー、アドレス、電子メールをはじめ、ワープロ書類からブラウザのブックマークに至るまで、あらゆるファイルをインターネット上に設置されたサーバー上で管理するもの。カレンダーやアドレスなどはWeb ブラウザーで閲覧できる。また、パソコンやPDAのPIMソフトと、サーバーのデータを同期できる。データの同期では、変更部分のみを同期する「差分シンクロナイズ」技術を採用。通信時間やネットワークへの負担も最小に抑えられ、すべてのデータは各デバイスから暗号化されて送られる。なお、パソコンで作成したファイルについても、差分シンクロナイズにより更新があっ



登録していないデバイスからでも、ブラウザ経由でデータを閲覧、追加、削除、変更することが可能。データへのアクセスはパスワードによって守られる

た部分だけを同期する。

本サービスを申し込むには、同社のWeb ページからユーザー登録を行い、使用するデバイスの登録と、専用ソフトをダウンロードする。次に同期を行うソフトやファイルを選択して、インターネットにあるデータセンターにデータを送る。その後、登録した複数のデバイスからサービスを利用してデータの閲覧や編集ができる。

サービス開始当初は、ウィンドウズで動作する「Outlook97/同98/同2000」、「Outlook エクスプレス」、「Netscape コミュニケーター」、「NetScape Communicator」のアドレス帳が対応する。Palm 用ソフトは、現在



変更があった最小限の部分のみを同期する。ファイルを更新した場合でも、転送するのは更新された部分だけだ <http://www.fusionone.co.jp/>

米国でベータ版が配布されており、明確な時期は不明だが国内でも間もなく配布開始とのこと。利用料金はサーバーに用意するデータ容量で区分され、15MB までは月額 280 円(年額 2800 円)、最大容量の 1GB までは月額 5200 円(年額 5 万 2000 円) となお、2000 年 12 月末までは、データ容量の大小にかかわらず、無料でサービス提供を行う。

一方の「1-Click Sync」は、対応する Web ページで旅行情報やイベント、番号案内、取引記録などを、インターネット Sync サービスのデータに取り込むサービス。現在は無料で提供されている。



Office 2001 には Palm と同期する新開発の PIM ソフトが付属

マイクロソフト(株)は、11月中旬に発売する「Microsoft Office 2001」に付属する「Entourage 2001 for Mac」に、Palm デバイスとシンクロナイズ機能を搭載する。

Entourage は、PIM 機能を持つ電子メールソフトで、同社の「Outlook」とは異なる製品。

Palm デバイスとのシンクロナイズ機能は「HotSync マネージャ」用のコンジットとして提供される。しかし、出荷時にはコンジットは付属せず、Web ページや雑誌 CD-ROM などを通して配布する予定だ。



☎ 未定
☎ 03-5454-2300
🌐 <http://www.microsoft.com/japan/>



煩わしいケーブルを使わず 赤外線で Palm を LAN に接続

シーエフ・カンパニー(株)は、米エクステンディッドシステムズ社製の LAN アダプター「XTNDAccess IrDA NET」を発売した。

IrDA 1.1 に準拠し、赤外線通信で Palm デバイスを 10Base-T イーサネットへ接続可能。データ転送速度は最大 4Mbps、Palm OS 3.0.2 以上に対応する。本体サイズは幅 110 × 奥行 110 × 高さ 41mm、重さ 382g。



ウィンドウズ 95以降と NetWare 対応
☎ オープンプライス
☎ 03-3864-1471
🌐 <http://www.cfcompany.co.jp/>

ハードニュース



革の質が違う。KNOX 製 Palm 専用ケース

システム手帳関連の製品で知られる(株)ノックスは、Palm V / WorkPad c3シリーズ専用の革ケース発売した。

基本となるケースは3種類、さらにPalmデバイスと組み合わせて使ううえで便利な、関連アクセサリを収納できるホルダーパーツなどが用意され、自由に組み合わせるようになってきている。

「ピアス・パームホルダー」は、Palmデバイス本体とアクセサリを収納できる二つ折りタイプ。「ピアス・パーム対応システム手帳」は、Palmデバイス本体を収納できるシステム手帳で、バインダーには独クラウゼ社製の13mmリングを使用。「ピアス・パームホルダーフルジップタイプ」は、Palmデバイス本体とアクセサリを収納、ジッパーで閉じるタイプだ。

全製品とも、素材には英国産バウファローカーフの「ピアス」を使用。カラーは、ブラック、ブラウン、グリーンの3色をそろえる。

☎(株)ノックス
☎03-3462-4266
☎<http://www.knox-japan.co.jp/>
Palmデバイスや携帯電話、ペンは別売



ピアス・パームホルダー。ほぼ真四角な横開きで、二つ折りタイプだ。ペン差しやスタイラス専用ペンホルダー、カードポケット、アオリポケット、7.4 × 10.5mmのメモパッドが付く。本体サイズは、幅148 × 奥行き25 × 高さ148mm ☎1万5000円



ピアス・パーム対応システム手帳。ペンホルダーやカードポケット3つ、アオリポケットが付属。バインダーは独クラウゼ社の13mm径リングで、リフィルは約80枚収納することができる。本体サイズは、幅112 × 奥行き28 × 高さ145mm ☎1万6000円



ピアス・パームホルダーフルジップタイプ。ジッパーで閉じるため、鞆の中で開いてしまうことはない。スタイラス専用ペンホルダーや、カードポケット2つ、7.4 × 10.5mmのメモパッドを備える。本体サイズは、幅158 × 奥行き38 × 高さ158mm ☎1万8000円



左から「ピアス・パーム対応ペンホルダー」(☎2300円)、携帯電話機「NM502i」専用の「ピアス・パーム対応携帯ホルダー」(☎2800円)、「ピアス・パーム対応ペンケース」(☎4800円)。全製品とも、Palmデバイスのスタイラス収納スロットに装着できる

ハードニュース



赤外線接続に対応する世界最小ファクスモデム

シーエフ・カンパニー(株)は、米スリージェイテック社製の赤外線モデム「Pegasus」を発売した。

世界最小のポータブルモデムで、Palm OS 3.5以上を搭載したPalmデバイスの赤外線ポートを経由して、33.6kbpsのデータ通信が可能。接続は赤外線のほか、RS232シリアルケーブルでも行える。電源には充電式電池を採用。ファクス機能も搭載する。本体サイズは幅65 × 奥行き95 × 高さ18mm、重さ200g。



☎オープンブライズ
☎03-3864-1471
☎<http://www.cfcompany.co.jp/>

海外ニュース



お尻に差すだけで簡単バックアップ

米ノーススターモバイル社は、メモリーバックアップアダプター「Memory Safe」シリーズを発売した。

Palmデバイスのシリアルポートに差すだけで、メモリー内のデータをバックアップできる約10gの軽量アダプター。電源を必要とせず、Palmデバイスにドライバーをインストールするだけで使える。m100 / Palm / Palm 用とPalm 用があり、容量も2MBと8MBの合計4種類を用意。日本からの注文も可能だ。



☎[2MB版]49.99ドル、
[8MB版]64.99ドル
☎<http://www.northstarmobile.com/>
Palm 用は10月発売予定



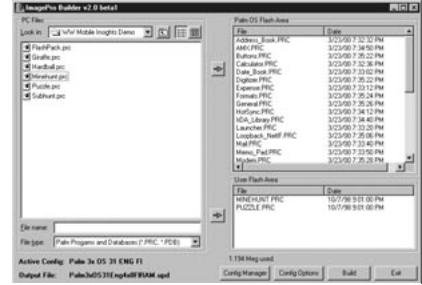
ImagePro の国内販売が開始

株ミヤビックスは、米 TRG プロダクツ社製のフラッシュメモリーに任意のソフトを書き込むソフト「ImagePro」(ウィンドウズ 95 / 98 用) を発売した。

本ソフトは、Palm デバイスに搭載されるフラッシュメモリーの書き込み、書き換えを行う。Palm OS が使用するファイルや標準搭載される「予定表」や「アドレス」などのアプリケーションを削除可能だ。このため、企業などが自社専用とし

てPalm デバイスを完全にカスタマイズできる。すでに発売されている米 TRG プロダクツ社製の Palm デバイス用ソフト「FlashPro」では、フラッシュメモリーの空き領域のみの利用しかできなかった。

なお、フラッシュメモリーは、m100 及び Visor 以外の日本語 Palm デバイスすべてに搭載されており、容量は Palm OS 3.1 搭載機が 2 メガバイト、Palm OS 3.5 搭載機が 4 メガバイト。



■26 万 4000 円 (200 ライセンス)
 ■株ミヤビックス (info@visavis.co.jp)
 ■http://www.miyavix.co.jp/



SD カードスロット搭載機を来年出荷

米パーム社は、自社製品の拡張スロットとして SD カードを採用し、2000 年初頭に投入する新製品に SD カードスロットを搭載する予定であると発表した。

SD カードを採用した理由は、小型化が行いやすい、参加メーカーが多く機器が登場する可能性が高い、次期製品でのデータ転送速度が 10Mbps と高速化するという点。SD カードは、松下電気産業株や米サンディスク社、株東芝が提唱したフラッ

ッシュメモリーカード。

ソニー(株)や米ハングスプリング社、米 TRG プロダクツ社などの Palm デバイスは、それぞれメモリースティックやスプリングボード、コンパクトフラッシュなどの規格を採用している。これに対して米パーム社は、ライセンシー各社が採用している拡張規格も、SD カードと同じく Palm OS の将来的なバージョンでサポートすることを発表している。



SD カードスロットの搭載により、データのバックアップや MP3 ファイルのような、デジタルメディアへのアクセスが可能になる見込みだ



メモリー容量 8MB 製品の一部に不具合

パームコンピューティング株は、同社の Palm デバイスの一部に不具合の発生する可能性があることを発表した。

対象となるのは、Palm x、同 c、xe (日本未発売) の 3 製品。不具合の内容は、メモリー容量の限界近くまで利用した場合に、データにエラーが生じる、あるいはデータの入力ができなくなるというもの。同社の Web ページでは、不具合が発生する可能性のある Palm デバイスが

どうかをチェックするソフトウェアと、不具合を解決するパッチが配布されている。

この問題は容量 8MB のメモリーを搭載する、日本アイ・ビー・エム株製の WorkPad c3(50J) や、ハングスプリング株製の Visor でも起こる可能性があるが、いずれも各社の Web ページでチェックソフトと対応パッチが配布されている。なお、同じ種類のデバイスでも、容量 8MB のメモリー搭載モデル以外では、不具合は発生しない。



パームコンピューティング株(http://www.palm-japan.com/)
 日本アイ・ビー・エム株(http://www.ibm.co.jp/pc/workpad/)
 ハングスプリング株(http://www.handspring.co.jp/)

ハードニュース



手持ちの携帯電話からインターネットにアクセス

リンク・エボリューション(株)は、携帯電話用の赤外線モデムアダプター「IR GEAR」を開発中だ。

本製品は(株)NTTドコモ製の携帯電話に接続し、Palmデバイスから赤外線通信でネットワークに接続できる。発売時期は今年後半、価格は1万円弱を予定している。



☎未定
☎03-5301-2700
☎<http://www.linkevolution.com/j/>

業界ニュース



ネットの更新告知サービスやPIM 情報共有サービス登場

プーマテクノロジー(株)は、ネット上の情報を収集/共有する「モバイル・アプリケーション・プラットフォーム」を開始した。

Palmデバイスや携帯電話などのPIM情報をシンクロナイト、Webページの更新監視機能の「Mind-it」から構成される。



「Mind-it」は米イーベイや米ライコスも対応。「Sync-it」は年末開始だ
<http://www.pumatech.co.jp/>

海外ニュース



スーパーモデル仕様の青いPalm x 限定版

米PTNメディア社は、10月にPalm x 限定版を発売する。メタリックアクアカラーが特徴で、クロード・シフアー本人が選んだソフトを収録したCD-ROMを添付する。Webサイトのみで販売の予定だ。



☎<http://www.claudiaschiffer.com/>

ハードニュース



m100のメモリーも8MBに増設しよう

パームコンピューティング(株)の入門機m100の2MBメモリーを8MBに増設するサービスが相次いで発表された。

ユニバーサルシステムズ(株)の「PDA工房」と(有)マスターでは、キャンペーン価格で8000円。(有)オープンリソースの「Hit in」では7000円。いずれもショップに送って増設を行うが、PDA工房とHit inでは増設済みのm100も販売している。

☎PDA工房 (☎<http://www.u-systems.co.jp/pda/>)
☎(有)マスター (☎<http://www.master-corp.co.jp/>)
☎Hit in (☎<http://www.hitin.com/>)

海外ニュース



ファイルメーカーもPalm市場に参入

米ファイルメーカー社は、今冬にデータベースソフト「FileMaker Mobile」を発売する。同社のデータベースソフト「ファイルメーカープロ5」とのデータ同期機能を備え、米国での希望小売価格は100ドル以下になる見込み。



☎<http://www.filemaker.com/>

ソフトニュース



CLIE だけじゃないPalmの総合情報サイト

ソニー(株)は、Palmデバイスの総合情報サイト「CLIE Plaza!」を開始した。

「gMedia」用の動画や静止画などを用意するほか、専用ソフトで閲覧するコミックや、メールマガジン、検索エンジンなど豊富なコンテンツを用意している。



☎<http://www.peo.ne.jp/>

業界ニュース



ファッション業界にCLIE効果が伝播する

SOPH.の2000年秋冬モデルのジャーマンクロスパンツには、CLIEの専用ポケットが用意される。携帯電話とCLIEを収納できるポケットがあり、ジッパーで閉じるようになっている。



☎2万6000円
☎03-5775-2290

ハードニュース



Visorのカラーを生かした革ケース

丑やは「Visor用ケース」を発売した。木の葉をイメージしたデザインで、Visor本体の露出度合いが高い。色はブラック、ブラウン。



☎6800円
☎<http://www.kyoto2001.co.jp/ushi-ya/>

Palm デバ

ハード関係

1 電源ボタン

デバイスの電源をオン/オフにする。一定の時間が経過すると自動的に電源がオフになるが、再びこのボタンで電源をオンにすると、電源をオフにした直前の状態に戻る。また、モノクロ液晶の場合は2秒以上押し続けるとバックライトが点灯する

2 予定表ボタン

スケジュール管理ソフト「予定表」の今日の予定を表示する。もう一度押すと1週間の予定になり、さらに押すと月間予定と、押すたびに表示するスケジュールの範囲が切り替わる

3 アドレス帳ボタン

「アドレス帳」を呼び出すボタン。繰り返して押すと、カテゴリを変更できる。アドレス帳に入力した自分のデータを名刺として登録しておけば、このボタンを約2秒間押し続けることで、赤外線ポートを経由してほかのPalmデバイスに送信できる

4 To Doボタン

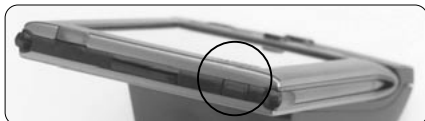
予定している用件を項目別や優先順位順に整理し、終わったものにはチェックを付けていく「To Do」を表示するボタン。電源オフの状態でも、このボタンを押すだけで自動的に電源がオンになる。カテゴリの変更はほかのボタン同様繰り返し押す

5 メモ帳ボタン

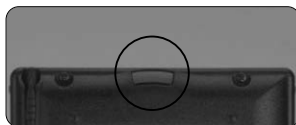
「メモ帳」ソフトを表示するボタン。「To Do」ボタン同様、電源がオフの状態でも押すとオンになり、メモ帳を表示する。メモ帳が開いている状態でボタンを押すと、カテゴリが切り替わる

6 コントラスト調整

画面表示の濃度を設定する(Palm Computing m100はグラフィティ入力エリア右上)ただし、カラー液晶搭載のPalmデバイスには、この機能はない



上部の左端にあるのは、Palm xとWorkPad 50J



WorkPad 30Jのコントロール調整ボタンはダイヤル式で、裏面右側にある

ポイント

Palmデバイスは、電源オフの状態から電源/予定表/アドレス/To Do/メモ帳ボタンのいずれかを押せば電源が入り、ボタンを押したアプリケーションが起動する仕組みになっている。



内蔵マイク(Visorのみ)

7 スタイラス

Palmデバイスの液晶画面をタップ(パソコンでいうクリック)操作したり、文字入力に使用するペン。Palmデバイスによって場所は異なるが、本体に収納できる

8 スクロールボタン

ひとつの画面にすべてのデータを表示しきれない場合、このボタンを押すと上下にスクロールする。表示している項目のどれかを選んでいる場合には、上下にある次の項目を選ぶ場合にも使用する。スライドショー機能を持つソフトでは、表示画面の切り替えができる

9 Graffiti(グラフィティ)入力エリア

スタイラスを使って文字や数字を入力するエリア。左半分がアルファベット用、右半分が数字用。日本語入力モードにすれば、日本語をローマ字入力できる。文章の入力作業以外にショートカットキーやコマンドを入力し、デバイスの操作も可能

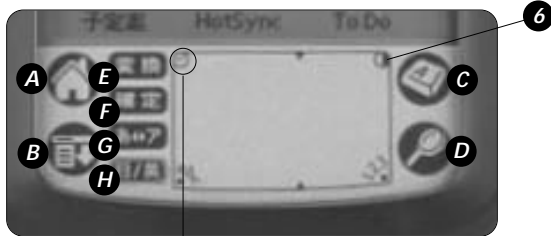
イスの基本

Palmデバイスの基本は、いつでもすぐに使えるように操作方法が工夫されていることだ。ここでは、Palmデバイスに標準で用意されているアプリケーションを操作する場合に、関係する本体の各部の名称と機能を紹介しよう。

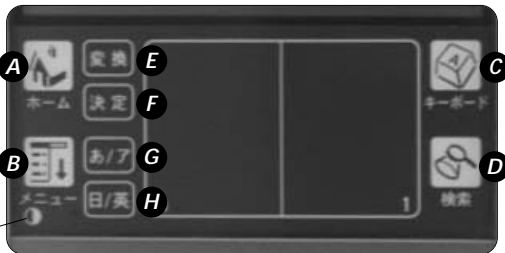
なお、Palmデバイスはカスタマイズできるが、デフォルト状態での操作で説明する。

【特徴的なシルクスクリーンエリア】

Palm Computing m100



CLIE 「時計機能」があるのは Palm Computing m100のみ(部分)



Palm c



電源を長押しすると画面にコントラスト調整パネルが現れる

片手で簡単操作・ジョグダイヤル

ソニー(株)「CLIE」の本体左側面上部に搭載されているのが、操作性に定評のあるジョグダイヤルだ。ダイヤルを回して押すだけというシンプルな動作で、さまざまな操作を簡単かつ直感的に行うことができる。片手だけで、各種アプリケーションの操作が行えるように考えられたデバイスだ。



ソフト関係

A ホームアイコン

Palmデバイスに入っているアプリケーションを、アイコンまたは名前で一覧表示するアイコン。一覧表示で、もう一度ホームアイコンをタップすると、タップのたびにカテゴリー順に表示が切り替わる

B メニューアイコン

画面表示している項目の詳細な設定をしたり、機能呼び出しのためのメニューを表示するアイコン。メニューに表示される項目は、そのときに使っているアプリケーションによって変化する

C キーボードアイコン

Palmデバイスの画面に文字入力できるソフトキーボードを表示するアイコン。キーボードを閉じる場合は、もう一度キーボードアイコンか、キーボード内の「終了」ボタンをタップする

D 検索アイコン

Palmデバイスに記録しているデータを探したい場合に使用するアイコン。検索アイコンを押して表示されたウィンドウに、探したいデータのキーワードを入力すればPalmデバイスに記録している全項目に対して検索を行う

E 変換アイコン

文字の入力後に漢字変換をする場合にタップし、変換を行うアイコン

F 確定アイコン

文字の入力後、もしくは漢字変換のあとに入力を確定をする際にタップするアイコン

G かな / カナ切り替えアイコン

入力する文字をひらがな / カタカナに切り替える場合にタップするアイコン。確定前であれば、文字を入力したあとでも切り替え可能

H 日 / 英切り替えアイコン

入力する文字を日本語 / 英語に切り替えるアイコン

図解 Palmの基本をマスターしよう

Palm OSの 基本アプリケーションを マスターしよう

Palmデバイスに採用されているPalm OSには、標準アプリケーションとしていくつかのツールが用意されている。しかし、Palmデバイスの種類によって採用されているPalm OSのバージョンが異なっていたり、デバイスに特徴を持たせるために、すべての標準アプリケーションの種類が同じというわけではない。そこで、今回はどのデバイスにも用意されている基本アプリケーションに絞り、中でも利用頻度の高い「予定表」「アドレス」「To Do」「メモ帳」の4つを図解でわかりやすく解説していこう。

予定表

予定表は毎日のいろいろな予定を入力して管理するアプリケーションだ。入力した予定をひと目で把握できるのはもちろん、長期にわたって予定の効率的な管理も可能だ。また、終わった予定は消去しない限り記録として残るので、あとから確認できるメリットもある。

今日の予定を入力

今日の予定を入力してみよう。予定表アイコンをタップするか、予定表ボタンを押して起動する。なお、予定表は時間軸に沿ったかたちで表示されている。



予定を入れたい開始時刻の行をタップすると、自動的に1時間の予定として予約される。間違えたときは別の時刻の行をタップすれば、予約を解除できる



予約した予定にグラフィティやソフトウェアを使って内容を入力する。1つの予定には全角で127文字まで書き込みが可能で、複数行にわたって入力できる

今日以外の予定を入力

別の日の予定を入力する場合も予定日の設定を除けば、基本的な入力方法は今日の予定と同じだ。



1週間以内ならば予定表の画面の上にある曜日をタップして、予定を入れたい日付に移動しよう。黒く反転した曜日が現在表示されている曜日となる



あらかじめ予約される時間は1時間だが、時間を変更できる。予定の開始時刻をタップして「時刻の設定」ダイアログボックスを開く



予定の開始時刻と終了時刻を5分さみで設定できる。希望の時刻の数字を選択し、入力が終わったら画面左下の「OK」をタップする



予定表の時刻の左側に、予定の時間枠を示す開始時刻と終了時刻をつないだ線が現れ、この時間帯に予定が入っていることを確認できる



数週間、または1カ月を超えるときは、画面下の「カレンダー」をタップして、予定を入れたい日付をタップする。入力方法は、前述の今日の予定と同じだ



1週間を超える予定の場合は曜日の左右に表示されている矢印をタップして、1週間単位で移動しよう

時刻指定のない予定の入力

友人の誕生日や創立記念日のような、特に時刻が指定されていない予定の入力も行える。また、入力時点では時刻が決まっていなかったり、予定の場合も、この方法が便利だ。



予定を入れる日付を選び、画面の左下にある「新規」ボタンをタップして「時刻の設定」ダイアログボックスを開く



時刻の設定をしないので「指定なし」ボタンをタップ。その後「OK」ボタンをタップしてダイアログボックスを閉じる



すると左はじの時間の行の上部に「」印が表示された入力画面が現れるので、予定の内容を入力する



入力が終わったら、両面の余白部分を一度タップする。予定表の最上部に時刻指定のない予定が表示される

定期的な予定や連続した予定の入力

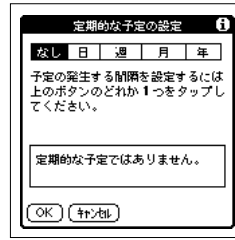
毎週決まった曜日に行われるミーティングや数日間の研修など、連続した予定も設定できる。



設定する予定を直接タップする。その後、画面下にある「詳細」ボタンをタップして「予定の詳細」ダイアログボックスを開く



「予定の詳細」ダイアログボックスの中の「定期的な予定」項目をタップすると、「定期的な予定の設定」ダイアログボックスが開く



「定期的な予定の設定」ダイアログボックスから、予定が繰り返す周期を選択する。「終了日」の設定ができるので、期間も決められる

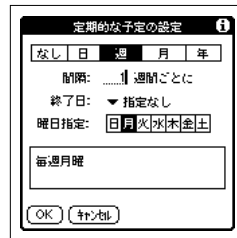
「日」単位の繰り返し



予定の間隔を「日」単位で設定する。毎日、2日ごとといった予定が設定可能だ。旅行のように連続した予定は間隔に「0」を入力

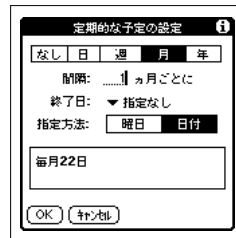


「週」単位の繰り返し



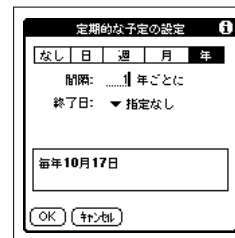
予定の間隔を「週」単位で設定する。毎週水曜日、隔週の月曜日といった予定が設定できる

「月」単位の繰り返し



予定の間隔を「月」単位で設定する。毎月第2土曜、毎月25日といった予定が設定できる

「年」単位の繰り返し



予定の間隔を「年」単位で設定する。毎年10月17日といった予定が設定できる



設定が終わったら、「定期的な予定の設定」ダイアログボックス左下の「OK」ボタンをタップ

Schedule

予定にコメントを付ける

入力した予定には情報を付け加えることができる。忘れてはならないことや待ち合わせの場所の詳細などを入力しておこう。



コメントを付け加えたい予定を直接タップして選択。次に、「詳細」ボタンをタップ



「予定の詳細」ダイアログボックスの「コメント」ボタンをタップする



予定についてのメモなどを入力。入力が終わったら画面左下の「終了」ボタンをタップする



コメントが入力されると、予定の右側に「コメント」アイコンが表示される

アドレス帳

Palm デバイスの標準アプリケーションの中で、最も利用頻度が高いのがアドレス帳ではないだろうか。アドレス帳は個人や会社の名前、住所、電話番号といった住所録の管理をするアプリケーション。住所データは種類別に分類でき、仕事用や個人用など必要に応じて使い分けすることも可能だ。

新規アドレスの入力

入力が必要な項目だけでよく、すべての項目を必ず入力する必要はない。電子メールアドレス以外の項目は最初が大文字に設定されていたり、ひらがなから漢字に変換をした際に「よみ」が自動的に入力される機能(グラフィティで入力した場合。アルファベットや数字、英語入力は除く)もあり、入力の手間を省く工夫がなされている。

「アドレス」アイコンをタップするか、「アドレス帳」ボタンで起動。「新規」ボタンをタップ

白紙の状態の新しいアドレスが開き、新規アドレスが入力できる状態になる

最上部は「よみ」の欄だが入力は「姓」の欄から始まるようになっている

名前を入力にグラフィティを使い、ひらがなから漢字に変換すると「よみ」の欄にふりがなが自動的に入力される。入力が終わったら「終了」ボタンをタップ

カスタムフィールドの設定

メールアドレスの複数入力や、デバイスに用意されていない項目を付け加えたいときに活躍するのが「カスタムフィールド」だ。この「カスタムフィールド」項目は4つまで作成することができ、名前も自由に付けられる。

アドレスを一覧表示の状態にし、入力エリアにある「メニュー」アイコンをタップすると、画面上部に3つのメニューが表示される

右側の「オプション」メニューの「カスタムフィールド」をタップして、「カスタムフィールド名の変更」ダイアログボックスを開く

カスタムフィールドに付ける名前を入力する。項目は4つまで。なお、カスタムフィールドに設定した名前は、そのPalmデバイスすべてのアドレスに対して適用される

カスタムフィールドは自分のPalmデバイスでのみ有効。ほかのPalmデバイスに送信した場合は表示されない。設定を終えたら左下の「OK」をタップしダイアログボックスを閉じる

アドレスにコメントを付ける

入力したアドレスにコメントを付けることができる。相手の趣味や家族構成などの情報を入力したり、会社なら取引情報などを記録しておくとう便利だ。

アドレス一覧の中からコメントを付けたいアドレスをタップ

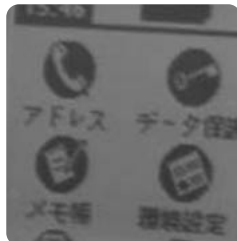
アドレスが開いたら、画面下にある「編集」ボタンをタップ

画面がアドレスの編集モードに切り替わったら、画面右下にある「コメント」ボタンをタップ

コメント入力画面が表示されるので、コメントの内容を入力する

入力が終了したら、コメント入力画面を閉じるには左下の「終了」をタップする

Address



アドレスの並び替え

アドレス帳での一覧表示は通常「姓」「名」での50音順で並んでいるが、設定を変えると「会社名」「姓」の50音順で並べることも可能になる。アドレスの並び替えはすべてのカテゴリーに対して行われる。なお、アドレスの並び替えによってアドレスの内容そのものが変更されることはない。

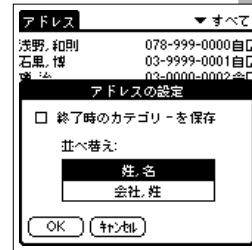
ただし、並べ替える基準はアドレスの「よみ」項目になっている。例えば「姓」の読みがなければ、「名」の読みを基準とする。あらかじめ読みが入力されていないと、基準になるものがなく、思ったおりに並べないので必ず入力しておこう。



アドレス帳を起動して、まずアドレスを一覧表示し、入力エリアにある「メニュー」アイコンをタップする



画面上部の「オプション」メニューの「設定」をタップして「アドレスの設定」ダイアログボックスを開く



「姓、名」と「会社、姓」の2つの項目がある。どちらかを選択し、左下の「OK」ボタンをタップしてアドレスの設定を閉じる

アドレスを分類する

アドレスが増えてくると、どういう関係のアドレスなのかがわかりづらくなっていく。そのときには種類別にカテゴリーを作って分類するとい。仕事用やプライベート用というように、最大15個のカテゴリーが作成可能だ。



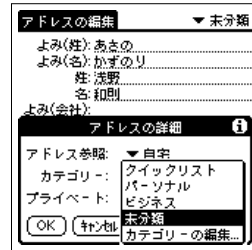
アドレス一覧からアドレスを開き、画面下の「編集」ボタンをタップして編集モードに切り替える



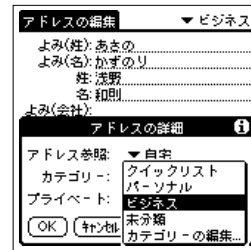
アドレスの編集に切り替わったら、画面下にある「詳細」ボタンをタップする



画面の下半分に「アドレスの詳細」ダイアログボックスが現れる。「カテゴリー」の右に表示されているのが、このアドレスの現在の分類になる



「アドレスの詳細」ダイアログボックスの「カテゴリー」ドロップダウンメニューをタップすると、Palmデバイス内に作られているカテゴリーが一覧表示される



アドレスを分類したいカテゴリーを選択し終わったら、画面左下の「OK」ボタンをタップして「アドレスの詳細」ダイアログボックスを閉じる

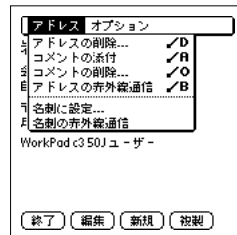
Address

自分のアドレスを名刺に設定

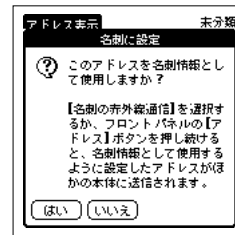
名刺に設定したアドレスは赤外線通信を使って、ほかのPalmデバイスへ簡単に送信できる。自分のアドレスを名刺に設定しておくといだろう。



名刺にする自分のアドレスをタップして開き、入力エリアにある「メニュー」アイコンをタップして、メニューを表示する



メニューが表示されたら、画面上部の「アドレス」メニューにある「名刺の設定...」をタップする



「名刺の選択」ダイアログボックスが表示されるので、名刺に設定するならば「はい」を、やめるならば「いいえ」をタップする



名刺の設定は完了。Palmデバイスに赤外線送信を行う場合は、アドレスボタンを2秒以上押し続けると送信できる

To Do

To Doは用件や仕事を忘れないように、記録して管理するアプリケーション。いわゆる備忘録だ。このTo Doでは用件のほかに期日と優先度を設定できるので、使い始めると手放せなくなる。

新規To Do項目の入力

新しいTo Do項目を入力するには、以下の手順で操作する。



To Do項目の一覧画面左下にある「新規」ボタンをタップし、新しいTo Do項目の入力準備をする



黒く反転した行に、新しいTo Do項目が入力できる状態になっている。1つの用件には複数行の文字を書き込み可能だ

To Do項目の表示

以前に入力したTo Do項目を確認するには、以下の手順で操作する。



To Doは、起動すると以前に入力したTo Do項目を一覧表示する。その中から表示したいTo Do項目を探す



入力が終わったら画面の余白部分をタップするか、スクロールボタンを押すとTo Do項目の一覧画面に戻る



情報を付け加えたいTo Do項目の用件を直接タップする



画面下にある「詳細」ボタンをタップして「To Do項目の詳細」ダイアログボックスを開き、優先度などの設定をする



To Doがたくさんあって1画面を超える場合は、フロントパネルにあるスクロールボタンを使ってページを移動できる



カテゴリ分けされていて目的のTo Do項目が見当たらないときは、画面右上「」をタップしてカテゴリを切り替える

To Do項目に情報を付け加える

入力したTo Do項目には、表示されている以外の情報を付け加えることができる。項目の優先度や期日など忘れてはいけないことを入力しておくといふ。

なお、To Do項目の詳細を入力し終わったら、画面左下の「OK」ボタンか「キャンセル」ボタンをタップし、入力を終了させる。「OK」ボタンをタップすると、入力した情報を保存してダイアログボックスが閉じ、「キャンセル」をタップすると、入力した詳細情報は保存されずにダイアログボックスが閉じる。

優先度の設定



入力した用件の優先度を設定。優先度を付けて用件の重要度が確認できる。新しく作ったTo Do項目は最優先になる

カテゴリの選択



分類するカテゴリをドロップダウンメニューから選択。最適なカテゴリがないときは新たに作成できる（49ページを参照）

期日の設定



To Do項目の用件について期日を設定する。ドロップダウンメニューには大まかな日付がすでに用意されている



期日を細かく設定したいときには、ドロップダウンメニューから「日付を選択」メニューを選ぶ

コメントの入力



すると「日付を選択」ダイアログボックスが表示されるので、年/月/日を選択して期日を設定する



詳細画面右下にある「コメント」ボタンをタップすると、To Do項目についてのメモなどの入力ができる



1つの用件には複数行の文字を書き込める。入力が終わったら画面左下の「終了」ボタンをタップする

To Do項目の分類

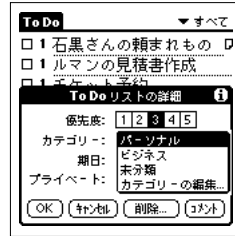
To Do項目が増えたと内容がわかりづらくなって、大切な用件を見落とす原因にもなりかねない。そこでTo Do項目を分類しておこう。



分類したいTo Do項目の用件を直接タップするか、または画面下にある「詳細」ボタンをタップする



「To Do項目の詳細」ダイアログボックスが開く。「カテゴリ」の右に表示されているのがこのTo Do項目の現在の分類だ



「カテゴリ」ドロップダウンメニューをタップすると、Palmデバイスに存在しているカテゴリが一覧表示される



「カテゴリ」の右の表示が選んだカテゴリに切り替わっていることを確認。左下の「OK」ボタンをタップする

用件の終了を記録する

To Do項目の用件が終わったら、左側にある四角いチェックボックスをタップしてチェックマークを付けることにより、その用件は完了となる。「To Do項目の表示」ダイアログボックスで、「完了した項目を表示」チェックボックスにチェックが付いていない場合は、チェックを付けると同時にその用件が項目一覧から見えなくなるので注意。



終わった用件にチェックマークを付ける

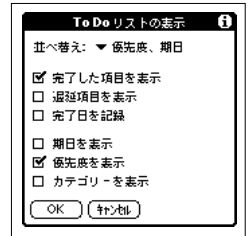
To Do項目の画面表示変更

To Do項目は用件以外に優先度や期日などを入力できるのは前述のとおり。また、優先度や期日などの情報をTo Do項目の一覧画面の中でも表示できる。データは活用されて初めて利用価値が上がるものなので、用途に合わせてカスタマイズしよう。

設定が終わったら画面左下の「OK」ボタンが「キャンセル」ボタンをタップする。「OK」ボタンをタップすると、入力した情報を保存してダイアログボックスが閉じる。また、入力した情報を記録せずにダイアログボックスを閉じる場合は「キャンセル」ボタンをタップし終了する。



To Do画面の下にある「表示」ボタンをタップする



「To Doリストの表示」ダイアログボックスが開く

To Do

C O L U M N

To Do項目は見やすさ重視で

To Doの項目は複数行の用件を書き込めるが、できるだけ簡潔に用件を書く必要がある。これは、Palmデバイスの液晶が小さいため、長い用件があると1画面で表示できる項目数が減少してしまうからだ。また、用件をひと目で確認できなくなるデメリットも発生する。

もし、どうしても長くなってしまった場合は、項目にコメントを添付して、To Doの用件をわかりやすく簡潔にできるだけ1行に収めるようにするといふ。



複数行の用件は見づらくなり、表示項目数も減る



項目を簡潔にし、コメントを付けると見やすい

To Do項目の並べ替え

To Do項目の並べ替えを設定する。一覧表示での表示順番をドロップダウンメニューの中から選択

完了項目の一覧表示設定

完了したTo Do項目を一覧表示するかしないかを設定。チェックを付けると表示する

遅延項目の表示設定

期日になったTo Do項目または期日の過ぎたTo Do項目、期日のない項目だけを一覧表示するように設定できる。これを設定すると期日前のTo Doは表示しなくなる

完了項目の完了日を記録

これはTo Do項目のチェックボックスにチェックを付けた日を記録する機能。あるTo Do項目の期日が2週間先に設定されていたとして、1週間後に用件が完了してチェックを付けた場合、期日的那天に書き換えられる。期日の設定がされていない項目にも、自動的に期日が入力されるため、用件の完了日を記録したい場合に便利だ

期日の表示設定

To Do項目の一覧表示で、用件の右側に期日を表示し、期日を過ぎたTo Do項目には「！」を期日の右側に表示して知らせる

優先度表示の設定

To Do項目の一覧表示で、用件の左側に優先度を表示する。優先度は高い順に1から5となる

カテゴリ表示の設定

To Do項目の一覧表示時で、用件の右側にTo Do項目に設定されているカテゴリを表示する

メモ帳

気が付いたことを控えておいたり、ちょっとした文章を書き留めるためのアプリケーションがメモ帳だ。文字しか入力できないが、手書き入力で文字がデジタルデータになる手軽さをうまく利用したいアプリケーションである。

新規メモの入力

新たにメモを入力する場合は、次の手順で行う。すでにメモ帳が起動して、メモ帳の一覧が表示しているときは、グラフィティエリアに文字を入力すると新しいメモにいきなり記録できる。



新しいメモを準備するには、メモ帳の画面の左下にある「新規」ボタンをタップする



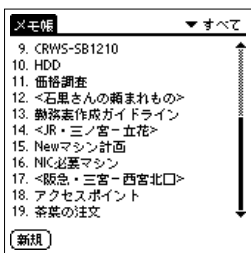
すると、白紙の状態の新しいメモが開いて、文字が入力できる状態になる



日本語で最大約2000文字まで書き込みができる。入力が終わったら「終了」ボタンをタップ

メモの表示

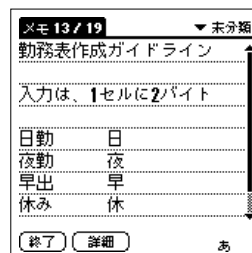
以前に入力したメモを確認する場合は、以下の手順で操作する。



すでに入力してあるメモを開くには、メモ帳を起動してタイトル一覧表示の中から探す。タイトルはメモの1行目の文章なので、内容をすぐに確認できる



メモがたくさんあって見当たらない場合は、画面右上の「」をタップしてカテゴリーを変えて表示画面を切り替えたり、画面をスクロールして探す必要がある



目的のメモが見つかったら、タイトルをタップするとメモが開く。内容を確認したら、左下の「終了」ボタンをタップすると、メモが開いて一覧に戻る

Memo

メモを分類する

メモが増えてくると、メモを探すことさ大変になってくることもある。そのときには、メモを種類別にカテゴリーを作って分類しておくことで検索性もよくなる。仕事用やプライベート用というように、最大15個のカテゴリーが作成できる。



分類をするメモのタイトルをタップしてメモを開く。次に画面下にある「詳細」ボタンをタップすると「メモ帳の詳細」ダイアログボックスが表示される



「カテゴリー」の右に表示されているのが、このメモが現在分類されているカテゴリーだ。分類していないときは「未分類」と表示される



「メモ帳の詳細」ダイアログボックス内の「カテゴリー」ドロップダウンメニューをタップすると、Palmデバイスに作られているカテゴリーがすべて一覧で現れる



「メモ帳の詳細」ダイアログボックスを閉じるには、左下の「OK」ボタンをタップする



「カテゴリー」の右に表示されている表示が選んだカテゴリーに切り替わっているかを確認する



ドロップダウンメニューの中から、メモを分類するカテゴリーを選んでタップする

Category

カテゴリーを編集しよう

Palmデバイスのデータは、カテゴリーごとにわかりやすく分類できる。カテゴリーは自分の用途に合わせて最大15個まで作成できる。あらかじめ必要なカテゴリーを作っておけば、入力時に便利になること間違いなし。

ここではTo Doでカテゴリーを編集する手順を紹介しよう。もちろん、ほかの標準アプリケーションでもカテゴリーを選択するドロップダウンメニューで「カテゴリーの編集」を選べば、同じ手順でカテゴリーの編集が可能になる。

カテゴリーの作成



画面右上にあるカテゴリーをタップしてドロップダウンメニューを表示し、一番下の「カテゴリーの編集」メニューをタップする



表示された「カテゴリーの編集」の画面下にある「新規」ボタンをタップする



「カテゴリーの編集」ダイアログボックスを開き、付け加えたいカテゴリーを入力する。入力が終わったら「OK」ボタンをタップ



「カテゴリーの編集」画面内に今回新しく作成した「自動車」というカテゴリーができているのがわかる

カテゴリーの変更



すでに設定しているカテゴリーを変更する場合は、「カテゴリーの編集」画面から変更したいカテゴリー名をタップして反転させる



画面下の「変更」ボタンをタップすると、新規の場合と同様に「カテゴリーの編集」ダイアログボックスが表示される



新しいカテゴリーを入力し終わったら、「OK」ボタンをタップして「カテゴリーの編集」ダイアログボックスを閉じる



すると、「カテゴリーの編集」画面内に、変更した「Car」というカテゴリーができていることが確認できる



今回はPalmデバイスを活用するうえで必要となる4つのアプリケーションを基本的な部分に絞って説明した。これは、ほんの入り口にすぎず、もっと奥が深いのがPalm OSであり、Palmデバイスなのだ。

興味を持って使い込んでいくうちに「こんなこともできるのか」と、驚くこともあると思う。パソコンでは考えられない小さなサイズと、パソコンにはとても追いつかない低いスペックでも人気がある理由を、実際にPalmデバイスを使って確かめてほしい。

Palmを自分流に 使いこなす



Palmをしばらく使っていると、使い勝手に対しての不満が生じたり、新たな機能がほしくなってくる。Palmは最初から機能てんこ盛りのPDAと違って、初めて手にした人でもひと通り使えるように最低限の機能に抑えてあるので、使い慣れてくれば欲も出てくるのは当然だろう。そのように感じ始めたらそろそろステップアップの時期。本来、Palmは自分の使い方に合わせて手を加えていくハードウェアといってもいい。自分の使い方に合わせてPalmを変えていこう。

しもけん 文

もっと深くPalmと つきあうには？

ない。自分にとって使いやすく手を加えたのなら、Palmは今までより一段向上した、すなわちカスタマイズできたということだ。手法を大まかに分類すると以下ようになる。

ソフトウェアによるもの

Palmには世界中にたくさんのソフトウェアが存在する。それらのすべてがPalmに対して何らかの機能を付け加えるものといっても過言ではない。それぞれのソフトウェアは作者がPalmの

ステップアップの方法には、これといった決まりは

使い勝手を改善しようとするために作られているものも多数存在する。これらの中から自分が求める機能を含んだソフトウェアをインストールすれば、簡単にステップアップが実現できる。

ハードウェアによるもの

Palmは携帯性を重視し価格を抑えるために、パソコンと比較してもあらかじめ本体に装備されているハードウェアに乏しいといえる。しかし、足りないハードウェアは追加することで、パソコンにも勝る機能を得られる。なんでもてんこ盛りのパソコンと違い、必要なときに必要なだけの機能拡張ができるPalmはスマートにカスタマイズが実現できる。

Palmを自分流に使いこなす

手を加えるとどうなる？

まず何よりもカスタマイズ本来の目的でもある「自分にとっての使いやすさ」が増す。仕事で使っていれば生産性も増すだろうし、プライベートでも素早く目的の用件を処理できるだろう。自分用に手が加えられたPalmは自分だけのものなので愛着も湧くし、さらに有能になったPalmは今まで以上に手放せない存在になるに違いない。

また、Palmはカスタマイズという行為で新しい面を見せてくれるので、飽きることなく使い続けることができるのだ。

カスタマイズの手順

カスタマイズを始める前に以下の手順をよく確認しておきたい。目的のないステップアップは十分な効果が期待できない。

① どんな機能が必要なのかを確認する

今の自分の使い方とどんな機能が必要なのかを考えて、To Doリストに書き出してみよう(図1)。そのときにできるだけ具体的にどんな機能が欲しいのかを明確にすること。その中でハッキリとした目的と漠然としたものに分ける。ハッキリとしている目的の中で優先順位を決めると、効率よくカスタマイズを進められる(図2)。また、カスタマイズの内容によっては、本体の設定を変えるだけで解決できる場合もある。もう一度マニュアルや本を確認してみること。

② どうやったらカスタマイズできるのかを確認する

自分の求めるカスタマイズが、どういう方法で実現できるのかを確認する。もっとも手取り早いのが、専門誌を確認する

ことだ。ソフトウェアであれば情報をまとめた書籍なども発売されているので、それらで内容を確認すると、短時間で多くの情報を入手できる。ほかにインターネットのWebページや掲示板、検索エンジンを利用する方法もある。特に、ハードウェアなどは実際に使っているユーザーのWebページが参考になるだろう。また、ほかのPalmユーザーやPalmを取り扱っている販売店から情報を聞いたり、品物を見せてもらったりするのもいい。わかったことはメモしておくことを忘れないこと。あとで、きっと役に立つ。

③ さっそく加工してみよう

自分のカスタマイズに必要な調査が終わったら、実行に取りかかる。ソフトウェアは必要に応じて入手し手元に用意しておく、ハードウェアなら購入をする。いずれの場合も万が一のトラブルに備えて、作業前にHotSyncを済ませておこう。複数にわたるカスタマイズを予定している場合は、それらを一気にやるのではなく、ひとつずつ進めていくようにする。なぜなら一気に進めると、変化が激しすぎてカスタマイズの効果を十分に確認できないばかりか、最悪の場合は初めより使いづらくなってしまふ場合もあるからだ。

④ カスタマイズの結果を検証する

カスタマイズが終わったら、しばらくその状態でPalmを使ってみる。本当に自分が求めていたものなのかを確認するためだ。特に重要なのは、機能が付け加えられた場合、その機能自体に満足するのではなく、機能を付け加えたことでほかのどのような影響を受けたのかも確認することだ。確認したい項目としては、操作方法や操作感などが挙げられる。ソフトウェアの場合は、目的の機能は同じなのに操作方法が異なるものも出てくるだろう。種類によっては、入れ替えてみて検証を行おう。シェアウェアや試用版のソフトウェアはこれらの検証のあとから正規版にすればよい。



図1 必要な機能を書き出したところ



図2 優先順位をつけるとうかりやすい

ソフトウェアの場合は、(株)アスキーの書籍『WorkPad+Palmシリーズ最強化バック』(2800円)が便利。ていねいな解説に加えて、ソフトウェアを収録したCD-ROMも付いているのがうれしい

パームウェアで カスタマイズ



Palmユーザーは常に「自分のPalmを自分にとって楽しく使いやすくしたい」と思っている。共有されることのない自分だけのPDAであるPalm。ユーザーの数だけ異なるPalmが存在するといっても過言ではないだろう。購入したままの状態を使い続けることが悪いわけではないが、より使える自分だけのPalmへカスタマイズを試みよう。ここで紹介するのはほんの一例にすぎないが、パームウェアで変わることでできるPalmの世界を知っていただければ幸いだ。

しもけん 文

Palmとパームウェアの関係

Palmを初めて手にして、内蔵された標準ソフトウェアがシンプルだと感じた人は多いのではと思う。一般的なPDAは「何でもできるように」考えられており、どれも過剰とも思える機能が満載だ。そういったPDAの中で、Palmは必要最小限の機能のソフトウェアしか搭載されていない。当然、それらは使い込むうちにだんだんと物足りなく思うようになるはずだ。しかし、なぜそんなPalmが話題になり、人気があるのだろうか。

もともとPalmは最初から完成されたPDAではない。ユーザーの手に渡ってから、ユーザーの使い方に合わせて少しずつ組

み立てられ、徐々に完成されていくPDAだといえる。手間はかかるが、そうした苦勞によって、だんだんと自分のモノになっていく過程がPalmの面白さでもあり、人気の秘密でもあると思う。

Palmには、パソコンのようにソフトウェアを追加することもできる。Palmユーザーでプログラム作成の技術を持った者は気が付いた不満を解決するとともに、Palmをもっといろいろなシーンで使いたいと考えて、たくさんのソフトウェアを作成し公開している。Palmに追加できるソフトウェアはPalm専用のもので、パソコン用と区別する意味でパームウェアと呼ばれる。その数は、世界中で数千は存在するともいわれており、パームウェアの種類も、息抜きのゲームから立派なビジネスソフトウェアまでと実に幅が広い。

パームウェアでカスタマイズ 2

プログラムの技術を持っていないPalmユーザーは、公開されたパームウェアを自分のPalmにインストールして、Palmの利便性を広めている。そして、さらに増えたPalmユーザーによりパームウェアのニーズは増大し、数も増えていく。そういった繰り返して増えたパームウェアは、どれも「かゆいところに手が届く」ソフトウェアで、それら膨大なパームウェアを自分の好みに合わせて組み合わせることができるのだ。

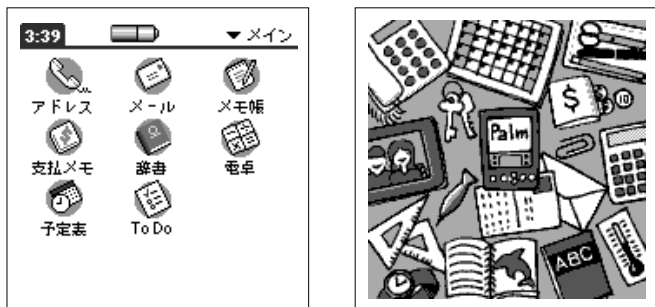
「かゆいところに手が届く」パームウェアたち

アプリケーションの起動をグラフィカルに「Home」1.05
 作者 Unlimited Mac & Palm (福本 修仁)
 URL <http://www.umap.net/>
 種別 シェアウェア (US \$ 15)

通常、Palm内部のアプリケーションを起動するには、ホーム画面から目的のアプリケーションをタップする。「Home」はその操作をもっと直感的に、かつグラフィカルに表現したものだ。パッと見ただけではただのイラストにも見えるが、実はそのイラストの中に描かれている「物」に対して、ユーザーが自由にPalm内部のアプリケーションを割り当てることができる。あらかじめ割り当てられたイラスト内の「物」をタップすることで目的のアプリケーションが起動する仕組みだ。

Homeにはイラスト、すなわち背景が11種類用意されており、ユーザーの好みやPalmを使う状況に合わせて切り替えられる。例えば、仕事用とプライベートでは使うアプリケーションも異なるだろうし、画面もビジネスらしくカチッとしたもの、プライベート用にかわいくと2つに分けておくことができる。

また、Homeに付いているプラグイン機能を使って、背景上



通常のホーム画面とHomeの比較。両方の画面の内容は同じだ。事務的なアイコンに対して、Homeではイラスト内に描かれている物に自由に割り当てられる

それぞれのイラストには、このようにアプリケーションが割り当てられている。イラスト上の四角い枠をタップすれば、アプリケーションが起動する

ビジネス用

1 報告書作成
1 銀行への振込み
1 加工見積書作成
1 住民税の支払い
1 会議室の予約
1 宛書作成
2 ビデオの返却
2 住民票を取る
2 振金の見送り

プライベート用

ビジネス用とプライベート用にシーン設定をした例。同じPalmでも、2つの違う背景でずいぶんイメージが変化する

に情報を表示することも可能だ。上のビジネス用の画面に表示されたTo Doと時計はそのプラグイン機能を利用したもので、To Doは未処理分を表示し、時計は現在時刻を表示している。ほかにバッテリー状況や、未読メールの有無を表示するものもある。

なお、背景は別にツールを用意すれば自分で追加することもできる。ぜひ、オリジナルの背景制作にチャレンジしてもらいたい。また、現在カラー対応版も準備中とのことだ。電子機器をもっと柔らかく自然に使いたい人向けのパームウェアといえる。

ドラッグ&ドロップでラクラク文章編集 「Drag & Drop」3.0.5 J

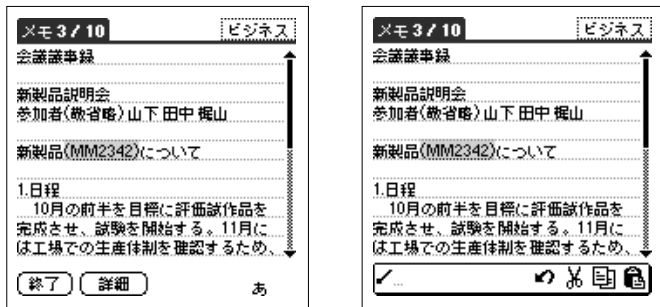
作者 Unlimited Mac & Palm (福本 修仁)

URL <http://www.umap.net/>

種別 シェアウェア (US\$15)

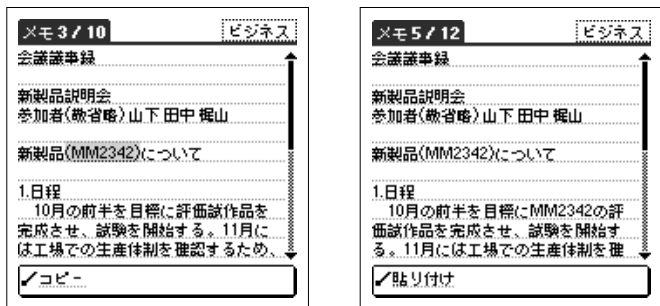
Palmで文章を作成したり、編集する際に重宝するPalmウェア。文章の文字列を選択して、スタイラスでそのままドラッグ&ドロップでコピー(カット)&ペーストを行えるのが「Drag&Drop」だ。

Palmは、標準でもコピー(カット)&ペースト機能が用意さ
【標準のコピー(カット)&ペーストを使った場合】



コピーしたい文字列を選択

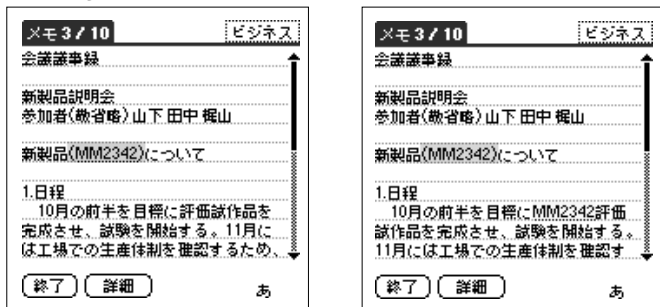
コマンドを入力する準備をする



コマンドを入力する

目的の場所に貼り付けて完了

【Drag & Dropを使った場合】



標準のコピー(カット)&ペースト同様にコピーしたい文字列を選択

そのまま文字列をドラッグして、目的地で離せば完了

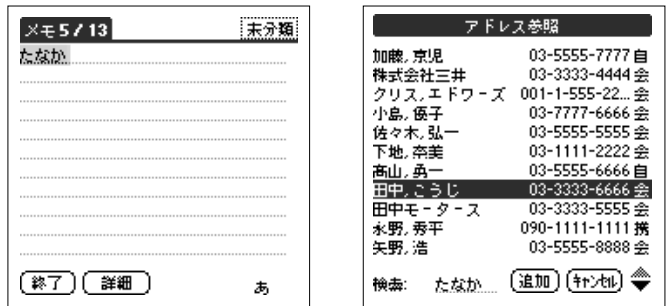
コピー(カット)&ペースト操作の違い。標準搭載の機能と、Drag&Dropを利用した場合ではこれだけ操作が簡潔になることがわかりになるだろう

れている。手順は文章の文字列を選択後に一度コピー(カット)コマンドを入力してデータをクリップボードに移し、目的の場所を決めてから再びペーストコマンドを入力して文字列をペースト(貼り付ける)する。これに対して「Drag&Drop」は文章の文字列を選択後、選択された範囲をスタイラスで目的の場所までドラッグすればよいだけという手軽さだ。これまでのコピー(カット)&ペーストが格段に手早く行える。

文章編集が直感的に行えるので、面倒な編集作業が素早くかつ効率よく行える。また、文字列の選択を利用して別の機能を持たせることのできる機能も搭載している。例えば、検索アイコンの位置までドラッグすれば、該当するアドレスデータを検索できる機能は大変重宝する。



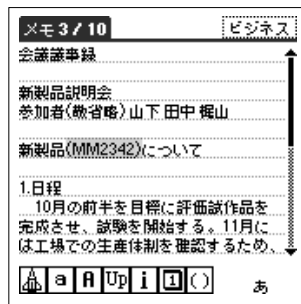
選択した文字列を検索アイコンまでドラッグすると、アドレスデータの検索を即座に行う。該当するアドレスが1件の場合は該当した検索結果の内容をメモにペーストする



複数のアドレスの場合は、アドレスが開いて該当のアドレスが選択される

ほかに選択した単語をそのまま辞書で調べたり、ユーザー辞書に単語登録をする機能などがあり、これらはDrag&Drop対応モジュールとして用意されている。Palmで操作するPalmの特長を

うまく生かしたPalmウェアだ。本来であればPalmの苦手とする文章編集も、このDrag&Dropで快適に行えるのだ。



選択した文字列を画面下までドラッグすると、準備されたDrag&Drop対応モジュールのアイコンが一覧表示されるので、文字列を目的のアイコンまでドラッグするとその機能を利用できる。

パームウェアでカスタマイズ 2

予定表を強化

「Datebk3日本語版」3.0

作者 Rimlico Software (日本語版作成 富永 聡)
 URL <http://www.pimlico Software.com/datebk3.htm>
 (http://member.nifty.ne.jp/s_tommy/palm/)
 種別 シェアウェア (US\$ 20)
<http://www.visavis.co.jp/>でも購入可能 (2480円)

Palmを毎日使っていて、最も使用頻度の高いのは予定表だろう。シンプルでわかりやすい予定表も使い込むにつれて、もう少し機能が欲しくなってくる。でも、せっかく使い方を覚えた予定表を捨ててまでほかの予定表に乗り換えたくないという場合にうってつけなのが「Datebk」だ。

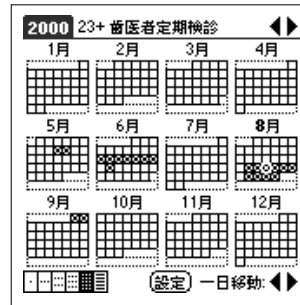
Datebkは、標準の内蔵アプリケーション「予定表」と「ToDo」を置き換えて使うパームウェアだ。見た目はほとんど同じだが、注意すると細かい部分が変わっていることに気がつくはずだ。見た目では最大の表示画面の種類だろう。標準での日表示/週表示/月表示の3画面に対して、日表示/週表示1/週表示2(縦割りの1、2週切り替え)/月表示/年間表示/リスト表示の6種類7画面に増えている。特に週表示2はVisorの「予定表+」で採用されており、その見やすさと使いやすさから、



月表示 / 標準: 1カ月単位のカレンダー状で表示。1日の枠の縦軸を時間帯に、印の位置で大体の予定時間帯を確認



月表示 / Datebk: 標準の月表示と同じ内容だが、1日の枠内にはアイコンが表示され、予定の内容を確認できる



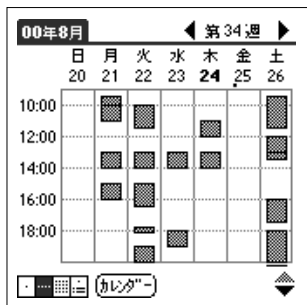
年間表示 / Datebk: 標準搭載にはない1年間の予定表。予定のある日が黒く表示され、年間を通じてのスケジュール確認が可能



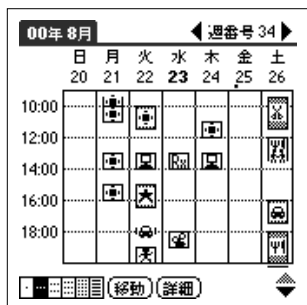
日表示 / 標準: 時間軸に沿って予定を表示。時間帯は時刻の左側の罫線で表示。予定右端のアイコンはメモの存在を示している



日表示 / Datebk: 予定左側のアイコンは予定の種類を分類する役目のほかに、予定内容がわかりづらい他画面での確認に役立つ



週表示 / 標準: 1週間単位の時間割表示がなされる。黒く塗りつぶした部分が予定のある時間。内容の表示などはできない



週表示1 / Datebk: 同様の1週間単位の時間割表示だが、時間帯内に表示されるアイコンによって、ひと目で予定の内容を判別できる



週表示1 / Datebk: 標準搭載の場合と異なり、1週間分の時刻と予定内容をまるで手帳のように表示できる。内容表示数の制限はない



週表示2 / Datebk: これも標準搭載にはない機能で、2週間分の予定内容と時刻を表示。ただし、予定の内容表示は1日2件まで

ほかのPalmユーザーはうらやましく感じていただろう。

目立たないが、もうひとつの大きな相違点は予定表の中にToDoと一緒に表示されたことだ。それにより予定表のほかに、いちいちToDoを切り替えて確認する必要がなくなり、予定を忘れてしまうという問題が解決されている。

Datebkには、細かい部分で予定表ではなかった機能が用意されている。例えば、予定のコピーができるようになっている点だ。会議など、仕事をすううえで日々似たような予定がある場合はいちいち新規に入力していると面倒だ。そういうときはコピー発で予定を複製すればいい。また、予定ごとにアイコンを表示できるようになっている。アイコン表示は週間、月間表



To Do / 標準：標準搭載の場合、予定表とTo Doは切り替えて表示する。また、時間指定のない予定は入らない



リスト表示 / Datebk：時間の決まっていない予定とTo Doを同時に1画面で表示可。予定の確認漏れが少なく重宝する

示でも表示可能で、小さい画面にかかわらず予定の種類を判別できるので便利。ほかにも多数の追加機能があり、予定表を使い込んでいたユーザーなら納得できる改善点ばかりだ。

予定に関しては「もうこれ以上の機能は必要ないのでは」というほど手が込んでいる。しかも、機能面でこれだけ追加しているにもかかわらず、動作が高速な点で二重丸の評価ができる。スケジュールを重視するならば、このPalmウェアは外せないのではないだろうか。予定表に不満があるならば、まずはインストールして自分で確認してほしい。

なお、Datebkの売り上げは、自然動物の保護を目的とする Gorilla Haven Project という団体に寄付されている。



左が標準搭載の日表示で、右がDatebkの日表示。Datebkの日表示では、最上部でTo Doまでもが表示される



日表示でアイコンを表示した例。アイコンはリスト(右)から自由に選択することができる

PalmでWebを見よう 「Palmscape」2.0 J

作者 (株)イリクス

URL <http://www.ilinx.co.jp/palm/index.html>

種別 2480円(税別)

パソコンとシンクロして情報を持ち歩き活用するのがPalmの真骨頂だが、パソコンに頼らずPalm単体で情報収集したい場合もあるだろう。現代における情報の“るつぼ”と化したWebをPalmで見られるのが、Webブラウザ「Palmscape」だ。



Palmscapeのスタートページ

もともとPalmには通信機能が搭載されており、回線に接続するための周辺機器(モデムなど)さえ準備できれば、インターネットの接続も可能な仕様だ。Palmウェアをインストールすると、その通信機能を利用してPalm単体でのダイヤルアップ接続を実現している。



Palmは通信機能が搭載されているので、通信用の周辺機器があれば、インターネットに接続できる

パームウェアでカスタマイズ 2

Palmscapeは機能のわりには動作が非常に軽快で操作も簡潔だ。ネットワークへの接続から切断に至るまでPalmscape内で行えるので、Webを見たいときはPalmscapeを起動すればいいだけ。Palmの画面は非常に小さいが、一般的なWebページであれば、ほとんど問題なく表示/閲覧ができる。Webページ内の画像も閲覧できるので、画像情報も見逃すことはない。カラー表示に対応したPalmならば、写真も鮮明に表示できる。大きな画像も頼りリンクスが提供するプロキシを経由して、Palmに適した形式に変換されるので、小さなPalmの画面サイズでもはみ出すことはない。もちろん、ほとんどのWebページがパソコンの画面に合わせてレイアウトされているので、それを再現することはできないが、情報を収集するにはなんら問題はない。表示された情報はメモ帳に保存ができるので、Palmでの資料や書類の作成のほかに、あとからHotSyncをしてパソコンでの再活用も可能だ。



Palmscapeで見たWeb。レイアウトは崩れてしまうが、十分見ることはできる



Palmscapeでは、その画面中のテキストをメモ帳にコピーをすることもできる

Palmscapeは単にWebを見るだけではなく、パームウェアらしい機能も搭載されている。よく見るWebページには通常ブックマークを付けておくと、あとでWebページの更新を確認するときに、いちいち各Webページを開くことなく、自動で更新状況をチェックする「シンク機能」も搭載している。更新のあったページは自動的に読み込まれてあとで閲覧することができる



Webの更新状況を確認するためシンク中。シンク後はURLの隣に「？」が付いた書類アイコンが表示される



ので、ニュース系のWebページに有効だ。

最近は携帯電話でもWebを見ることができ、パソコンとの連携やデータの活用を考えれば、Palmのほうが何かと都合のいいのはPalmユーザーなら理解できると思う。なお、フレーム画面などに対応した3.0が近日公開の予定だ(8月現在)。

Palm単体でメールのやり取り 「PaPi-Mail」1.2

作者 システム・エンジニアリング・サービス(株)

URL <http://www.papi.ses.co.jp/PaPi-Mail/>

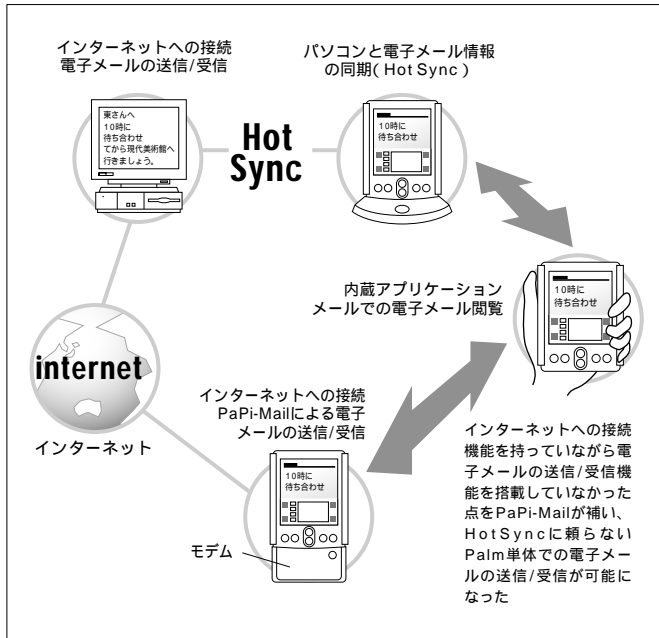
種別 シェアウェア(PaPi-Mail3J 3000円/4J 3980円)

Palmには標準の内蔵アプリケーションに「メール」が搭載されている。しかし、これは閲覧用ソフトウェアであって、Palm単体では電子メールの送受信はできない。すべての処理はパソコンとのHotSyncによって処理される。Palm本体がインターネットに接続できる仕様を持っていないながら電子メールの送受信ができないのはもったいないと、送受信の部分を受け持つパームウェアがいくつか発表されたのは自然な流れだろう。

その中でも、お勧めのパームウェアは「PaPi-Mail」だ。設定も簡単で、電子メールの閲覧と作成に関しては標準搭載の「メール」を利用しているので、使い勝手に関して新たに覚える必要もない。

電子メールのやり取りは最初の実行でメールのリストをサーバーから取り込むだけで、すべての本文は読み取らない。Palmには取り込んだリストから、メールの送信者とタイトルを表示する。その中で必要なメールにチェックを付けて再び実行すると、本文のすべてがPalmに取り込まれる仕組みだ。パソコンで電子メールを取り込む際、一般的には一気にサーバー内のすべ

てのメールを取り込むが、Palmのメモリー容量や処理速度、屋外や携帯電話でのアクセスを考慮して必要なものを効率よく取り込む仕様になっている。もちろん、一度の実行ですべての電子メールを取り込む設定も可能だ。



通常のメールを読み書きする手順と、PaPi-mailを使った通信の手順の違い。PaPi-mailを使うとパソコンとHotSyncが必要ないことに注目



PaPi-Mailは、Palm本体に標準で搭載されているインターネットの接続機能と標準の電子メールリーダーの間を取り持つ。内容はシンプルで、サーバーからリストを取り込みタイトルを一覧表示する。タイトルだけで内容がわからない場合、タイトルをタップすれば最初の一部分をプレビューするので、大まかな内容を確認して、実際に取り込むかどうかの判断が可能のため、電話代を節約できる。取り込んだメールは標準内蔵アプリケーションのメールを使って読む

取り込んだ電子メールは、Palm標準のメールを使い閲覧する。これまでも標準のメールを使っていたなら特別な操作はしないので、連携はスムーズに行えるはずだ。新規のメールや返事などを入力したら、再びPaPi-Mail画面を表示し、送信ボタンで返信は完了する。

とにかくPalmだけで電子メールのやり取りをしたいと考えて

いるなら、お勧めの1本だ。PaPi-Mailは3Jと4Jの2つに分かれており、違いはIMAP4(*)という規格に対応しているかどうかだ。一般的には3Jで問題はないが、IMAP4を利用するのであれば4Jを選ぶ。ちなみに、4Jには3Jの機能も含まれている。なお、この号が発売されるころには新バージョンがリリースされている予定だ。新バージョンであるPaPi-Mail 1.3では、最新の「Palm Computing m100」に対応し、メールリーダーも搭載している。これにより電子メールを読むのにPalm標準のメールに切り替える必要がなくなり、より快適になるはずだ。

* : IMAP4 (Internet Messaging Access Protocol 4)

現在の主流となっているPOP3 (Post Office Protocol 3) に代わる次世代メッセージング・プロトコルであるIMAPの最新版。POP3ではメールボックスに存在するメールを一度にすべてダウンロードしなければならない。しかしIMAPではサーバー側にメールボックスを置き、メールを取り込む際は最初にメールのヘッダー部分だけを取り込み一覧表示をする。その中で受信したいものだけを選択してコピーまたは移動をする。サーバー側でメールを管理するため、複数のパソコンでメールを読めるほか、セキュリティの強化や処理能力の低い情報端末などでのメール閲覧にも向いている

オフィスでもPalmを活用 「iOffice」2.40

作者 株式会社ネオジャパン

URL <http://www.neo.co.jp/ioffice/index.html>

種別 グループウェア10ユーザー 2万円～

会社内やグループ内のインターネット/イントラネット化が進む現在、社員それぞれが持っている情報の共有化や、コミュニケーションを支援するグループウェアの分野において、個人ごとの業務用情報端末機器としてPalmが注目されている。Palmは携帯性の良さと端末の価格の安さから法人でも評価の高いPDAなのだ。

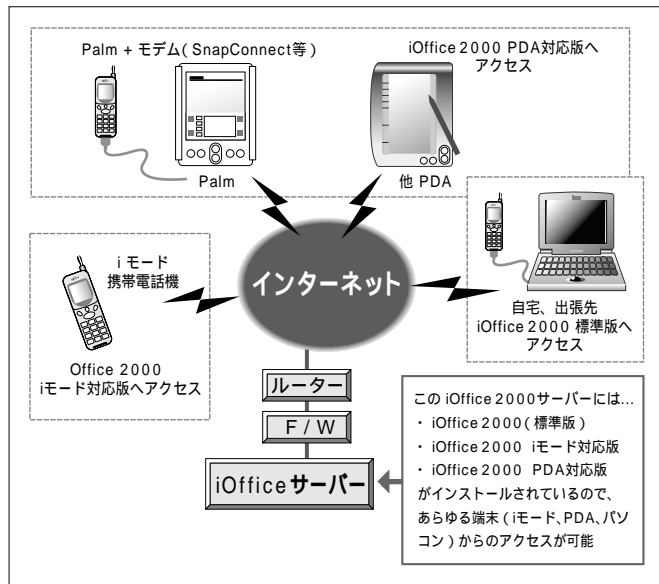
グループウェアとは、集団(グループ)での作業を支援するためのソフトウェアや、それらを含む仕組みのことだ。これまでのパソコン用ソフトウェアが個人単位で利用されることを目的に作成されていたのに対し、グループウェアは多人数でのネットワーク利用を前提として情報の共有化やコミュニケーション

パームウェアでカスタマイズ 2

ンを支援し、グループ全体の効率の良い業務の生産性向上を目的としている。メジャーな製品としてロータス社の「Notes」がある。

国内でもいろいろな機能を付加し、強化したグループウェア製品が登場している。㈱ネオジャパンの発売する「iOffice」はそうしたグループウェアのひとつで、グループ全体の電子メール、スケジュール、データベースや、コミュニケーションツールとしてワークフロー管理や閲覧機能、お弁当の予約などの複合機能を持っている。中でも特異なものとして、情報の入力/閲覧にする情報端末のひとつにPalmを使うことを含んでいることが挙げられる。実際はPalmのほかに、NTTドコモ㈱のiモード携帯電話やシャープ㈱のザウルスなどもそうした情報端末に含まれている。

Palmを含むPDAから社内ネットにアクセスできる「iOffice」



PDAを使うことで社内/社外を問わず、データベースにアクセスできるので、いつでも最新の情報を入手することができ迅速な対応が可能になる。iOffice上でPDAに対応している機能は以下の11種類だ。

スケジュール

個人のスケジュールのほかにグループ全体のスケジュールを閲覧/予約が可能。自分以外のメンバーのスケジュールを把握できるので、外出先でも常に先を読んだスケジュール管理が可能

仕事リスト

グループ全体の仕事の内容および進捗状況の閲覧ができる

WebMail

専用の電子メールソフトウェアを必要とせず、Webブラウザだけで電子メールの送受信が可能となる。別システムの共有アドレス帳との連携により、手元にメールアドレスがなくてもグループ内のアドレス帳を使うことでメールアドレス忘れを未然に防止できる

伝言/所在

席を空けているときの伝言を外出先から確認したり、予定外の移動などでもグループ内に移動先を登録できるので、いつでも確実な顧客対応が可能となる

タイムカード

外出先でも社内の勤務管理であるタイムカードに打刻データを登録できる。また、勤務表も閲覧が可能

設備予約

外出先でも社内の会議室や視聴覚室や共有機材などの設備を予約できる

ワークフロー

各種申請書など業務上の書類の流れを電子化し、かつ外出先でも申請や承認処理状況の確認が可能

閲覧板

グループ内の閲覧板を電子化し、社外にいても確認できる。自分以外のメンバーが閲覧を閲覧したかどうかの確認も可能

共有アドレス

個人の持っている顧客アドレスを登録することで、グループメンバー全員が共有資産として利用できる。社内ネットにアクセスさえできれば手元にアドレスがなくても確認ができ、顧客の急な情報変更にも即座に更新対応が可能となる

プロジェクト管理

外出先にいながら、グループ内の各仕事(プロジェクト)の進捗状況を日数や経費で正確に把握できる

お弁当管理

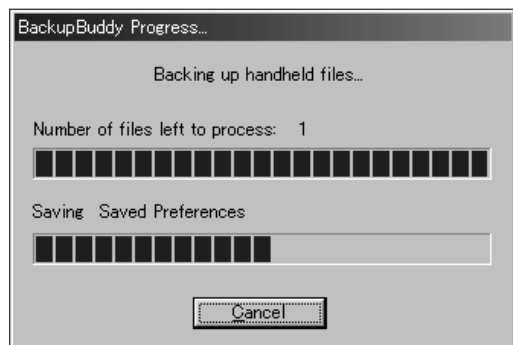
出張先からでも、明日のお昼のお弁当を予約できる

もちろん通常のパソコンでも利用はできるのだが、なにぶん大きくて重い。その割にはバッテリーライフは短く、使用においても精密部品ゆえに神経質にならざるを得ない。もちろん価格面でも、それなりに高価だ。一方、Palmは小型で軽量かつシステムトラブルの少ない端末なので、信頼性が重視されるグループウェアの端末として最適だ。今後、グループウェアとPalmの組み合わせは標準の環境となっていこう。

Palmに合わせてパソコン用のソフトウェアもカスタマイズ
「BackupBuddy」
ウィンドウズ版1.2 / マック版1.01
 作者 BackupBuddy Software
 URL <http://www.backupbuddy.com/>
 種別 シェアウェア (US \$ 25.95)

Palmのバックアップには通常、本体に付属しているPalm Desktopを使用している場合がほとんどかと思われる。ところが、このPalm Desktopもあくまで簡易版であり、万能ではない。常に最悪の場合を想定して大事なデータをバックアップするのが、Palm使いともいえる。

そんなこだわりのPalmユーザーにお勧めのバックアップツールは「BackupBuddy」だ。このソフトウェアはパソコン側にインストールをするもので、一度インストールをしまえば、あとは普段使用するPalm Desktopの操作はそのまま、新たに操作を覚える必要がない簡単設定だ。万が一、Palmのデータを破壊してしまい使い物にならなくなったり、電池がなくなってデータが消失しても、バックアップ直前の状態にHotSync一発で元どおりに復帰ができる。ここまでは標準のPalm Desktopと変わらない。



通常のHotSyncのあとにBackupBuddyのウィンドウが開き、バックアップの進捗状況を表示するようになる。それ以外は普通のHotSyncとなんら変わりはない

BackupBuddyの本来の機能は、詳細設定にある。Palm Desktopにはない細かな設定が可能で、使い勝手に合わせたバックアップ環境が作り出せる。特筆すべきはネットワークを利用したバックアップ/リストア機能で、出張先などの出先でPalmにトラブルが生じた場合でもモデムと通信回線さえ確保できれば、手元にパソコンがなくても復帰が可能だ。ただし、あらかじめPalmのフラッシュメモリーの部分にBackupBuddyのソフトウェアを書き込んでおくことと、米ドライブウェイ社の提供する無料のディスクスペースに会員登録しておく必要がある。会員登録はBackupBuddyのインストールの途中に示されるので、必要があれば登録を行う。会員登録のユーザー名とパスワードはBackupBuddyのネットワーク設定に必要なになるので、メモを取っておくこと。



詳細設定の画面。画面のバックアップに関する各種設定が集約されている。設定次第でHotSyncにかかる時間を大幅に短縮できたり、効率を向上させることも可能だ



ネットワークにバックアップされたHotSyncデータ

万全のバックアップ体制さえあれば、安心してPalmを使い込めるといえる。特にVisorのスプリングボードモジュールにも対応しているので、それらを使用しているユーザーには必須のソフトウェアともいえる。Palm関連のソフトウェアとしては珍しくウィンドウズ版とマック版それぞれが用意されている点はすばらしい。ただ、機能の大半がウィンドウズ版のみという点が残念だ。早くマック版が追いつくことを期待したい。

周辺機器・ アクセサリで 差をつける



Palmは未完成

いろいろな機能を省いてある。各種機能を満載したパソコンと比較してみれば一目瞭然だ。だが、貧弱なPDAのままで終わらないのがPalmでもある。

Palmは最初から機能を拡張できるように考えられており、必要な周辺機器やアクセサリと組み合わせて、不足した部分を補うことが可能だ。Palmウェアを使って自分に合わせて

Palmは携帯用のPDAとして重要な要素の小型/軽量を実現するために、

Palmウェアで「Palmの内面」を磨いたあとは、見た目でも他人に差をつけたい。周辺機器やアクセサリは人目を引きやすいだけに、自己主張ができる部分でもある。自分が服やアクセサリにこだわるように、Palmにも他人と違うこだわりを加えてみよう。それが楽しく使い続けるための秘訣であり、またPalmに対する愛着も一層増していくに違いない。

しもけん 文

カスタマイズするように、ハードウェア面でも同じことができる。

Palm用の周辺機器やアクセサリの種類はPDAの中では異例ともいえるほど多く、種類もジョーク的なものから、本格的な実用品までが実に幅広く世界中のメーカーより発売されている。それらを集めればきっと容易に1冊の本ができるだろう。そういった数多くの中から自分が求める機能を持ったものを選び、自分のPalmと組み合わせることで、今まで不可能だった機能をPalmで使うことができるようになる。Palmは、まるで合体ロボのように周辺機器やアクセサリとの組み合わせで、より強力なPDAに変化し、「完成品」に近づいていくのだ。

キーボード文字入力マシンに変身

Palmにはキーボードが装備されていない。データの閲覧が

主なPalmでは、小型化のためにその必要もないからだ。おかげで電子メールなどちょっと長い文章をグラフィティーで入力しようとすると非常にツライのは、Palmユーザーなら誰でも感じる点だろう。また、グラフィティーの操作に慣れていないユーザーがソフトウェアキーボードから入力するのもなかなか骨の折れる作業だ。

そんなときこそ、キーボードをPalmに接続すればいい。いくつかあるPalm用のキーボードのうち代表的なものを紹介しよう。どちらのキーボードも文字入力を頻繁に行うのであれば、持っていて損はないはず。キーボードさえあれば、Palmも文字入力マシンになれるのだ。

Landware Go Type! Pro

発売元：米ランドウェア社

URL <http://www.landware.com/>

対応機種：それぞれの機種専用に分かれている

価格：1万6800円

大きさ(mm)：縦102×横254×高さ19

重量(g)：350



Palm界で最もメジャーで、かつシンプルな外付けキーボードだ。携帯に便利のようにキーボードにはふたが装備される。そのふたはトランスルーセントでなかなか渋い仕上がりだ。使用するにはふたを開き、中央のコネクターにPalmを差し込むだけ。あとは文字を入力したいPalmウェアを起動させれば、入力準備完了だ

「Go Type! Pro」はさすがPalm用のキーボードだけあって、数々の工夫がなされている。キーボード表面を保護していたふたはキーボードに取り付けたPalmを支え、安定させる合理的な構造だ。裏側にはディスプレイをタップする際にキーボード全体がぐらつかないように収納式のステーが装備されており、ステーを出しきれば少々手荒く使ってもびくともしない



Palmをキーボードに装着した際の使い勝手を向上させるために、キーボード上部にはスタイラスを立てるためのペン立てとファンクションキーが6つ装備されている。ファンクションキーは内蔵アプリケーションの起動 / 切り替えボタンになる



Palmを差し込む中央部のコネクターは、そのままクレードルの役目も果たす



パソコンと接続用ケーブルが標準装備されている



キー上部にクレードル機能とキーボード機能の切り替えスイッチがある

Go Type! Proを机上の常用のキーボードとして使えるように、キーボード自体にクレードルの機能も持たせてある。HotSyncを行う際、キーボードの脱着をする必要がなくなり、使い勝手は非常にいい。そのためのパソコンとの接続用のケーブルも付属している。なお、Go Type! Proのコネクター部にはクレードル機能と、キーボード機能の切り替えスイッチが装備されている。写真にはないが、「WorkPad c3」を含む「Palm」シリーズ用のGo Type! Proには充電用のポートも用意されており、取り付けただままで充電も可能だ。なお、充電のためのACアダプターは付いていないので、Palm Vに付属していたものを使うか、別途購入する必要がある。ちなみにPalm用のGo Type! Proにはこの充電機能は装備されておらず、充電式バッテリーを搭載した「Palm c」の場合にのみバッテリーの残量には注意が必要だ。ただ、Go Type! Pro自体がそれほど電力を消費しないので、あまり神経質になる必要はない



キーボードを使用するためには、専用のドライバーソフトが必要だ。キーボード本体に付属しているので、それをインストールする。万一ソフトウェアをなくしても、米ランドウェア社のWebサイトに公開されているので安心だ。ここでは、ドライバーソフトのバージョンアップなどもあるので、Go Type! Proユーザーはチェックしておくこと。注意することはドライバーソフトの入れ忘れや、Palmの脱着の際には電源を切っておくことくらい。誰にでもお勧めできる外付けキーボードだ

周辺機器・アクセサリで差をつける

Palm Portable Keyboard [Targus Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor]

販売元：米パーム社 [Visor用はターガス・ジャパン(株)]

URL <http://www.palm.com/>
(<http://www.targus.co.jp/>)

対応機種：それぞれの機種専用に分かれている

価格：未定(1万5000円前後を予定・Visor用はオープンブライズ)

大きさ [収納時] (mm)：縦130×横352×高さ9

[縦130×横93×高さ20]

重量(g)：224



外付けキーボードは欲しいけれど、携帯にかさばるのはイヤだという場合に有効なのが、折り畳み式のキーボードだ。驚くべきはそのサイズ。収納時にはPalmより少し大きいだけで、広げるとデスクトップ用に匹敵するフルサイズのキーボードが現れる。折り畳み式を採用しているながら、キーボードそのものは下手なパソコン用のキーボードより優れた構造だ。キーピッチは19mm、キーストロークも3mmと携帯用のキーボードとは思えないサイズだ。キーの可動構造には日本アイ・ビー・エム(株)のノートパソコン「ThinkPad」でも採用されているパンタグラフ式スイッチが使われており、キートップのどの位置からキーを押しても、静かにかつ確実にタイプができる非常に凝った構造を用いているのも特筆に値する

注意点としては、充電式バッテリーを搭載したPalmを使用する場合、キーボードも若干の電力を使用するので、バッテリーの残量に注意することだ。また、キーボードを使用するためには専用のドライバーソフトが必要だ。ソフトはキーボードに付属しているので、それをインストールする。

構造上の問題だが、可動部分が多いので広げた状態での移動や不安定な場所での使用は避けたい。キーボードは広げても完全にはロックされないの、ひざの上などではグニャグニャと折れ曲がってしまい安定して使えない。基本的には安定した机などの場所で使用することが前提となる

現在、このキーボードはPalm シリーズ、 シリーズ用は米国のみで販売で、日本国内では並行輸入品しか存在しない。日本国内での発売時期については現時点では未定だ。Visor用英語版に関してはターガス・ジャパン(株)が販売。日本語版の販売も予定している



Palmの取り付けと使用方法については先に紹介したGo Type! Proと同様にキーボード上部に取り付ける構造で、Palmを支えるステーをキーボードより引っ張り出して傾斜を付けるものだ。Palmをコネクタに取り付けて文字入力をしたいPalmウェアを起動すれば、すぐに使うことができる。当然のことながら、Palmの脱着時には電源を切っておくようにすること

キーボード右面にはアプリケーション切り替え用のキーも用意されており使い勝手はいい。あくまでも携帯用と割り切ったためか、Go Type! ProのようにHot Syncの機能などは装備されていないが、文字入力だけを考えれば十分すぎる仕様だ

モデムでPalmを単体の通信端末に

Palmを携帯情報機器としてさらに使い込むうえで電子メールの送受信や、Web

の閲覧、ビジネスで使うならファクスも使えると便利だ。モデムさえあれば、インターネットへの接続ソフトウェアはPalm自身が内蔵しているので、比較的容易に接続できる。最近是一般電話回線以外に携帯電話へ接続するアダプターなども登場しており、Palmをインターネットへ接続することは一般的な行為に変化しつつある。Palmの世界を広げるために1個は持っているのが通信機器だろう。ただし、製品によっては海外での使用を前提とした輸入品があるので、購入時には注意すること。

Palm Pilot Modem

発売元：米パーム社（旧3com社）

URL <http://www.palm.com/>

対応機種：Palm シリーズ

価格：1万8800円

大きさ(mm)重量(g)：縦58×横80×高さ15

重量(g)：80（乾電池含む）



Palmデバイス用として初期の部類に属するモデムだ。初代「PILOT 1000/5000」のころから現在まで使用することのできる息の長い製品だろう。そのせいもあり、通信速度は14,400bpsと今どきモデムと比較すると遅いが、電子メールの送受信であれば何ら問題はない



写真はPalm cと接続している例だが、モデムの形が合っていないのは初代Palmのボディー形状にフィットするように作られているためだ。機能上には全く問題はない。モデム内には単4乾電池2本が収納されており、Palm側の電源に負担をかけない構造だ。また純正品のため、ドライバーソフトなど特別なものは一切必要とせず、取り付ければ即使用可能となる点もすばらしい

注意点は現行品のPalmで使えるのは「WorkPad 30J」、Palm cで、Palm シリーズ、WorkPad c3、Visorでは使用できない

Handspring Modem

発売元：米HANDSPRING社

URL <http://www.handspring.com/>

対応機種：Visor

価格：未定（輸入品の実勢価格1万9800円）

重量(g)：60（乾電池含む）



Visorのスプリングボード規格に沿った通信速度33,600bpsのアナログモデムモジュール。Visorのスプリングボードスロットに取り付けるだけで、モデム機能が使用可能となる。モデムモジュール内に単4乾電池が収納されており、Visor側の電源の負担にならない。Visorに対してモジュールが大きく、上面に13mm、背面から12mm程度はみ出す

現在、このアナログモデムモジュールは米国でのみの販売で、日本国内では並行輸入品しか存在しない。日本国内での発売時期については、現時点では未定だ。日本国内では純正品より先に「SpringPort56モデムGlobalACCESSモジュール」がザークコムジャパン(株)から発売されている

Palm Modem [WorkPad c3インターナショナルモデム]

販売元：米パーム社（旧3com社）[日本アイ・ビー・エム(株)]

URL <http://www.palm.com/>

(<http://www.ibm.co.jp/>)

対応機種：Palm シリーズ

価格：2万9800円 [3万5800円]

大きさ(mm)：縦125×横84×高さ15

重量(g)：95（乾電池含む）



Palm シリーズおよびWorkPad c3専用のモデムだ。速度は33,600bpsと通常の使用においては何ら問題ない速度だろう。モデムはPalmの背面に取り付ける構造だ。Palm シリーズ専用のため、装着すると完全に一体となる。モデム内には単4乾電池2本が収納されており、Palm側の電源に負担とならない。また純正品のため、ドライバーソフトなど特別なものは一切必要とせず、取り付ければ即使用可能となる

Nokia NM502i

発売元：ノキア・モービル・コミュニケーション(株)

URL <http://www.nokia.co.jp/>

対応機種：赤外線を装備したPalmデバイス

価格：発売地域により変動（関東1万5000円）

大きさ(mm)重量(g)：縦111×横44×高さ18

重量(g)：77（バッテリーを含む）



IrDA規格の赤外線ポートとモデムが内蔵されたiモード対応の携帯電話。赤外線が装備されたPalmデバイスならば周辺機器やケーブルを必要とせず、NM502iをモデムとして使用できる。携帯電話なので通信の最大速度は9,600bpsと遅いが、特別な機材を一切必要としない点はほか周辺機器と大きく異なる。注意しなくてはならないのは、赤外線通信は消費電力が大きいので、充電式のバッテリーを搭載するPalmデバイスでは残量に余裕が必要という点だ

周辺機器・アクセサリで差をつける

ケースでPalmを着飾ろう

そのままカバン
やポケットに入れ
るのもいいが、
Palmは精密電子機

器でもあり、液晶ディスプレイにはガラスも使われている。取り扱いによっては破損してしまうこともあるので、ケースに入れておくことで破損する可能性を減らすことができる。また、ケースは最も目に付く物でもあるので、ただ単に収納するだけのものではなく、人とは違うPalmを演出するためにも凝ってみると面白いだろう。

最近是有名ブランドもPalm用のケースを発売しているの
で、電子機器チックな物を持つのに抵抗のある女性がPalm
を持つきっかけになるかもしれない。

Coach Compact case/Premier Case

販売元：Coach

URL <http://www.coach.com/>

対応機種：Palm全機種（Compact Caseのみ cは非対応）

価格：1万2800円 / 1万9800円



Palm全機種に対応したケースで、一定の人気があるジッパーでふたをするタイプのものだ。中でもPalmと同じ米国ブランドでメジャーな革製品といえ
ばCoachだろう。米国内でも働く女性の持つバッグのひとつはCoachといわ
れるほど。Coachのバッグは質感の高さと深みのある色、そして使いやすさ
に定評がある。そんなCoachのPalm用のケースが、Palm本体にぴったりの
サイズの「Compact Case」と、メモ帳とカードケースも装備された
「Premier Case」だ。どちらも丁寧に仕上げられたカーフスキンで、手触り
も滑らかで非常に柔らかい（写真左「Compact Case」、右「Premier Case」）

Compact Caseは、Palm本体だけ持ち歩きたい場合にお勧めだ。本体の固
定はベルクロテープで行う一般的な構造。Palm cを除く全機種に対応して
いる。Premier Caseは、クレジットカードなどが9枚収納可能なポケットと
メモ帳が装備されている。こちらはPalm cを含む、すべてのPalmを収納で
きる。両種とも黒と茶の2色

どちらもジッパーで閉じる構造のため、見た目では中にPDAが入っている
とは思えないところから男性だけでなく女性にも好評なケースだ。また、一
般のバッグと同様にPalm用のケースも季節ごとに新作展開される。ちょう
ど本誌が発売されるころは秋冬物が出そろったあとなので、きっと新しいケ
ースが登場しているはず

見た目も使い心地もよい
スタイラスを

最も手軽にステ
ップアップできる
部分といえるのが、
スタイラスだ。単

なる見た目だけでなく、Palmと持ち主とが対話する部分で
もあるスタイラスは、本来であればもっと気を使うべきだ
ろう。それだけにスタイラスをステップアップすることは、
Palmにとって数多くの操作を行う部分のステップアップで
もあるのだ。

実際に交換して気が付くのだが、本体に標準のスタイ
ラスは少々軽く、使っていて筆圧のコントロールが難しい。
これをステップアップすることで、単純なタップ操作だけ
でも変わったなと気が付くものだ。ほかにグラフィティ
ーが書きやすくなって認識率が向上したり、思った場所に
ポイントできるなど効果は絶大だ。カスタムスタイラスで
は歴史のある米PDA Panache社の金属製スタイラスなどは、
日本にもファンが多い。

Stylus Refill

販売元：PDA Panache

URL <http://www.pdapanache.com/>

価格：US \$ 5.95

筆記具によって対応できないものがあるので注意



スタイラスの形状は普通の筆記
具を基にしているのはご存じだろ
う。ならば、究極のスタイラスは
筆記具ではないだろうかという考
えから生まれたのが、この製品だ。
構造はいたって簡単で、普段使用
している筆記具の芯の部分を変

え替えるだけのレフィル方式。しかし、効果は絶大だ。写
真は普通の筆記具であった米Cross社のボールペン（上）と、独rottring社のボ
ールペンの芯を交換した物だ。使わなくなってしまったボールペンや、気
に入っているペンにちょっと手を入れるだけで、筆記具の感触をPalmでも再現
できる

使ってみると、さすが元筆記具だけあって使い心地は最高だ。ペン先のコ
ントロールも行いやすいので、グラフィティの力も確実に誤認識が減少
した。これにハマって高価な独Montblanc社のペンを買って、一度も紙に書か
ずにPalm用のスタイラスに変えてしまったユーザーもいるほどだ

アクセサリで Palmを大変身

Palmには予想も
つかないモノも、
周辺機器として組
み込むことができ

る場合もある。そして、Palmだけでは絶対に不可能だった新しい使い道が生まれるのだ。また、アイデア商品も多数あり、思わず笑ってしまうものの、Palmユーザーならば納得してしまうものもある。そういう製品が生まれるのも、Palmならではのだろう。

Kodak PalmPix

販売元：コダック株

URL <http://www.kodak.co.jp/>

対応機種：Palm シリーズならびにWorkPad 30J

価格：1万9800円

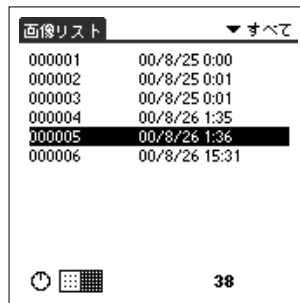
大きさ(mm)：縦84×横56×高さ28

重量(g)：73 (バッテリーを含む)



「Palm Pix」はPalmのシリアルポートに取り付けて、Palmをデジタルカメラとして使うことができる。Palm Pix部にはレンズユニットがあり、Palmの液晶部がプレビューおよび影後の確認用のディスプレイとなる。解像度は24ビットフルカラーで640×480ピクセルと320×240ピクセルの2つのモードが用意されている。撮影した画像はHotSyncによりパソコンへ転送され、JPEGまたはBMPファイルとしてパソコン側で利用可能だ

使用方法はいたって簡単だ。カメラをPalmへ取り付け、PalmPixソフトウェアを起動する。あとは予定表ボタンを一度押すとプレビューモードになり、再び押すと撮影となる。撮影された画像は画像リストに保管されるのでPalm上でも見ることはできる。カラー液晶ディスプレイを搭載したPalm cであれば、カラー表示となる。ただし、プレビュー時はカーモデルの cでもモノクロ表示となる



撮影した写真は通し番号と撮影日/時間が記録される。リストのうちの一つをタップすると内容をプレビューすることができる

【デジタルカメラ】



【Palm Pix】



実際にパソコンに取り込んだ画像 (JPEGファイル)、現代のデジタルカメラと比較するとその差は明らかだ

このPalm PixがPalmと連携の取れる初のデジタルカメラだが、その性能は現在標準的なデジタルカメラより数世代前のもの。640×480の画像をPalm cで撮影して保存までが10秒以上かかる。また、画像のプレビュー時にディスプレイに表示される内容が追従されないなど、使う上で難があるのは事実だ。もしも、Palm Pixを使うのであれば上記の点を覚悟のうえ使ってほしい。ただ、Palmもデジタルカメラになるという新たな使い方を開拓した点は評価できるだろう

Dock Pro

販売元：米Solvepoint社

URL <http://www.solvepoint.com/>

対応機種：Palm ならびにWorkPad c3

価格：3980円

大きさ(mm) / 重量(g)：縦70×横80×高さ15 / 30



Palm やWorkPad c3を使っていて周辺機器に困ったことはないだろうか。同じPalmブランドなのにシリアルポートの形状の違いからすべての周辺機器が別々になってしまい、まったく互換性がないのだ。例えばWorkPad 30Jを所有していて、そこそこの周辺機器も買いそろえたとする。その後、携帯性のよさでWorkPad c3に買い換えた場合、シリアルポート使用する今までの周辺機器はすべて使えなくなってしまうのだ。また、魅力的な周辺機器がPalm シリーズ用に発売されても、それはPalm やWorkPad c3では使うことができず、専用が発売されるまで待つしかなかった

周辺機器・アクセサリで差をつける



しかし「Dock Pro」を使うことでPalmシリーズのシリアルポートを、Palmシリーズのものに変換することができる。写真は、実際にPalm IIIシリーズ用に作られたコダック製のPalm Pixを、Dock Proを経由してPalmに装着したものだ。少々不格好になってしまうが、無理なくPalmシリーズの周辺機器を使用できる。最近では、1人でPalmを2機類所有するユーザーも珍しくないため、周辺機器を共有したい場合はお勧めの一品だ

The Bond

販売元：米Force Technology社

URL <http://www.force.com/>

対応機種：PalmシリーズならびにPalm、WorkPad c3

価格：各3980円



Palmをケースに入れて持ち歩くよりも、もっとアクティブに使いたい場合は首から下げてしまうのが一番だ。街の中で携帯電話やドリンクを首から下げている人を見かけることがあるが、同様にPalmも首から下げてしまうというアクセサリだ。また、こうすれば落下防止にもなって気楽にPalmを持ち歩けるだろう。頻繁にPalmを使う場合は、ケースに入れていたのでは、その出し入れが面倒だ。かといって手に持っているだけでは、ちょっとしたことで落として画面を割ってしまう可能性もある。それにPalmを手に持っているとなんか両手が使えないなど、ありがちな問題を一気に解決してくれる



The Bondは、ただPalmを首からぶら下げるだけでなく、首にストラップをかけたままでもPalmを使えるように工夫されている。使いたいときはぶら下がっているPalmを持って、すぐに使える方向に向き、手を放せばPalmは床に落下せず首にぶら下がることとなる。シンプルだが、実用性は非常に高いアクセサリだ

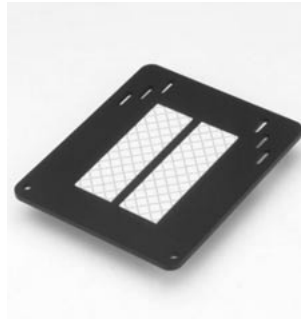
DiskPad

販売元：(株)バード電子

URL <http://www.birdcom.co.jp/>

対応機種：Palmシリーズ、WorkPad 30J

価格：1980円



WorkPad 30JやPalmシリーズのクレードルの脱着で、クレードルが倒れてしまった経験があるユーザーは多いと思う。原因はPalmシリーズのクレードルの軽さにある。Palmはクレードルの内部をアルミ合金にすることで改良されている。残念ながらPalmのクレードルをPalmシリーズで使うことはできないので、クレードルの脱着には必ず手を添える必要がある。ちなみにPalmのクレードルは170g、Palmのクレードルは280gだ

ノートパソコンを冷却する台のInterCoolerという製品で有名な(株)バード電子は、そういう問題を解決するために得意なウェイト「DiskPad」を発売した。これはスチール製のプレートでクレードルの下に両面テープで貼り付けて固定するものだ。これにより170gだった重量は370gとなり、Palmの脱着ぐらいいはビクともしなくなるのだ。しかも、ウェイトの裏には滑り止めのゴムが貼られており、滑りにくくなっている



クレードルがぐらつかなくなったため、Palmの脱着が片手でスイスイ行えるので快適だ。製品はPalmシリーズもしくはWorkPad 30Jとあるが、Visorのクレードルにも効果はあった。また、Palmでもまだまだ軽いという場合は、DiskPadでさらに重くできる。クレードルで困っているならお勧めの一品だ



達人 座談会

<出席者>

藤田 実 氏

難波 茂広 氏

関根 元和 氏

司会：齊藤 孝明



左から齊藤孝明（司会） 難波茂広氏、
関根元和氏、藤田実氏（取材協力：五反田「わに家」）

達人に聞く Palm使いになし術 「カスタマイズでPalmを自分流に」

Palmの魅力は、ハードもソフトも“シンプル”で“オープン”な点だ。達人たちはそれぞれの使い方に合わせ、カスタマイズして楽しんでいるという。そこで、3人の達人にそれぞれの経験を踏まえた「Palm初心者向けのアドバイス」を伺ってみた。

齊藤：本日は、Palmの達人と呼ばれる御三方にお集まりいただきました。まずは、簡単な自己紹介からお願いします。

藤田：@niftyで「Palmユーザーズフォーラム」(FPALM)のマネージャーをしています。

関根：Palmの世界では、本名よりも「CHEEBOW」^{チューボウ}で通っています。ソフト開発が主ですが、代表作としては「PiloWeb」という巡回ソフトや「PiloDoc」などPalmと連携するもの、それと英語版のアドレス帳に置き換える「AddressJ」などがあります。

難波：仕事はコンピューター関係のフリーライターです。マック系の雑誌が多く、そのほかにインターネット上のコンテンツとして「秋葉マップ」を作っています。

齊藤：司会をさせていただく私は、パソコン歴こそ20年と長いものの、Palmに関しては初心者です。

私がPalmを選んだ理由

齊藤：Palmを使い始めたきっかけは？

藤田：私の場合、システム手帳の延長ですね。シャープ睨が「電子手帳」と呼ばれる製品を世に送り出したころからPDAと名の

付くものはひと通り使ってみました。初めてPalmを見たときにレスポンスの速さとサイズに感激しました。ただ、当初は日本語を入力する手段がなく日本人相手のビジネス社会では使えなかったのですが、(J-OSの登場で)日本語環境が整ったのを機に本格的に乗り換えました。今では「Palmひと筋」です。それと日本語が使えないときから面白いなと感じていたのは「Hack」というシステムです。当時、自宅でマック、会社ではウィンドウズというパソコン環境だったのですが、(OSにバッチを当てて、メニューや基本動作を改造する)マックの機能拡張と同等のものができるという点に魅力を感じました。黎明期のPDPAではPalmだけでしたから(注：当初のJ-OSも「Hack Master」で実現している)

難波：私は'95年からインターネット上で「こさびーの秋葉マップWeb」というサイトをやっていたのですが、仲間が「Pilot版」を作り、オフ会に持ち込んだのを見て面白いと思ったのがきっかけです。それと「秋葉原に出かけたときにメモを取りたい」「紙に書いたものをあとで書き直すより、その場で入力した情報を整理するほうが便利だ

ろう」と考えたことです。マックを使っていたので「Newton」(米アップルコンピューター)という選択もあったとも思うのですが、大きさと遅さに堪えられないので、Palmを選びました。

関根：僕の場合は、PDAとしての興味はありませんでした。ところが、ある人に「Pilot」を紹介されて「自分でソフトを作れるし、そのための環境もオープンになっている」ことを知り、「こんな小さな機械で自分の作ったプログラムを動かせたら楽しいだろうな」と考えたのがPalmの世界に入るきっかけとなりました。(PIMとして)使いものにならなかったとしても、ゲームを自作すれば楽しめるだろうと考えたんです。

齊藤：「ザウルス」やほかの電子手帳で「ソフト開発」するのは大変なんです。

関根：そうです。しかし、実際に買って使い始めてみたら、PIMとして十分に使えたという感じなんです。

データ入力はパソコンとグラフィティーで

齊藤：Palmを入手したら、いちばん最初に何をしたらいいでしょう？

藤田：電子手帳を使い始めたころから考えていたのは「この中にデータをすべて押し込もうと最初から根を詰めてやると挫折する」ということです。例えば、仕事で「

さんに連絡を取らなければならない」というときに、その1件だけを入力する程度でいい。それで次からは便利に使える。これを1~2カ月続けていれば、必要不可欠な道具になります。そう感じた瞬間から自分のモノになると、私は言い続けています。それといちばん最初にやっておきたいのは、自分の情報を入れることです。周囲にPalmデバイスを所有する人を見つけたら、(赤外線)ビームの交換をやってみるといいですね。自分で入力するのではなく、相手の入力したものだとな入力ミスもなく、かつ細かい情報も得られるしラクですよ。

Palm自体で入力するならばグラフィティ

ーを使うことになりましたが、最初のうちは速く入力することはできないと思います。また、入力する方法がわからなくなったときにいちいち調べては時間もかかり、ハードルも高くなりがちです。だから、最初のうちはPalmで入力することは考えずに、パソコンに任せてしまうほうがいい。

齊藤：ソフトキーボードを使うという方法もありますね。

関根：グラフィティーを覚えるのが難しいし、さまざまなキーボードが市販されているということで「どんなキーボードがいいか？」と尋ねられることも多いですね。とはいえPalmの場合、キーボードはシリアルポートを使うので、タイムラグも起きます。また、ドライバー次第ですが、完璧に自分の思い通りにならないキーボードもあります。状況によってはキーボードより速く入力できますから、まずはグラフィティーに挑戦してほしいですね。グラフィティーは慣れるともすごく速いですよ。いざというときに単体でも入力できる魅力もあります。グラフィティーは避けて通れない入力方法だと実感しています。ただ、僕も記号はグラフィティーでは入力しないというか、いまだに覚えていません。よく使う記号以外はソフトキーボードで、と割り切るほうがいいと思います。

難波：グラフィティーを覚えるのは、キーボードより断然ラク。探す必要はないし、アルファベットの文字の形は知っている。

齊藤：キーボードをあまり使ったことがないという人なら、グラフィティーに慣れる方が早いでしょうね。

置き換えソフトで使いやすさを向上

齊藤：標準アプリケーションソフトですが、「Visor^{バイザー}」では予定表の置き換えソフトとして「予定表+」が標準搭載されていますよね。私は最初からこれを活用していますが、他機種種のユーザーは使えません。ほかに使いやすいものはあるのですか？

関根：ほかのPDAでは「置き換えソフト」と言いながら、新規に作られたものが多いのですが、Palmの場合、標準ソフトのソースコードやプログラムが公開されている。しかも、それに手を加えて発表することに制約が設けられていないオープンソースなので、誰でも改良することができるし、置き換えソフトとして公表できる土壌があるんです。

難波：標準ソフトがシンプルだけに、人それぞれに改良したほうがいいと思える個所があって、開発者自身が感じたところから手を付けるから種類が増えるんです。

関根：しかも、同じ標準ソフトをベースにしているから、データ互換性がある。

難波：ちょっと試してみたいときも、データ互換性があると便利ですよね。

齊藤：なるほど。では、具体的なお勧めソフトを紹介していただけませんか？

関根：置き換えソフトでも必ずしも高機能のものがベストだとは思いません。自分が



'96年に初代「Palm Pilot」が発売された時代以来、現在14台を所有する藤田氏

求めるレベルのものがあれば、それでいいと思います。お勧めというのは難しいのですが、定番と言われるものはありますね。

齊藤：では、予定表から伺います。皆さんは何を使っているんですか？

藤田：「DateBk3」です。

関根：「ActionNames」と「DateBk3」です。

齊藤：「DateBk3」というと、Visorに付いている「予定表+」の原型ですね。



オンラインソフト作者として、数多くのオンラインソフトを発表する関根氏

難波：私は「ActionNames」標準ソフトでは、To Doとスケジュールを一緒に表示できないため、「DateBK3」をレジストして使っていた時期もありました。しかし、便利なんだけど複雑すぎる感もあって、いまひとつ気に入らなかった。たまたまどこかのオフで「ActionNames」の割引チケットをもらいまして、それで試してみたら使いやすいかったんです。おそらくスケジュールとTo Doの配分の違いだと思うんです。私の場合、スケジュールはそれほど多くないけど、To Doは多用する。それで「ActionNames」の画面表示が直感的に気に入ったという具合です。

関根：ウィンドウズの世界だと好みより多機能なほうに行っちゃうんですけど、逆に多機能じゃないほうがいいということもあるんです。

齊藤：To Doはどうなりますか？

関根：To Doは独立しないで、予定表と連携して使うほうが多いでしょうね。僕の場合は、To Doボタンを押すと「What's Up」というソフトが起動し、To Doと予定表が見えるようにしていますが、To Do自体は標準のものです。

藤田：私も標準のものです。

齊藤：「アドレス帳」の定番は？

関根：僕のPalmは英語版なので「AddressJ」を作っています。住所の並び順を日本向けに直したものです。といってもアドレス帳のソースに数10行手を加えただけです。

難波：私は日本語OSの「WorkPad 30J」のころにかなりデータを入力していて、英語OSの「TRGpro」に変わったので、読みが

なが入る「AdrJ」を使っています。

関根：あれも、もともとは「AddressJ」という名前だったんですが、私のほうが先に公開していたので変わったんです。

齊藤：なるほど。では改めて具体的なソフトについて教えてください。予定表でお勧めはありますか？

難波：日本語OSのアドレス帳ならそのままでもいいんじゃないかな。英語版ユーザーは必要に迫られて変える人が多いですけど。

齊藤：メモ帳はいかがですか？

藤田：私は普通のメモ帳。

難波：私もこれまで標準のものだったのですが、今年の春から「Snap Memo」に変えました。新しいものや書き直したファイルがいちばん上に表示されます。

関根：こうした点がPalmの面白いところ。使ったものがリストの上に出てくるという改良だけで、ひとつのアプリケーションにして、それを使いたい人が出てくる。パソコンの世界と全く違うんです。ちょっと便利にただでいい。かえってパソコンと同じ感覚で作ると複雑になるだけ。

藤田：標準ソフトの置き換えといっても、基本は4つだけですからね。標準ソフトは最大公約数に合わせていますよね。いいところだけ残して、あとは省略しているんです。

関根：私は不満を感じれば自分で作れるし……。「AddressJ」も公開するほどではないと思っていたんですけど、同じような考

え方の人がいることを知り、公開しただけ。

齊藤：結論として、標準ソフトだけでもとりあえず不自由なく使えるけれど、使い込んでくれば不満も出てくるし、それに応える置き換えソフトも多いということですね。

データの互換もあるから、不満を感じたときに考えればいいということで、私は当然標準ソフトで試してみようと思います。

周辺機器ではバッテリー種別に注意

齊藤：続いて、キーボードの話に進みたいと思います。キーボードをつないだときに

タイムラグがあるというお話でしたが……

関根：レスポンスが落ちるのはポーティングするせいなんです。だから、どの機種でも同じだと思いますよ。

難波：私は標準のドライバーではなく、ポテロを作っているところの 版の評価をしているんですが、これは速いんですよ。入力が……。

藤田：それ、欲しいなあ(笑)。

齊藤：そういう話は実際に触れた人でないと出てきませんよね。私は、取材現場でのメモ書きに使いたいんです。手書きよりもタイピングのほうが速く入力できるし、悪筆でも関係ないですから(笑)。今はノートパソコンを愛用しているのですが、バッテリー駆動でパワーセーブモードを使うとハードディスクやCPUが頻繁に停止するので、レスポンスは相当に悪くなります。Palmの入力速度が妥協できるレベルなら使ってみたいですね。

関根：電池の消費も激しいですよ。シリアルポートは通信ですから。それから、キーボードで入力できるといっても、日本語処理の問題もありますね。

藤田：標準ソフトでは単文節変換しかできませんから、キーボード入力速度が改善できても、辛いかもしれませぬ。

齊藤：でも、ソニー(株)の「CLIE」だと



難波氏は、ソニー(株)のCLIE(カラー版)の先行予約を初日に済ませたという

「ATOK/がありますよね。単品販売に期待しているところなんです。

関根：標準のメモ帳は4キロバイトしか入らないですよ。

難波：私は1~2行に収まる程度の個条書き程度なら十分使えると思います。

齊藤：割り切れば使いそうですね。ところで、キーボードが電力を必要とするという話ですが、そうすると本体の選び方でも考える必要がありますね。

藤田：キーボードを使うなら目線が離れま
すから、バックライトの光るPalm C系の機種が見やすいと思いますよ。ただ、屋外では真っ黒に見えてしまいますが。

難波：「Palm C」は、通信などヘビーな用途では2日しか持たないという人も。また、「CLIE」の通信ユニットには内部電池がない
そうなので、ちょっと気になりますね。

関根：毎日充電できる環境なら、あまり心配
いらなそうですよ。PiloWebを作ったことが、毎日HotSyncする習慣をつけさせたという面
でも貢献したかなと思っているぐらいです。

齊藤：前回、日本アイ・ピー・エム株の取
材でも「バッテリーに不安を持つユーザーは無条件に電池（WorkPad 30J）を選ぶ」
という話がありましたが、毎日充電できる人は心配いらなということですね。通信
とキーボードを多用する人で毎日充電できない人は電池タイプがいいと……。

難波：出先で切れても、買えるから便利で
すよね。使い方にもよりますが、私の場合は1カ月以上持っています。

関根：ノートパソコンなら機能の違いで選
ぶのが普通ですけど、Palmの場合は若干のハードの違いしかない。つい、そこにはばか
り注目するものの、バッテリーの種類や液晶のよし悪しなど、自分自身のスタイリン
グで選択肢が変わってくると思います。

アクセサリで一個性的な Palmにしよう

齊藤：次に、これだけは揃えたほうがいい

というアクセサリを紹介してください。

例えば、スタイラスなどはどうでしょう？

関根：僕はいろいろ使ってみました。「ペン
トピア」がいいですね。

関根：書いたり操作するスタイラスは結構、
重要なんです。Palm系だと「Dual Action Stylus」を1本使いつぶして、「すた
ぼQ」も使いました。ペントピアはギミックがすごい。ペン先にスプリングが入って
いて硬さを変えられるし、リセットピンとボールペン付き。ペンの頭には硬質ゴムが
付いているので、タップがズレません。

齊藤：標準で付いているスタイラスはどう
ですか？

関根：機種によって太さとかいろいろ違
いますね。私も結局、ペントピアに落ち着
いています。リセットピンが金属なので、安
心感があります。Palmはソフトはもちろん、
周辺機器までいなくてもアクセサリ、
例えばスタイラスとかケースなど、わず
かな金額でも楽しむことができるんですよ。

難波：グッチとかヴィトンとか……。

藤田：それって、ちょっとした値段じゃな
いけど。Visorが買えちゃう(笑)。

関根：最近Palmが欲しいという人がいて、
「なんで欲しいの？」って聞いたら「グッチ
のケースがある」からだって。持ち物として
考えると、ザウルスやCEでもその人にとっ
てはカッコ悪いからダメなんです。グッチの
ケースなら持てるという面白さはPalmだけ
でしょうね。そういう意味では初心者の人
も細かいところにこだわると面白いですよ
ね。

藤田：ヴィトンとグッチのケースが出た
という話を聞いたとき「Palmは米国では普及
したんだ」と実感しました。ターガスのキ
ーボードケースが出たと聞いても、きっと
驚かないでしょうね。

難波：ブランド物だとコーチがいちばん
最初でしたね。そのころから「やるなあ」
と思ってました。

藤田：その面で「CLIE」のつらいところ
は、まだケースが出ていないところですね。

齊藤：そういう動機付けではまだ買えない

というわけですね。

関根：ポケットやバッグに入れて持ち歩
く露出する機会の多いモノって、マニアの
人たち以外の普通の人々にとってファッ
ションの一部になっていくんでしょうね。

齊藤：Visorや「Palm Computing m100」
のカラー筐体も同じ流れででしょうね。

難波：私はカラー筐体って疑問なんです
よ。みんなカバーを付けられないでしょ
うか。付けてしまえば中はわからないし……。

齊藤：ケースって一長一短。ないと不安
だし、あると邪魔なんですよ。



Palm初心者の司会、齊藤の愛用PalmデバイスはVisor

関根：ケースだけでも多様で、それぞれ工
夫されているPalmってすごいですよね。で
も、いろいろなものが氾濫しすぎていて、
そのモノに対しての評価はできても、自分
自身にとってどれがいいかという判断がし
にくい状況ですね。

藤田：メーカーもやってるけど、ユーザー
自身が工夫している部分もあるから、パー
ソナライズのパターンも無数にあり、一概
に言えなくなってますね。

齊藤：初心者は、ますます迷いそうですね。

関根：オフに参加して、実物に触ってみ
るのがいちばんですね。

藤田：@niftyのFPALMでもオフは多いですよ。

齊藤：結論は「まず、触ってみる」、それ
から「質問してみる」。今日は随分参考に
なりました。次回お会いするときは、達人
の末端に加えてください(笑)。



藤田 実

@nifty 「Palmユーザーズフォーラム」
(FPALM)代表

Palm歴

'96年に初代「Palm Pilot」が発売された時代に「Pilot 5000」を使い始めたのを皮切りに、歴代のPalmデバイスを使う達人。

愛用Palmデバイス

PIMを中心に使うメイン機として「Palm (英語版)」を1年半ほど使い続けているが、通信には「TRGpro(英語版)」を、そのほかの試験用には「Visor(日本語版)」と「Palm c(日本語版)」を使い分ける。現在所有するPalmデバイスは14台。

Palmの使い方

スケジュール管理 / アドレス管理 / 交通費メモ / 思いつきアイデアのメモなどのPIMとしての用途に加え、パソコン上のテキスト情報 (Webニュース、Web検索サービス、メールで届いた情報など) を取り込み、閲覧することに使う。

また「PocketBBS」を使い、フォーラムアクセスなどを気軽に行っている。しかし、EメールやWebアクセス、テキストエディターでの文章作成などはパソコンで行うのがメインで、Palmはあくまでも「外出先で使用できるサバ環境」と割り切っている。



関根 元和

ウィンドウズ系プログラマー /
オンラインソフト作者

Palm歴

2年半ほど前に知人にPilotを見せられたのをきっかけに「Pilot Pro」を購入。以後、数多くのオンラインソフトを発表する達人。

愛用Palmデバイス

「Pilot Pro」, 「Palm」2台、「WorkPad(30J)」2台、「Palm」, 「Visor(英語版)」, 「Palm c」などを所有、メイン機の「Palm」は落としたため、現在のものが2代目。

Palmの使い方

スケジュール管理 / アドレス管理などのPIMソフトは、Palmなしの生活が考えられないほどに活用。標準ソフトに不満点があると、置き換えソフトを自作する。

Palm初心者へのアドバイス

「パソコンと同じような使い方をしようという考え方を捨てて、データビューワーとして割り切って使うことをお勧めします。手軽にデータを持ち歩けるのが、Palmの魅力だと思います」



難波 茂広

テクニカルライター /
Webコンテンツクリエイター

Palm歴

2年ほど前に値下がりした「Pilot Pro」を購入。「WorkPad(30J)」を経て「TRGpro(英語版)」にいたる。CLIE(カラー版)の先行予約を初日に済ませた。到着待ち。

愛用Palmデバイス

過去に購入したPalmは友人をPalm界に引き込むために嫁がせ、現在所有するのは「TRGpro(英語版)」の1台だけ。

Palmの使い方

自宅では常にクレードルの上に鎮座、出かけ

るときは肌身離さず携帯する。基本的に自宅の「パワーマックG3(ブルー&ホワイト)」とデータ連携させている。ただし「メモ」だけは持ち歩いているノートパソコンの「Let'sNote A1ER」とも赤外線経由で同期させ、出先でメモした取材ノートや製品、価格などの情報をいち早くノートパソコンに受け渡し、メールやWebアップロード用のデータとして活用する。メモ以外では、メールの送受信や簡単なWeb閲覧、スケジュール記録と支出管理に利用。メールはすべて携帯電話に転送しているが、使用場所により、パソコンとPalmを使い分けて返事を書くという。携

Palm 初心者へのアドバイス

「購入した日から使いこなそうとすると、息切れします。すべてのデータを一気に詰め込もうとせず、見るデータが発生したときや新しいスケジュールが決まったとき、持ち歩きたいテキストデータや画像データを作ったときなどに転送設定。Palmユーザーに出会ったら、ビームで名刺交換。しばらくすると必要なデータが入ったPalmに育ちます。それと、お気に入りのゲームを持つこと、またアクセサリーで自分自身のオリジナルPalmにするのも愛着が湧く秘訣。仕事の道具であり、おもちゃでありという発想が使い勝手を向上させます」

普段の使用環境

予定表	DateBK3
住所録	標準
To Do	標準
メモ帳	標準
その他	HautMedoc、TinyViewer、PocketBBS、TrainTime、駅すばあとPDA、秋葉マップ、PalmScape、POPJ
ユーティリティ	HackMaster、
APP	DA Launcher
PC側ソフト	HiMakeDoc、Viewer



全14台中、メイン機としているのは「Palm (英語版)」で、PIMを中心に利用



Palmファンの間で有名な米ハインドスプリング社のロブ・灰谷氏サイン入りクリアモデル「Visor」は自慢の一品



目的によって使い分ける藤田氏。通信には、CFスロットを利用して「TRGpro(英語版)」を使用

普段の使用環境

予定表	DateBK3
住所録	AddressJ
To Do	標準
メモ帳	標準
その他	Thumbmail、Train、TrainTime、JFile、WhatzUp、FireVier、HoutMeDoc、J-DOCReader、POPJ、DB Explorer、RsrcEdit、LINER、Shisensho、KoiKoi、Mulg、TapStepMusic



残念ながら、初代の「Palm」は落してしまったため、今は2代目



「手軽にデータを持ち歩けるのが、Palmの魅力」と語る関根氏の日常Palmセット

帯でメールの到着を確認後、必要に応じてCFカードPHS「P-in Comp@ct」を挿した「TRGpro」でダウンロード、返信という利用方法は手放せないという。

Palm 初心者へのアドバイス

メールを送受信に使えると、Palmが手放せなくなります。そうすれば、常に携帯する大義名分が生まれるし、いつも持っていれば自然とほかの機能も順に覚えらるようになりますよ。

普段の使用環境

予定表	ActionNames
住所録	標準
To Do	ActionNames
メモ帳	Snap! Memo
その他	To Doボタンに支出管理ソフト「PEM-J」を割り当てている



携帯と愛用の「TRGpro」を接続



外出時はいつも一緒の「TRGpro (英語版)」CF Type IIのP-in Comp@ctを利用してメールの送受信を行う

メールに返信を出す際には、ポータブルキーボードが活躍する





本格的なPalm用日本語対応 手書き認識ソフトウェア初登場！ 「NEOS GOGOPen for Palm」

米国生れのPalmデバイスに装備されている文字入力方法は、ひと筆書きアルファベットともいえる「Graffiti」が用いられている。Graffitiも慣れてしまえば快適にアルファベットと数字を素早く入力することができるのだが、日本語入力のためにはローマ字変換を行わねばならず、直接、日本語を手書きで入れたいと思うこともあるだろう。ネオスコポーレーション(株)からリリースされた「NEOS GOGOPen for Palm」はその手書き漢字入力を可能にしてくれる日本語入力アシストツールだ。



このソフトウェアは、本誌付録CD-ROMに収録されています。

清水 隆夫 文

手書き入力による漢字認識

国内のPDAでは、多くのファンを持っているシャープ(株)製の「ザウルス」は、電子手帳シリーズからの伝統的ともいえる手書き入力による漢字、かな、アルファベット、数字の文字認識を標準でサポートしている。この手書きによる文字入力のサポートが、キーボードで文字入力アレルギーを持っているユーザーはもちろん、紙のシステム手帳と同じ感覚で文字を入力できるため、多くのザウルスファンを獲得しているともいえるだろう。

Palmデバイスでは、同じ手書き文字認識でもGraffitiによる独自のアルファベット、数字の入力をサポートしている。このグラフィティで認識できる文字は本来のアルファベットではなく、ひと筆で書けるモディファイされた文字に限られている。これは、認識精度の向上とソフトウェアの負担を減らすという目的から採用されている入力方法であり、Palmデバイスでは標準仕様のため、Palmユーザーはグラフィティの習得を避けて通ることができない。

この入力方法は、Palm OS開発時に反面教師として研究された米アップル社の「Newton」が大きく影響しているといわれる。Newtonはザウルス以上に自然な手書き文字認識にこだわり、筆記体文字や活字体文字のアルファベット入力を目指したため、製品化が大きく遅れるなどの代償を払った。このことから、Palm OSではグラ

フィティ入力による確実な入力方法を搭載したという歴史がある(グラフィティはNewtonでも利用できた)。

確かに、手書き文字認識は非常に高度な認識技術が必要であり、ましてや簡単なアルファベットではなく漢字、かな、カタカナ、アルファベットと多彩な文字入力を必要とする日本語では、その技術的難易度はさらに高くなる。ザウルスに搭載されている手書き入力も、新しい機種になるほど認識率が高まっており、過去には認識できなかった文字が、新機種では可能になっている場合もある。

この複雑で高度な手書き文字入力「Palmデバイスで動作すれば」と思ったユーザーも多いのではないと思う。また、ザウルスや「ウィンドウズCE」から、Palmデバイスへの移行を考えたとき、やはりネックとなるのがグラフィティ入力だとすれば、もうその心配は不要だ。Palmデバイスでも、ザウルス並みの手書き文字入力が可能となるアプリケーションがリリースされたのだ。

GOGOPenでスラスラ入力

「GOGOPen for Palm」は、スキャナー機器でおなじみのネオスコポーレーション(以下、NEOS)からリリースされた、本格的な日本語Palm OS用手書き文字認識ソフトだ。CD-ROMによるパッケージ製品版に加えて、NEOSをはじめとする複数のサイトからダウンロードして試用し、気に入

たら代金を支払うオンライン版の2種類があるが、どちらも機能は同じだ。試用期間は30日となっているので、思う存分試用してみることが可能である。また、本誌の付録CD-ROMにも試用版が収録されているので、ぜひ試してほしい。

GOGOPen for Palmが動作可能なのは、Palm OSの日本語版3.1および3.5となっており、残念ながら英語版Palm OSを「J-OS」などで日本語化した環境では動作が保証されていない。今回は、筆者の手元にある「WorkPad 30J」と「Palm c」で試用してみたが、ともに問題なく動作した。では、実際に付録CD-ROMに収録されているGOGOPen for Palmを試してみよう。

付録CD-ROMに収録されているウィンドウズ版の「GPN101.ZIP」を解凍すると、「GPN101」というフォルダーが作成され、その中に「MANUAL」フォルダーと、「NEOS GOGOPen.prc」、「OCR3Lite.PDB」、「OCR3Full.PDB」のファイルがある(図1)。

手書き認識用の辞書ファイルがOCR3Lite.PDBとOCR3Full.PDBだが、インストール先のPalm OS環境のメモリーサイズによって、Lite版かFull版を選択して使用することができる。100KBほど小さいLite版辞書では、JIS第一、第二水準漢字の認識だ

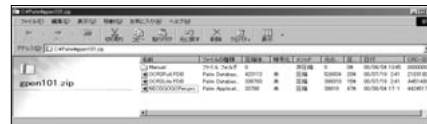


図1 「GPN101.ZIP」からMANUALフォルダーと、「NEOS GOGOPen.prc」、「OCR3Lite.PDB」、「OCR3Full.PDB」の3つのファイルが得られる



図2 Palmデバイスへインストールすると、GOGO Penのアイコンが表示される(囲み)

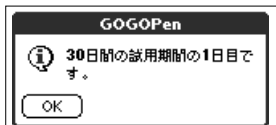


図3 体験版の試用期間は30日間だ



図4 メイン画面からは、テストモードが実際に使用するかを選ぶ

けが可能となるが、Full版ではすべての日本語認識が可能だ。

どちらかの辞書ファイルとNEOS GOGO Pen.prcをPalmデバイスへインストールすると、ホームメニューにペンのアイコンを持ったGOGOPenが表示される[図2] アイコンをタップすると、試用期間であるとの表示があるので、「OK」をタップ[図3] すると、GOGOPenのメイン画面が現れるので、「TEST」ボタンをタップする[図4]

表示された左下の正方形のボックス部分へスタイラスで漢字やかなを入力すると、認識された漢字やかな文字が上部に小気味よく表示される。認識に要する時間は、自分の手書き速度に合わせて設定可能だ。デフォルトでは5だが、あまり短くすると画数の多い漢字の場合、書いている途中で認識されてしまうので、注意する必要がある[図5、6]

メモ帳などのほかのPalmアプリケーションでGOGOPenを使用するには、メイン画面の「GOGOPenを有効にする」をチェックしておけば、文字入力モードで自動的にGOGOPenが表示されるようになる[図7] また、ユーザー登録する場合には、この画面でメニューボタンをタップすること

でユーザー登録画面が表示される[図8] 実際、文字認識の速度や精度は大変高く、筆者の乱筆文字も驚くほど正確に認識してくれた。特に漢字の認識においては、第二水準漢字や人名漢字など、日本語Palm OSでは文字コード表を使う以外は入力することができない漢字までも、正確に認識し

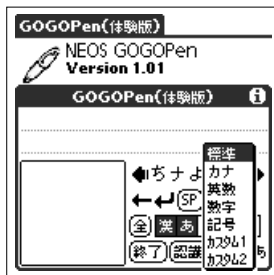


図5 手書き認識エリアは、左下の正方形のボックス内となる



図6 手書き認識の時間設定は、書く速度によって調節する



図7 「GOGOPenを有効にする」チェックを入れれば使用開始だ

て表示してくれる。また、GOGOPenが起動している状態であっても、グラフィティ入力や外部へ接続されたキーボードからの入力も可能となっている。必要に応じて手書き文字認識を併用できるのは、大変便利だ[図9、10]

惜しむらくは、学習機能が装備されていないため、クセのある文字や筆順の乱れた

文字認識を学習できないことだろう。これは、今後のバージョンアップでぜひ実現してほしい機能だ。また、手書きされた文字を表示する関係から、表示部分での認識エリアという仕様だが、アプリケーションの場合によっては、表示エリアをGOGOPenで隠したくないこともある。こんな場合には、グラフィティ入力エリアでも手書き文字認識が可能であれば、さらに便利なのではないかと思う。

これは、Palm OSの国際化に伴って、グラフィティだけではなく、入力アプリケーションの多様化を考えた場合、Palm OS自体の拡張を視野に入れるべきなのだろうが、グラフィティ自体も書いた文字が表示されたほうが便利な場合もある。表示LCDの拡大とともに、次期Palm OSでは

ひ実現してほしい機能だ。そうなれば、GOGOPenを標準の日本語Palm OS用入力ツールとしてしまうことも可能で、よりPalm OS自体が使いやすくなり、ユーザーも増えるだろう。

いずれにしても、GOGOPenそのものは現時点で入手可能な日本語手書き入力ソフトとしては高機能で問題なく、万人向けと評価できる。グラフィティ入りに躊躇してPalmデバイスの購入を決断できない方には、背中を押してくれるソフトだといえる。



図8 ユーザー登録はPalm OSマシントに行う必要がある



図9 手書き認識精度や速度は問題なく満足できるだろう



図10 スタイラスで手書き認識エリアに文字を書いたところ

問い合わせ先
 ネオスコポレーション様
<http://www.neoscorp.co.jp/>
 03-5342-5040(代表)
 価格 オンライン版: 4800円(税込み)
 パッケージ版: 7300円(税別)

続々登場するVisor用 スプリングボードモジュール

ほかのPalmデバイスとVisorの最大の違いは、Visorオリジナル仕様のスプリングボードスロットと呼ばれるインターフェースが搭載されている点だ。今、このスロットに対応した拡張機器であるスプリングボードモジュールが脚光を浴び、また興味をそそられる製品の発表が相次いでいる。スプリングボードの魅力とは、いったい何であろうか？

藤田 実

「Visor」の持つ大きな魅力のひとつが、ハード・ソフト両面で大きな機能拡張が期待できるスプリングボードの存在だ。大変使い勝手のいいプラグアンドプレー機能を実現しており、いつでもVisorにスプリングボードモジュールと呼ばれるカードリッジを挿入することで簡単にその拡張機能を利用することができる。もちろん、あらかじめドライバソフトをインストールしなくてはならないというような煩わしさもない。また、メモリーへのデータの格納中といったような場合を除き、いつでもモジュールを取り外すだけで、安全にその機能そのものを削除することも可能だ。挿入スロットは裏面に大

きく開いており、カード型モジュールから電池やそのほかのメカを内蔵した大型のモジュールまで製造することができる。

開発のための情報もオープンになっており、誰でもVisor用スプリングボードモジュールを開発することができるのも、ハンドスプリング社のすばらしいアプローチだ。すでに拡張メモリー、ゲーム、デジタルカメラなどのモジュールはもとより、通信アダプター、MP3プレーヤー、GPSなどの機能を追加できるモジュールが続々と登場したり発表されている。ここでは日本国内で発売されているか、発売間近となっているモジュールを集めてみた。

真のプラグアンドプレーを実現するスプリングボード

張メモリー、ゲーム、デジタルカメラなどのモジュールはもとよ

り、通信アダプター、MP3プレーヤー、GPSなどの機能

を追加できるモジュールが続々と登場したり発表されている。ここでは日本国内で発売されているか、発売間近となっているモジュールを集めてみた。

いつでもどこでも簡単フルバックアップ バックアップモジュール

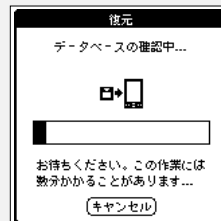


「バックアップ・モジュール」があれば、いつでもどこでも簡単バックアップ

製品名：バックアップ・モジュール
価格：6980円
販売元：ハンドスプリング㈱
URL: <http://www.handspring.co.jp/products/mbackup.asp>

Visorに登録されたプログラムやデータをまるごとバックアップできるのが「バックアップ・モジュール」だ。モジュールを挿入し、画面中央のバックアップボタンをタップするだけで、いつでもどこでも簡単にフルバックアップが取れる。前回バックアップしたのとは異なるVisorに挿入したときや、本体とモジュールでバックアップ日付が違う場合などは警告メッセージが表示される。もちろん、Visorへのデータ復元も簡単。めったにデ

ータが壊れるということはないが、Visorもやはりコンピューターであることには変わりはない。特に、頻繁にパソコンとHotSyncできないユーザーには必携のモジュールだ。



「復元」ボタンをタップして、全データを戻しているところ



モジュールを挿入すると、この画面になる。「バックアップ」ボタンをタップしてバックアップ開始



これがBacupユーティリティのアイコンだ

**拡張メモリーで、さらに大量のデータを持ち歩く
8MB フラッシュ・モジュール**

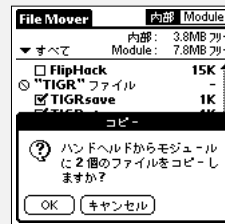


本体メモリーとは別に、8MBの容量追加が可能な8MBフラッシュ・モジュール

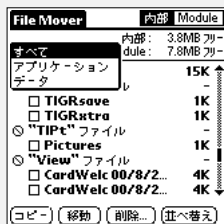
製品名：8MBフラッシュ・モジュール
 価格：9980円
 販売元：HANDSPRING(株)
 URL <http://www.handspring.co.jp/products/mmemory.asp>

挿入すると、Visor本体内部のメモリー以外に8MBの拡張格納エリアを持てるのが「8MBフラッシュ・モジュール」だ。モジュールを使用すれば、ホームに追加される「File Mover」というツールを用いて、Visor内の任意のアプリケーションやデータファイルのコピー/移動が可能になる。モジュール内にあるアプリケーションは、アプリケーション画面で名前の前に「・」が付いて表示されるが、Visor本体へのコピー操作なしでそのまま実行することができる。「File Mover」

では、アプリケーションやデータをアプリケーションの種類ごとに整理して表示し、効率よく削除したりコピーすることも可能。モジュールにアプリケーションやファイル単位でバックアップすることもできる。



対象となるファイルのチェックボックスをマークして、コピーや削除を行う



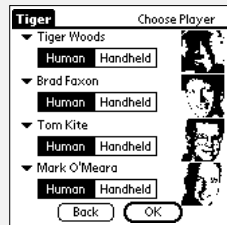
アプリケーション一覧、データ一覧、すべて表示が選択できる。すべて表示ではアプリケーションごとに整理して表示される



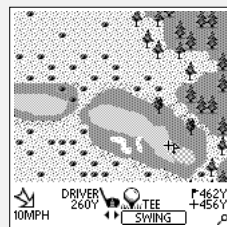
モジュールを挿入すると、File Moverというファイル操作ツールが現れる

「タイガー・ウッズ PGA TOUR ゴルフ」は、グラフィックがとても美しい本格的なゴルフゲームだ。タイガー・ウッズをはじめ、好きなゴルファーを選択し、プレイすることができる。

プレイ方法は一般的なゴルフゲームと同じだ。ショット時の操作は画面全体のどこをタップしても反応する。ショット後の画面の動きなども大変スムーズで、ショット方向の選択や画面スクロールなどもペン操作で行える。臨場感たっぷり、ついついハマってしまうゲームだ。



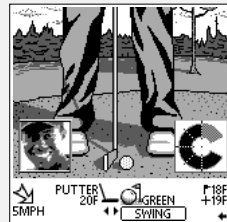
プレイヤー選択画面。人が操作するか、Visorが担当するかは任意に設定できる



打つ方向は画面をタップして設定。画面スクロールもペン操作で行う



臨場感あふれるグラフィック画面だ



パターショットは慎重に



スタート画面から、ゴルフ場にいる雰囲気味わえる



ストロークプレー、トーナメントなどが選べる

**これであなたもタイガー・ウッズになれる
タイガー・ウッズ PGA TOUR Golf**



「タイガー・ウッズ PGA TOUR ゴルフ」は、グラフィックがとても美しい本格的なゴルフゲームだ

製品名：タイガー・ウッズ PGA TOUR ゴルフ
 価格：4980円
 販売元：HANDSPRING(株)
 URL <http://www.handspring.co.jp/products/mtigerwoods.asp>



レスポンスのいいデジタルカメラ eye module



レンズの隣にあるのがシャッターボタンだ。Visorの上スクロールボタンもシャッターになる



Visorではモノクロ表示のみ。ビューモードの画面切り替えもスムーズで快適

製品名：eye module

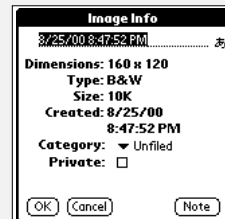
価格：オープンブライズ(実売1万9800円前後)

販売元：(株)エム・ディ・エス

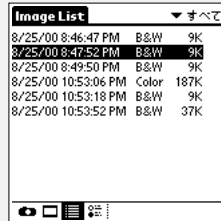
URL <http://www.mds2000.co.jp/>

Visorにデジタルカメラ機能を追加するのが「eyemodule」だ。320×240ドット256色カラー25枚以上、同16階調白黒画像125枚以上さらに、160×120ドット16階調白黒画像500枚以上の撮影が可能。Visor本体での表示もスムーズで大変快適な操作感が得られる。セルフタイマー機能も内蔵している。付属のCD-ROMには、ウィンドウズ用のHotSync対応コンジットと画像管理アプリケーション「Media Center」が収録されており、インストールすると「eye module」というディレクトリーを作成、HotSyncを行うと、そこにJPEGファイルに変換した撮影データが格納される。画素数が少なく本格的なデジカメの表現力とは勝負にならないが、映像メモとしては十分満足のいく仕様だ。レンズの向きが変えられるとさらに使い勝手は向上するが、残念ながらその機能はない。

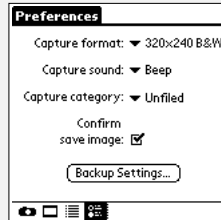
マックユーザーは、eyemodule.com (<http://www.eyemodule.com/downloads/mconduit.htm>)にアクセスし、対応ソフトをダウンロードする必要がある。ただし、このツールは日本語コンジットに対応していないため、インストール時にいったんPalmフォルダ内の「コンジット」フォルダの名称を「Conduits」に変更してインストールを行い、完了した後に「コンジット」に戻すという操作を行う。これらの詳細は(株)エム・ディ・エスのユーザーサポートホームページ (<http://www.mds2000.co.jp/eyemodulehelp.html>)をチェックしてほしい。



画像情報画面。画像ごとにメモを書くことができる



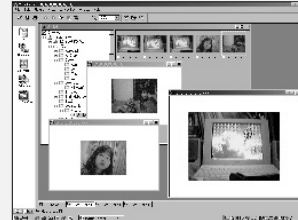
撮影した画像の一覧画面。画像サイズや撮影日時が一覧できる



詳細設定画面。撮影モードでもアイコンメニューで設定が可能



eye moduleをVisorに挿入すると、ビューアアプリケーションがインストールされ、モジュールを抜いたあとも画像の閲覧が可能になる



ウィンドウズでは、付属の「Media Center」で画像管理が可能

ゴルフ愛好者に最適なスプリングボードモジュール。ゴルフスコアを簡単に入力し、集計、整理することができる。ハンディーキャップやコース情報、クラブごとのショット記録など、きめの細かい管理が可能だ。情報を整理して、ベストスコアを狙え。

Golf Course

Name: ○×カントリー

Phone: 042-700-1234

City: △市

State: _____

Country: _____ Meas: ▼ yards

Tees: ▼ 1. _____

Par: _____ Len: _____

▼ Mens Course Rating: _____

Slope Rating: _____

OK Cancel 白 あ

まずはゴルフ場データをエントリー

Hole 18 ▼ あいろ 0:03

M Par 4 Hcp

VisorJ	+1	1	1						
山田	-2	2	3						
柏木	+2	6	3						
小林	e	4	2						

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

Back Next

あ

hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	put
VisorJ	5									5
山田										
柏木										
小林										
あい	4	5	4	4	4	4	4	4	4	29

OK 1 10 Stableford

データ入力がスピーディーに行えるようにデザインされている

面倒なスコアの集計も即座にできる

ゴルフスコアを簡単集計

IntelliGolf



ゴルフデータ管理モジュールのIntelliGolf

製品名：IntelliGolf

価格：オープンブライズ(実売5300円前後)

販売元：(株)エム・ディ・エス

URL <http://www.mds2000.co.jp/>

Visorにバイブレーションアラームを InnoPak/2V



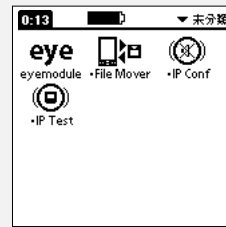
Visorにバイブレーションアラームを

製品名：InnoPak/2V
 価格：オープンプライス(実売5480円前後)
 販売元：㈱エム・ディ・エス
 URL <http://www.mds2000.co.jp/>

携帯電話のような振動モーターを内蔵し、アラームの代わりにVisorを振動させるモジュールが「InnoPak/2V」だ。

操作は簡単で、設定アプリケーションを立ち上げて切り替えるだけ。テストプログラムも入っているので試してみたが、思った以上に振動は強力だ。「DateBook」のアラーム機能で呼び出し音をオフにしておきたいときに、効果を発揮するだろう。

さらに、2MBのフラッシュメモリーも内蔵されており、拡張メモリースペースとして利用することも可能だ。アイス(乳白スケルトン)とグラフィイトの2色が用意されている。



モジュールを挿入すると設定ツールとテストツールがインストールされる



バイブレーションを利用する場合は「Vibrating」をonにする

バイブレーションでサウンドアラームの代わりにするのが「InnoPak/2V」だが、「TaleLight」はモジュール上部にあるLEDを点滅させることで、その役割を果たす。

「TaleLight」はHackソフト「HandMute」をインストールしておくことにより、予定表などでのサウンドアラームを自動的にキャンセルして、LEDの点滅でアラームを知らせる。

利用するためにはTech Center Labs社のサイト(<http://www.talestuff.com/>)から、「HackMaster」対応ユーティリティの「HandMute.prc」をダ

ウンロードし、インストールする必要がある。このユーティリティを利用するには、シェアウェアのHackMasterも必要だ。

なお、TaleLightを自動的に認識する「AutoHandMute」という有償ツールもこのサイトから入手が可能。



HandMuteを利用するには、シェアウェアのHackMasterというユーティリティが必要だ

アラームを光でお知らせ

TaleLight



「TaleLight」のユーティリティはWebサイトからゲット

製品名：TaleLight
 価格：オープンプライス(実売4480円前後)
 販売元：㈱エム・ディ・エス
 URL <http://www.mds2000.co.jp/>

業界初！ GlobalACCESSモジュール

SpringPort56モデム GlobalACCESSモジュール



1台でモジュージャックと携帯電話アダプターを装備

製品名：SpringPort56モデム
 GlobalACCESSモジュール
 価格：オープンプライス
 販売元：ザークコムジャパン(株)
 URL <http://www.xircom.co.jp/>

日本国内向けに発売された初の通信モジュールが、V90/56K対応モデムの「SpringPort56モデム GlobalACCESSモジュール」だ。

モジュールをスロットにセットすると自動的に認識され、必要なソフトウェアをインストールする。本体にはモジュージャックを備えており、電話線を差し込んでモデムとして利用する。加えて、別売りのPDCコネクションキット(1万1300円：税別)を接続することで、NTTドコモ、J-PHONEなどのPDC方式携帯電話による通信も可能としている。

また「GlobalACCESS」機能により、モデムのダイヤルのプロパティをそれぞれに国に合わせて設定変更することで、簡単に世界各国での通信にも対応できる。仕様のあっていないデジタル交換機などに接続した場合に備え、高圧電流からモジュールを守る「DigitalField」機能も備えている。

なお、ザークコムジャパン(株)では現在、発売を記念して「ゲットモバイルキャンペーンセット」を行っている。詳細はWebサイトで。

Visorをマルチ赤外線リモコンに OmniRemote



VisorをマルチリモコンにするOmniRemote

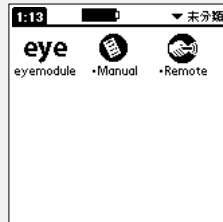


Visor本体の赤外線ポート以外に、強力なモジュール本体のポートも利用できる

製品名：OmniRemote
 価格：オープンブライズ(実売8900円前後)
 販売元：(株)エム・ディ・エス
 URL <http://www.mds2000.co.jp/>

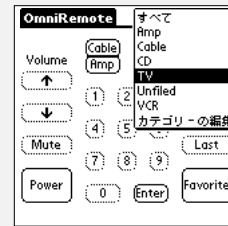
Visorをマルチリモコンに変えてしまうのが「OmniRemote」だ。あらかじめ、いくつかのAV機器のリモコンレイアウトサンプルデータが内蔵されており、その中の各ボタンに手持ちの赤外線リモコンの信号を記憶させる。

設定の方法は簡単だ。「Modes」「Training」を選んで、サンプルデータ内にある記憶させたいボタンを選ぶ。次に、該当するAV機器のリモコンを赤外線ポートに向けて、選択しておいたボタンを押す。これで記憶は完了だ。マルチ機能を備えているので、複数のリモコン操作をひとつのボタンに割り当てることもできるし、自由なリモコンレイアウトを作って好きなボタンを配置させることも可能。例えば、カラオケボックス用に十八番リストを作成しておくという使い方もできるのだ。

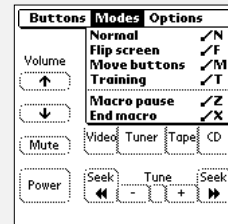


OmniRemoteのアイコンは右側にある

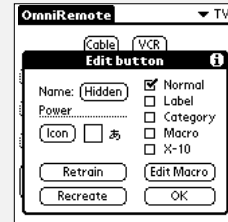
OmniRemoteで自分だけのマルチリモコンを実現させよう。Visorに集約させることで、リモコンをいちいち探す手間も省けるだろう。



あらかじめいくつかのサンプルデータが収録されていて、学習リモコンとして利用できる



「Training」メニューを選択し、手持ちのリモコンの信号を任意のボタンに記憶させる



ボタンの位置、大きさ、表示を自由に編集できる。自分専用のマルチリモコンの完成だ

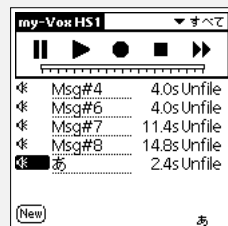
数あるPalmデバイスの中でも、マイクを内蔵しているのはVisorだけ。だからこそ「my-vox」でVisorをボイスメモマシンに変身させてしまおう。

「my-vox」はVisor本体正面左下にある小さな穴の内蔵マイクを有効活用したモジュールだ。スピーカーはモジュール内に設けられており、かなり大きな音で再生が可能だ。

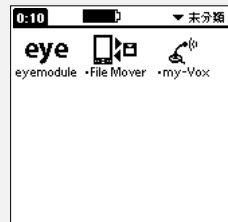
モジュールをVisorに挿入すると、録音再生ボタンや録音データリスト画面が現れる。録音にはモジュール上部にあるワンタッチ録音ボタンを押してもいいし、画面の「New」ボタンに続いて録音アイコンをタップしてもいい。録音データはVisor内に記憶され、データには自由な名称を付けることができる。

これをパソコンに転送して再生できれば、さらに便利な使い方が可能になると

思われるが、残念ながら現在はそこまではサポートされていない。けれども、内蔵マイクの将来性を予感させるユニークなボイスメモモジュールといえるだろう。



録音ファイル一覧。スピーカーアイコンをタップすると再生が始まる。名称は任意に書き換えが可能



my-Voxはマイクのアイコンだ

とっさのメモにはボイスメモを使い

my-vox



スピーカー搭載のボイスメモモジュールmy-vox

製品名：my-vox
 価格：オープンブライズ(実売8900円前後)
 販売元：(株)エム・ディ・エス
 URL <http://www.mds2000.co.jp/>



Palmで ゲームを 楽しもう

さらに面白くなったゲームで
Palmを身近に

小田嶋 絵里 文



このマークのソフトウェアは、
本誌付録CD-ROMに収録されています。



Palm GAMERのススメ

9月になり、新機種も続々と登場してきたPalm。この秋に初めて購入された方も多いのではないでしょうか。Palmに限ったことではありませんが、この手のものを買うと「使い込まないといけないのではないか？」という強迫観念にとらわれる人も多いようです。せっかく買ったのに、その入り口で怖くなって挫折しちゃう もったいないですよね。そこで、まずは「気軽に楽しく使う」ためにも、「ゲーム」から入ってみることをお勧めしたいと思います。



ゲームにPalmが向いているワケ

電車での通勤途中、携帯ゲーム機を使ってゲームをしているサラリーマンを見かけることがあります。ちょっと前には「ポケットゲーム」が流行ったこともありましたが、今ではほとんどの人が携帯電話で「時間つぶし」をしているようです。

私の場合、携帯電話のコンテンツサービスは緊急のメール以外ほとんど使っていません。オンラインのまま利用するコンテンツではお金もかかるし、小さい画面では(いくらカラーであっても)疲れるからです。それと、やはり女性の場合、なかなかバッグの中にゲーム機を入れておいたりするのは恥ずかしいですし、ゲームのためだけに何かを持つのでは荷物が増えてしまいます。そんなとき、ずっとPalmを取り出して、何気なく操作していれば「仕事でもしているのかな？」というふうにしき周りからは見えません。画面も携帯よりももちろん大きいですし、そもそもPDAなのでゲームだけの目的に持っているというものでもありません。

ゲームの種類という点でも、Palmは国内外合わせて数多くの、

それぞれのセンスがキラリと光るすばらしいゲームが開発されています。パズル/アクション/シミュレーションなど一般に市販されているゲームとほぼ変わらないジャンルの中から好きなものを選ぶのです。また、ゲーム専用機とは違うことのひとつに「お試しプレーができる」ということもあります。ゲームにはフリーウェアとシェアウェアとがありますが、シェアウェアはほとんどが登録前にお試しプレーをすることが可能です。まずは遊んでみて「もっとやりたい!」と思ったら、初めてお金を支払うようにできています。もちろん、パッケージ販売されているゲームもありますが、それもインターネットからお試し版を入手できます。



Palmと相性のいいゲームは何?

ところで、Palmで遊ぶゲームとしては何が一番向いているのでしょうか? 個人的には「時間つぶし」という意味合いからパズル系のゲームを利用することが多いのですが、カラー端末の登場でカラフルなゲームが多数出てきたこともあり、最近ではその画面見たさにいろいろなジャンルのゲームを楽しむようになりました。

ゲームは各ニュースサイトやレビューサイトで紹介されることが多いので、まめにチェックすると新しい情報が入ります。また、Palmの巨大なアーカイブであるPalmGear (<http://www.palmgear.com/>)は更新が速く、細かくジャンル分けされているうえ、画面も掲載されているので、表記は英語ですがお勧めできます。シェアウェアの代金の支払いシステムもあるので便利です(カード決済のみ)。

あなたの好きなゲームを入れ、毎日連れ出してそばに置き、いつのまにか自分だけのPalm 自分の手にしっくりなじむ相棒になるように、ゲームを楽しみながら親しんでいってほしいなと思います。

評価は5段階

パズル 難易度 / ハマリ度 / ハデ度



ピロピロ1.0

せり上がるかわいいキャラクターの手をつなごう

作者 瀬頭 信幸

URL <http://member.nifty.ne.jp/SETOU/>

価格 シェアウェア (500円)

いわゆる「落ちもの」と呼ばれるパズルゲームは多数ありますが、このゲームはキャラクターが下からせり上がってきます。まん丸なキャラクターには手が生えており、この手をつないでいきます。端が切れていない状態につながると消すことができます。手の数と方向はキャラクターの色によって違うので、色が増えれば増えただけ手のつなぎ方も複雑になり、難度も上がります。

ゲームのスタートと同時に下からキャラクターがせり上がってきます。キャラクターをタップすると回転するので、回転で腕の位置を調



スタートを押すと、かわいいキャラクターがにっこり笑ってゲーム開始!



くるくる回して手をつなごう。端っこは残りやすいぞ!

整できます。しばらくすると、また下から自動的にせり上がってきてしまうので、速く消さないといけません。逆にせり上がりを速めたいときには、せり上がりのラインより下の部分をタップします。いちばん上にキャラクターが到達してしまった時点でゲームオーバーとなります。

パズル 難易度 / ハマリ度 / ハデ度

COOKIZ

カラフルなクッキーを並べて消していこう!

作者 Marilis Ltd

URL <http://www.marilis.com/>

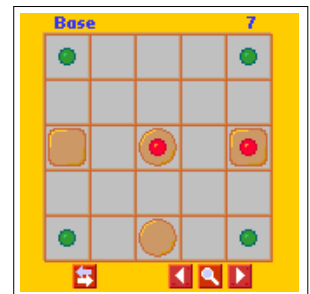
価格 シェアウェア (US \$ 10.00)

マス目上に現れるカラフルなクッキーを移動させて消していくパズルゲームです。ルールは簡単で、取りたいクッキーの間に別のクッキーがなく、縦横のいずれかにまっすぐ並んでいる場合にしか消すことができません。

はじめは簡単ですが、面が進むに従って次第に複雑な並びになっていきます。ちょっとした時間でもさっと楽しめるので、時間つぶしにはお勧めです。例えば、ここにある画面のような場合、どのようにクッキーを取っていけばいいのでしょうか? 上の緑色の粒は間に何



PLAYを選んでゲームを開始、なかなかポップなタイトル画面が開きます



カラフルなクッキーたち。複雑な面もじっくり考えて取っていこう!

もないのですぐ取れます。次に丸いクッキーを下から真ん中に向けて取ります。すると、下の緑色の粒の間の障害がなくなるので今度はそれを取ってしまいます。あとは真ん中に残っている赤い粒を左の四角いクッキーに載せて、右端のクッキーを取るのです。

パズル 難易度 / ハマリ度 / ハデ度

NetWalk 2.0

仕事には使えないLAN配線組み替えゲーム

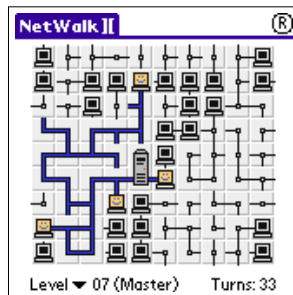
作者 Beiks Ltd

URL <http://www.beiks.com/>

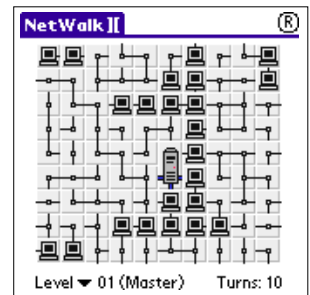
価格 シェアウェア (US \$ 10.00)

サーバーマシンとクライアントマシンの間にある配線をきれいにつないでネットワークがきちんとできあがるようにするゲームです。お試し版では全8ステージしかプレーできませんが、登録すると大量のステージでのプレーが可能となります。

サーバーマシンがあるので、そこからケーブルの向きを変えて配線していきます。きちんと配線がつながるとクライアントマシンがにっこりと笑ってくれるので、笑顔に満たされたネットワークにしなければいけません。



配線をつないでにっこりクライアントマシンを増やそう



サーバーマシンのそばにはたくさんクライアントマシンが.....

仕事でネットワーク管理などしている人は、「ゲームでまで悩みたくない~」と思ってしまうほどの手ごわさです。

画面を閉じてしまったあとでも、しばらくは頭の中でぐるぐる考えてしまうかもしれない中毒性の強いゲームです。



パズル 難易度 / ハマリ度 / ハデ度



LinesColor 1.2

同じ色を並べてずらしてそろえて消すパズルゲーム

作者 klyatskin
URL <http://195.128.67.93/>
価格 フリーウェア(サポートが必要な場合は登録US\$ 8.00)

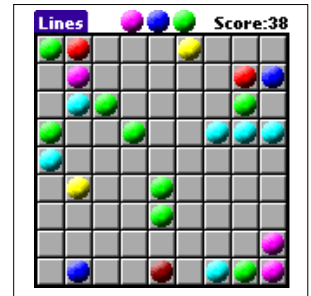
7色のボールのうち、同じ色のものを縦横斜めのいずれかに5つ以上並べれば消せるパズルゲームです。

操作はすべて画面のタップで行います。動かしたいボールをタップし、次に移動したいセルをタップすると、ボールがその場所へと移動します。動かす先までの間にほかのボールがあると動かすことができません。

5つ並べて消すと得点が、さらに5つ以上ボールを並べて消すとボーナス点が入ります。ボールを消せなかった場合には、3つのボー



起動画面、まさにカラーだからこそできるゲーム



同じ色をできるだけ近くに置いていくことがポイント

ルがランダムに置かれます。こうして、面の上がボールで埋まったらゲームオーバーになります。

次に来るボールを確認しながら、できるだけ同じ色のものをそろえておくのがポイントです。

アクション 難易度 / ハマリ度 / ハデ度



Mulg m

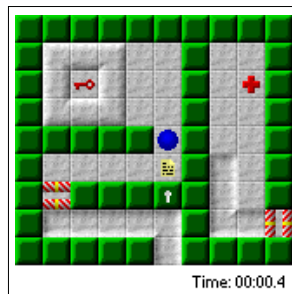
ワナをクリアしてボールをゴールに運ぶゲーム

作者 Till Harbaum
URL <http://www.ibr.cs.tubs.de/harbaum/pilot/mulg.html>
フリーウェア

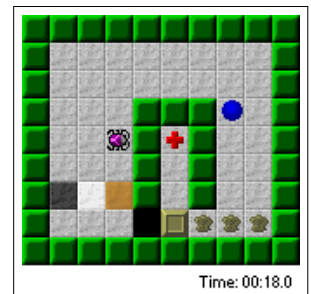
丸いボールをころがしてワナをクリアし、ゴールするという、いたってシンプルなゲームです。

起動すると画面にボールが出てくるので、これを操作してゴールへと運んでいきます。画面上をタップするとタップした場所と玉の位置に応じて、速度と方向が決まります。

ワナにはいくつかのパターンがあって、どこかの壁にぶつけないと開かないゲートや、穴、細い通路、アイテムが必要なものなど多彩です。それらをクリアしながら進むのですが、どれだけ速くクリ



鍵をひろったり、ゲートを開いて進んでいこう



こんな虫がうごめいたり、進もうと思っても進めない場所もあるぞ!

アしたかのハイスコアも表示されるので、ものすごい集中力が必要になってきます。

また、ウィンドウズ用のマップエディタも用意されているので、自分だけのオリジナル面を作って楽しむこともできます。

パズル 難易度 / ハマリ度 / ハデ度



Worm 2.1

ミミズを壁にぶつけないようにコマを取るパズル

作者 Megasoft
URL <http://megasoft2000.tripod.com/>
価格 シェアウェア (US\$ 5.00)

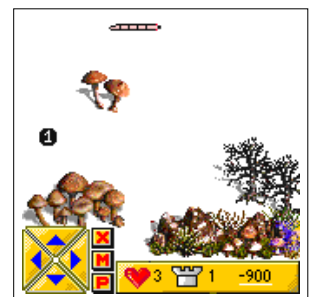
キノコの合間からはい出てくるミミズとおぼしきWormを操作して、数字を順番に取っていくゲームです。

操作はいたってシンプル。ハードキーを操作し、ミミズを上下左右に動かして移動させればよいのですが、この数字を取るたびにミミズの長さが伸びていきます。壁にぶつかったり、自分で自分のしっぽに触ってしまったら自爆してしまいます。

あまりにも簡単な操作なのですが、やってみるとこれが意外と難しい。これによく似たゲームはいくつかあるのですが、このWorm



起動画面で設定をすれば難易度も変えられる。まずは簡単なものから



きのこの絵がかわいい、ミミズ君の動きにも注目!

は絵がかわいいのと、ミミズ君のなんともいえないグラフィックが楽しいのです。

ウニウニとうごめく様をただ眺めているだけでも、なんとなく笑えるゲームです。

アクション 難易度 / ハマリ度 / ハデ度

Atom Smash 1.1m

多面多彩！ルールは簡単アクション豊富なブロック崩し

作者 RED MERCURY

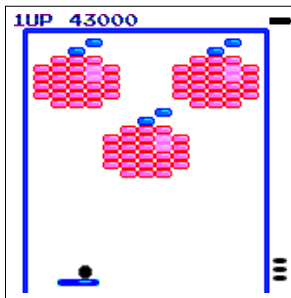
URL <http://www.red-mercury.com/>

価格 シェアウェア (US \$ 14.95)

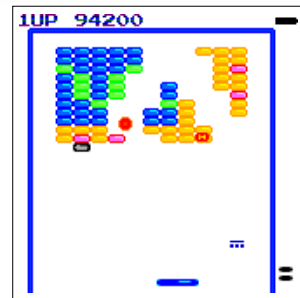


ブロック崩しといえば、跳ねるボールを打ち返してブロックを消していく、おなじみのゲームのひとつですが、中でもこの「Atom Smash」は面の豊富さと美しさにおいて、ぜひトライしていただきたい、イチ押しのゲームです。

ブロックを消していくとパワーアップツールが落ちてきます。青いバーは自ボールが3つに分裂、赤いバーは無敵状態でどんなブロック（ノーマルでは消せないもの）でも消していきます。自ボールは当初3つですが、ゲームを進めると出てくる黒い楕円のバーを取



これはCherry。ほかにもWaveやMagnetなど多彩でかわいい画面が！



さまざまなパワーアップバーを取ってグレードアップ、難局を乗り切れ！

ると増やすことができます。

面は磁石の模様、チェリー、波打ったもの、ぐるぐるしたのものなど、本当に「これでもか！」というほどありますので、一度始めるとなかなかやめられない楽しさがあります。

アクション 難易度 / ハマリ度 / ハデ度

Emerald Hunt 1.5

掘って崩して生き残り、クレーンを操作して宝石探し！

作者 Scott Powell (of Evolutionary Systems)

URL <http://www.evolutionary.net/>

価格 シェアウェア (US \$ 7.00)



あなたは地面の下のクレーンに乗っています。クレーンを操作して、地盤の中に隠れているエメラルドを掘り起こして獲得していくゲームです。

地面を崩してずらしていくのですが、一度掘ったところから降りたら上がられませんし、考えて掘り進めないと落盤が起きてしまいます。自分の乗るクレーンがつぶれてしまったらゲームオーバー。ちなみに画面の青い部分は水中です。この中にいると上にある「A」マークの数値が「エア(酸素)」になるので、これがどんどん減っていきます。



宝探しのスタート。地盤が動いて、シャッフル後にゲームが始まる



一度穴に落ちたら上がれないので考えて掘ろう

酸素ボンベアイテムを取るか、地上に出て酸素を補給します。

画面はとてもカラフルです。なかなか全部の宝石を取るの難しいですが、バランスを考えて掘り進めば取れるようになっています。頑張ってください。

シミュレーション 難易度 / ハマリ度 / ハデ度

SimCityClassic

小さな窓から大きな世界が広がるシミュレーションゲームの草分け！

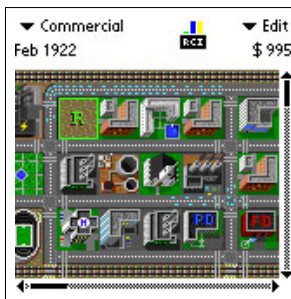
作者 Atelier Ltd

URL <http://www.atelier.tm/palm/scc.html>

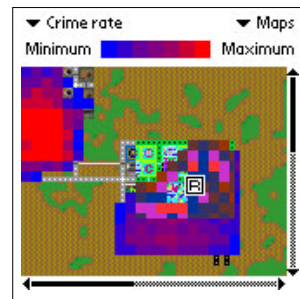
価格 シェアウェア (US \$ 29.95)

あの、街を創るシミュレーションゲーム「SimCity」をいつでも持ち歩けます。その完成度の高さに、カラー版登場に合わせてカラーPalmを買った人もいます。

難易度は3段階で設定できます。この難易度によって初めの持ち資金の額が決まります。初めはまったくのさだ地。そこに街や建物、道路や発電所を設置していきます。配置がうまくいけば街は成長し、人が集まりますが、そこに今度は犯罪や火災、環境破壊などの問題が出てきます。それらをうまくコントロールしていくのは



街が大きくなると車がちらちら走っているのが見える



赤いところは公害エリア、環境も大事にね！

市長であるプレイヤーの力量です。

完成度が高いだけあってやや値段も高いゲームですが、シミュレーション好きな方であれば、一度は試してみたいゲームのひとつです。



シューティング 難易度 / ハマリ度 / ハデ度



ASTROIDS 1.61

隕石、敵を避けながら攻撃！ 考えるシューティングゲーム

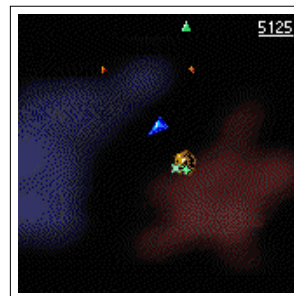
作者 Howard Tomlinson (of Astraware Partners)
 URL <http://www.astraware.com/palm/astroids/>
 価格 シェアウェア (US \$ 7.95)

自分がいる位置と敵の位置を考えながら撃たないと、自滅してしまうタイプのシューティングゲームです。

まず起動すると自機が現れます。この宇宙スペースですが、上と下、右と左がつながる小さな球体のようなものです。隕石が飛んで来るのでそれを打破するのですが、撃つと砕けて小さくなり、スピードも上がります。そのかけらの飛んでくる方向を考えて撃たないとぶつかってしまいます。また、たまにUFOが攻撃してきますが、これを撃つと高得点になります。出てくる障害物をすべて打破する



隕石の大きさもさまざまで得点も異なる。UFOを撃てばボーナス得点が



宇宙空間を円を描くように宇宙船を滑らせ、位置を考えて敵を撃て!

と面クリアになります。

サウンドやグラフィックもよくできていますが、それでいて動作は軽快です。ややパズルの要素もあるゲームですので、シューティングはちょっと苦手という人でも楽しめると思います。

ボードゲーム 難易度 / ハマリ度 / ハデ度



Potelo 1.1m

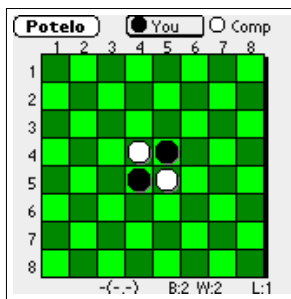
白黒だけじゃない? 色も選べる本格的リバーシー!

作者 FocV Project
 URL <http://www.shin.nu/FocV/Potelo/index-j.html>
 価格 シェアウェア (1980円 / US \$15.00)

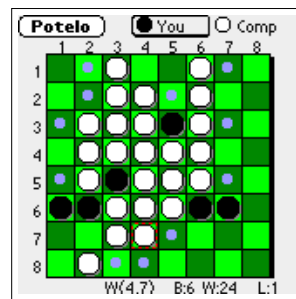
リバーシータイプのゲームの中で最も本格的、かつ美しいグラフィックが楽しめるのが、この「Potelo」です。

まず起動すると、その本格的な作りに驚きます。難易度は5段階で設定ができ、対戦の先手/後手の切り替えもできます。相手がPalmだったらそんなに難しくないのでは? とお思いになるかもしれませんが、そんなことはありません。油断していたら負けてしまうほどです。

また、すごいのはカラーテーブルを搭載していることです。メモ



きれいな配色のスタート画面、音楽もいい



悔っていたら、あっという間に負けそうになった.....

帳にデータを書くことで自由にコマや背景、盤の色を変えることができます。

リバーシーが好きな人も、あまりやったことのない人にもお勧めできる1本です。

レーシングゲーム 難易度 / ハマリ度 / ハデ度



RaceFever 0.9

猛スピードにアクシデント! 手のひらF1レースを体感!

作者 Digital-Fiction Inc.
 URL <http://www.digital-fiction.com/>
 価格 シェアウェア (US \$ 24.95)

Palmで今までこれほどのスピード感を実現したゲームはなかったのではないのでしょうか? レーシングカーの時速300kmの世界をばっちり体感できるゲームです。

起動するといきなり立体的かつ本格的なグラフィックに圧倒されます。走行の操作はボタン操作だけでなく、グラフィティーでも可能です。障害物やほかの車にぶつかると転倒するのですが、そのクラッシュシーンは大迫力です。

車体設定ができるので、オートマでもマニュアルでもOKです。



トーナメントモードで走行中、このリアル感!



転倒クラッシュ! この大迫力でのひらで体感できて圧倒される

16のコースが選べますが、テストコースもあるので練習もできます。4種類のチャンピオンシップでは予選のあとに24台のライバルと戦うことになります。赤外線ポートを使って対戦したり、チームを組んでほかの友達とスピードや戦略を競うことも可能です。



Palm 強化大作戦

特別暑かった今年の夏もようやく終わり。秋のおしゃれを楽しむように、Palmにも周辺機器やアクセサリで個性的なおしゃれをさせよう。自分のPalmにどんな装いをさせるか、秋の夜長をじっくり楽しむのも悪くない。

Palmユーザーなら欲しくなる 折り畳み式フルサイズキーボード

Targus Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor

ポケットから取り出した文庫本大の四角い箱を広げると、みるみるフルサイズキーボードに変身する。それが世界初、ポケットサイズの折り畳み式キーボード「Targus ターガス Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor」だ。折り畳んだときの大きさは「Visor」バイザーとほぼ同じ。Visorにフルサイズのキーボードを追加することで、メールなどの

文章作成が素早く簡単に行えるようになる。キータッチも滑らかで、使い勝手はデスクトップ用と比べても遜色ない。実用性を重んじるユーザーにとって、また「とにかく目立ちたい!!!」を信条にするユーザーにとっても、そろえておきたいキーボードである。

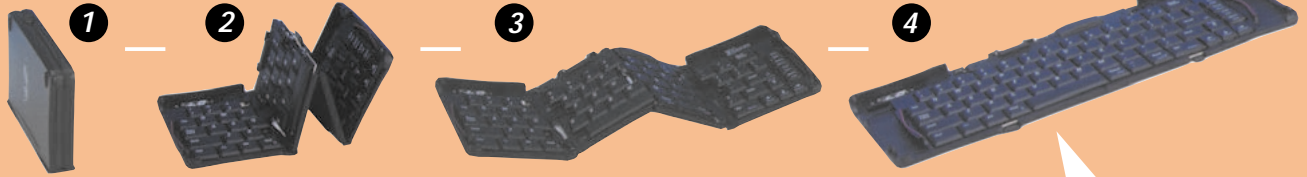


Visor(左)との比較。奥行きは、厚めの文庫本といったところ。ジーンズの後ろポケットにも、うまく収まる大きさだ

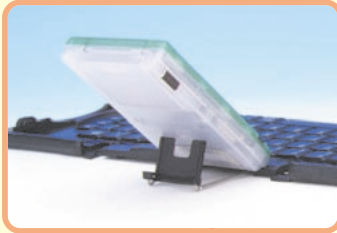


キーボードレスのハンドヘルド専用開発された「Targus Stowaway Portable Keyboard for Handspring Visor」。デスクトップ用とほぼ同等の大きさで、ノートパソコンのキーボードよりはるかに大きい。キータッチのサイズはかなり大きめで、ゆったりしている。なお、広げたときに中央部分がロックされず安定性に欠けるので、平らな場所に置いて使用するのが原則

こうして、フルサイズキーボードに！



Visor装着時を裏から見たところ。コネクタにはVisor本体を斜めにして着脱する。あとは文字入力したいPalmウェアを起動すれば、準備OKだ



変形時のギミックは秀逸。アルミ製のボディーケース側面にあるロックを解除すると、本のようにパカッと開く。そのまま左右に軽く引っ張るだけで、尺取り虫のようにパタパタと一枚の板に変化する。最後に左右の赤い取っ手部分を中央部に押し込めてロックすれば完了。この間わずか10秒すらずだ。収納の際は、逆の動作をすればいい。なお、ターガス・ジャパン(株)のWebサイトで、この「変身する」過程を動画で見ることができる

ステーをキーボードから引き出したところ。ステーで支えることによって傾斜がつき、画面が見やすくなる



キーボード全体は4分割されているが、広げたときに離れている両端の部分は、それぞれ上部にあるストッパーで固定される



Visorを支えるステーは通常、キーボード本体の裏面に格納されている



キーボードの右側に用意された専用キー。これらによって基本アプリケーションをキーボードから起動できる

現在、発売されている英語版は101キーボード配列で、8月に発売が予定されていた日本語版は106キーボード配列。アメリカでの予想を上回る需要のため日本向けの生産が追いつかない状況で、日本語版は発売が延期されている。具体的な日程に関してはターガス・ジャパン(株)のWebサイトで発表される

対応機種	Handspring Visor
本体サイズ(クローズ)	(縦)130×(横)93×(高さ)20mm
本体サイズ(オープン)	(縦)130×(横)352×(高さ)9mm
重量(g)	224g
キーピッチ	19mm
キーストローク	3mm
電源	Visorより供給
対応OS	Palm OS 3.1以上
価格	オープンブライス

Palm 強化大作戦

ターガス・ジャパン(株)
<http://www.targus.co.jp/>

Visorがデジカメに変身!

eyemodule

e アイモジュール
eyemoduleは、Visorのスプリングボード規格に沿ったデジタルカメラモジュール。Visorのスプリングボードスロットに取り付けるだけでデジタルカメラ機能が使用可能となる。電源はVisor側から取るので、本体はVisorと一体化しており携帯にも便利だ。ただし上面レンズは上に15mm程度はみ出すが、気になるほどではない。

Visor側のソフトウェアはeyemodule側に搭載されており、初めてVisorに装着したときにインストールされる。あとはeyemoduleを引き抜いてもデータのブラウズが可能だ。解像度は320×240ピクセルで256色カラーまたは16階調グレー、160×120ピクセルで

16階調グレーと3種類用意される。Visorはモノクロディスプレイなのでカラー指定を行っても表示はモノクロだが、パソコンへ転送されるとカラーのJPEGデータとして閲覧可能だ。

ちょうど似た製品でコダック社のPalm Pixがあるが、比較するとプレビュー時の画面追従性が格段によく、カラー画像の撮影でも一瞬で終わってしまう点は素晴らしい。電源を本体から経由している点が不安ではあるが、それを除いてはPalmでスナップ写真を撮るという行為を楽しく実現できた製品だ。画質を割り切れるのであれば、買いの製品といえよう。

Palm 強化大作戦



対応機種	Visor
解像度	320×240ピクセル256カラー/ 16階調モノクロ、160×120ピクセル16階調モノクロ
電源	Visorより供給
本体サイズ(縦)×(横)×(厚み)	70×54×16mm
重量(g)	30g
機能	簡単ワンボタン操作、液晶ビューファインダー、撮影した画像のスクロール再生、撮影した画像にメモを追加可能、赤外線画像転送可能、セルフタイマー、露出自動調整、couduitソフトでパソコンにHotSyncして取り込み、自動的にJPEGに変換
価格	1万9800円

㈱エム・ディ・エス
<http://www.mds2000.co.jp/>

eyemodule

高級感漂うNYの人気ブランド

Dooney & Bourke Palm Case



Palm シリーズが薄型ということもあり、同種のデザインは多種にわたるが、中でもひととき人気なのが、米国のNYに本拠地を置く革製品ブランド Dooney & Bourkeのケースだ。Palm シリーズならびにWorkPad c3用。付属のケースと異なり、背面までも覆うデザインとなっている。同社のデザインはトラディショナルなものでありながら斬新な色使いで、プライベートなシーンからビジネスまで嫌みがなくスッキリとしており、ファンが多い。Palmのケースもサイズからデザインまで無

駄がなく、Palm が持つ高級感と見事にマッチしている。素材として使われている皮は一度水で縮ませてから加工するために、長年にわたる使用でも変質が少なく表面に現れている独特の「しわ」も質感を向上させるのに一役買っている。純正ケースと同様にスタイラスのガイドを利用して固定するので、ベルクロテープは必要としない。カラーは茶/黒/ローズ/アイビー/ネイビーの5色。

対応機種 Palm シリーズまたはWorkPad c3
価格 US \$ 49.95 (国内での実勢価格7980円)

米Dooney & Bourke社
<http://www.dooney.com/>



快適な入力 歴史ある金属製スタイラスで Custom Styli for Palm

対応機種 それぞれの機種専用に分かれている
価格 US \$ 14.95-\$ 21.95 (国内では1980~2980円)

カスタムスタイラスでは歴史のある、米PDA Panache社の金属製スタイラス。Palm用も初期から発売しており、日本でもファンは多い。精密に削り出されたその仕上げは標準のスタイラスとは雲泥の差。真鍮製で黒/銀/金(一部の機種のみ)とカラーもメタルチックだ。装着したいPalmのカラーに合わせて選びたい。WorkPad 30J、Palm とともに標準のスタイラスは約10gで、PDA Panache製のものは15gと、たった

5gの違いだが、実際に手にすると明らかな重さの違いを感じ取れる。これだけの差でちょっとしたタップなども軽くなるようになり、入力が快適になるのだ。ちなみにスタイラス内部にはPalmユーザーならおなじみのリセットピンが内蔵されているので、いざというときにも困らない仕様になっている。

米PDA Panache社
<http://www.pdapanache.com/>

Palm Computing m100を彩る純正アクセサリー フェイスプレート&ケース

ファッション性という点ではいまひとつだったPalmコンピューティング株のPalmシリーズだが、今回のPalm Computing m100(以下、m100)はこの点でも満足感を与えてくれる。それが、純正のフェイスプレートやケース類だ。ス

ナップオン式で気軽にカラーチェンジできるメタリックなフェイスプレート、高級感あふれるレザーケースは、m100をファッションナブルに変身させてくれる。今日のm100にはどんなおしゃれをさせようか? 新しい楽しみが増えそうだ。



Palm m100 フェイスプレート

気分に合わせてm100のフェイスが自由に変えられる、取り外し簡単なフェイスプレート。

カラーは写真のブルーミスト、パシフィックブルー、グリーンミストに加えて、ルビーパールの5色が用意されている。

推定小売価格(税別) 各1980円



Palm m100 レザーフリップケース

高級レザーを使った高品質なフリップケース。フリップカバーがm100本体を保護する。

推定小売価格(税別) 3380円



PalmGlove m100 ソフトケース

防水性に優れたネオブレン製ケース。免許証や名刺などを収納できるポケット付きで携帯に便利。カラーは3色をラインアップ。

推定小売価格(税別) 2980円



Palm m100 スリムレザーキャリングケース

持ち運びに便利なスリムでコンパクトなケース。クレジットカードスロットには名刺やカードを収納可能。

推定小売価格(税別) ¥3,380円

パーム コンピューティング株
<http://www.palm-japan.com/>

Palm x、cに正式対応したモバイルデータアダプター SnapConnect for Palm x、Palm c

これまで、Palm OS 3.5搭載のPalm xやPalm cでSnapConnectシリーズを使う場合、スクリプトを追加するなどの追加手順が必要となり、通常の通信手段でそのままデータ通信を行うことはできなかった。しかも、これはメーカー保証外の使用方法のため、責任はすべてユーザーが負わなければならなかった。そんな悩みを解消してくれるのが、正式対応版

となった「SnapConnect for Palm x、Palm c」である。従来のSnapConnectのボディーデザインを踏襲しており、Palm xやPalm cとドッキングしたときにも違和感はないはずだ。Palm x、Palm cユーザーにとっては、待ちに待った製品といえるだろう。また、単4乾電池内蔵により本体の電池を消耗せず、スナップオンするだけで手軽にデータ通信が行える。



充実した機能のマルチキャリア対応

SnapConnect for Palm x、Palm cの大きな特徴のひとつが、これまで不可能だったcdma方式の携帯電話にも接続が可能となったことだ。これで、国内すべてのモバイル通信方式に対応できるようになり、どの機種の携帯電話やPHSを持っていても、安心して購入できるようになった。ちなみに、上の写真左はH⁺(エッチ)端末とPalm cを接続したところ、右はcdma方式の携帯電話とPalm xを接続したところだ。



Visor用SnapConnectも近日発売予定。ハングスプリング社のVisor発表会に出品された試作品。スプリングボード用スロットに挿入し、SnapConnectの上部にケーブルを接続する



装着して、Visorの表側から見たところ



裏から見たところ

cdmaOne対応	Packet One (14.4 / 64Kbps) 対応 データ通信 (14.4Kbps) 対応
デジタル携帯電話 (PDC) 対応	データ通信 (9600bps) FAX通信対応
パケットデータ通信対応	NTTドコモのパケットデータ通信サービス (28.8Kbps / 9600bps) 対応
PIAFS (32K / 64Kbps) 両対応	PIAFS 32Kbpsデータ通信対応 (NTTドコモ、ASTEL、DDIポケット) PIAFS 64Kbpsデータ通信対応 (NTTドコモ、DDIポケット)
ドッチーモ [®] 対応	PDC,PIAFS (32k,64kbps) を選択してデータ通信が可能
添付品	PDCケーブル、H ⁺ (エッチ)ケーブル、PHSケーブル、cdmaOneケーブル、単4アルカリ乾電池 (2本)、10円メールクライアント
対応機種	Palm c、WorkPad (30J)、Palm x、WorkPad c3 (40J / 50J)
価格	未定
出荷時期	今秋

㈱アイ・オー・データ機器
<http://www.iodata.co.jp/>



図解

Palmの中身を見よう

手のひらサイズのPalmデバイスは、一見するとオモチャのように見えるかもしれない。しかしその中身は、CPU（Dragonball EZ）やメモリーなどのパーツが、所狭しと基板上に実装された立派な電子機器である。ここではWorkPad 30Jを解体して、実際にPalmの中がどうなっているのかをお見せしよう。

解体のターゲットはWorkPad 30J

現在日本で発売されているPalmデバイスは、基本的にはユーザーが勝手に分解できないようになっている。ハード的に分解不可能な作りのものも多く、もちろんいったん分解してしまえば、すべての機種でメーカーの保証は受けられなくなってしまう。

とはいっても、一度はPalmデバイスの中をのぞいてみたいと思っているユーザーも多いだろう。そこで、ここでは日本アイ・ビー・エム㈱の「WorkPad 30J」を解体して、Palmデバイスの中身がどうなっているかをお見せしよう。

WorkPad 30Jの特徴のひとつは、本体の裏ぶたを開けられる作りになっているということ。これは、本体内部に拡張スロットが用意されているためだ。この拡張スロット用には、メモリーモジュールやスマートメディアモジュールなどが発売されている。また、ボディー自体を取り換えるためのリプレースメントケースなどもいくつか発売されており、“自分らしさ”を追い求めるPalmユーザーにとっては、なかなか魅力的な選択肢となっているようだ。

ドライバー1本で解体開始

では、実際にWorkPad 30Jを解体してみよう。「解体」といっても、必要な工具は、細身のプラス（+）ドライバー1本だけ。それほど難しくはない。

1 筐体裏側の4隅にネジがある



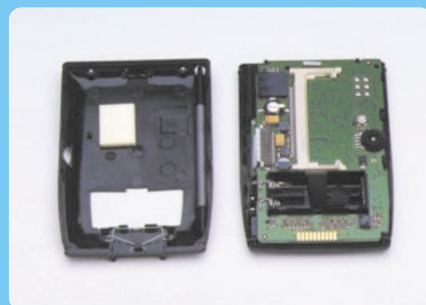
WorkPad 30Jの場合は、4隅のネジで裏ぶたが固定されている（囲み）

2 電池を外して裏ぶたのネジを取り外す



まずは電池を外し、4隅のネジをプラスドライバーで取り外す

3 裏ぶたを外す



ボディー表側と裏ぶたのすき間に手のツメを掛けてゆっくりこじ開ければ、裏ぶたが外れる。裏ぶたは、左右のツメで表側に固定されているので、うまく開かないときは少しずつようにするといい。くれぐれも無理やり開けないこと。内蔵の拡張スロットにモジュールを装着する場合は、この状態から行えばいい

4 表側を外す



次は表側だ。静電気には要注意。あらかじめ金属などに触れて、手の静電気を逃がしておくといい。ボディー表側とマザーボードは、上下左右にあるプラスチックのツメで固定されている。順番にツメを外すようにしていけば、それほど苦勞せずには外せる

5 表側から見る



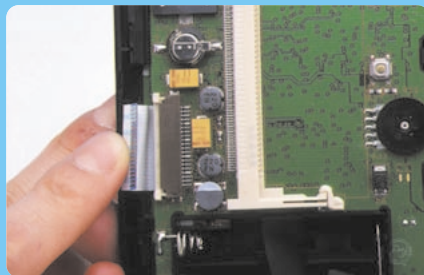
表側を外したところ。リプレースメントケースに取り換える場合は、この状態で装着する

6 液晶部分の基板を外す



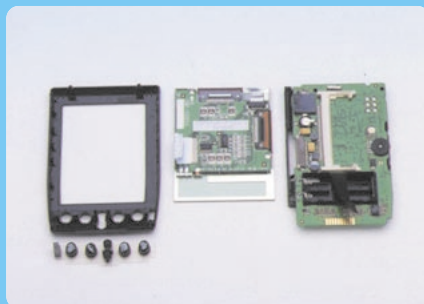
マザーボードと液晶部分の基板も、やはりプラスチックの枠を介して、ツメで固定されている。このツメを外すことで、液晶部分を取り外すことができる

7 フレキシブルケーブルを外す



ただし、マザーボードと液晶の基板は、フレキシブルケーブルで接続されている。そのため、あらかじめ外しておかなければならない

8 裏側から見る



マザーボードと液晶の基板を取り外したところを裏側から見ると、フレキシブルケーブルがプラスチックの枠の穴を通っているのがわかる

図解

Palmの中身を見よう



9 解体されたWorkPad 30J



最終的に解体されたWorkPad 30Jのパーツを集めると、このようになる

C O L U M N

リプレースメントケースでドレスアップ

専用のリプレースメントケースを使えば、簡単にWorkPad 30Jをドレスアップできる。ここでは、<http://www.visavis.co.jp/> から販売されている「cocobolo wood case」に取り換えてみよう。



cocobolo wood caseは、中南米産のココボロという木材を使用したリプレースメントケース。木の質感がそ

のまま保たれているユニークな逸品だ。スタイラスやリセットピンなども木製で、製作者のこだわりを感じさせる。



作業はいたって簡単。WorkPad 30Jの表と裏のふたを外した状態から、cocobolo wood caseの表側にマザーボードやハードウェアボタンなどをセットし、裏ふたを閉めてネジ留めすれ

ばいい。シリアル部分には金属加工された赤外線通信のための窓もある。



完成したところを見れば、オリジナルとの違いは歴然だ。こんな楽しさを実感できるのも、Palmならではの楽しみだろう。ただし、いったん分解してしまえば、メーカーの保証外となることを忘れずに。

鈴木 研祠 氏

㈱ジャストシステム
営業企画室
Palm関連プロダクトビジネスオーナー

Palmの弱点、 日本語入力に 強力な助っ人

「ATOK Pocket」 S u z u k i K e n j i

OSレベルで正式に日本語化されたPalmデバイスが相次いで登場しているが、日本語化されたとはいえ、“データ作成のための端末”ではなく“情報管理やデータアクセスの端末”という位置付けのせいか、日本語入力では重要な漢字変換は「単語変換」レベルしか存在しないことに不満を感じているユーザーも少なくないはず。だが、今年9月にソニー(株)から発売された国産初のPalmデバイス「CLIE」には、待望の本格的日本語入力ソフトが標準搭載されている。パソコン用ワープロソフト「一太郎」でおなじみの「ATOK Pocket」だ。今回は、Palm OS初の本格的日本語入力ソフト「ATOK Pocket」を企画開発した㈱ジャストシステム 営業企画室 Palm関連プロダクト ビジネスオーナー 鈴木研祠氏に「ATOK Pocket」についてお話を伺った。



「ATOK Pocket」は 「AAA」戦略の一環

パソコンユーザーにはなじみの深い「ATOK」だが、パソコンだけにとらわれず、さまざまなプラットフォームに移植されている。今回「CLIE」に採用された「ATOK」には「ATOK Pocket」シリーズの名が与えられている。まずは全般的な話から伺ってみた。

「CLIE」に「ATOK Pocket」を搭載した経緯を教えてください。

鈴木 大前提に、ジャストシステムの事業ビジョンとしての『ATOK, Anytime Anywhere.』戦略があります。「さまざまなプラットフォームにATOKを載せたい」という考えです。ジャストシステムがソフトウェア会社として社会に貢献できるものひとつが「日本語入力」であると思いますし、それを通じて「人とパソコン/情報端末との接点」を担ってきました。この考え

に基づいて、携帯情報端末向けに開発したのが「ATOK Pocket」です。同じ名称でウィンドウズCEにも提供していますが、面白さという視点からも「Palm版も作りたい」と考えていたところでしたので、製品化を進めることになりました。

ほかのPalmデバイスメーカーからのアプローチはありませんでしたか？

鈴木 かなり以前から各社と接触していましたが、ソニー(株)が㈱ジャストシステムを高く評価してくださっていたことから、具

体的な話が進み、今回「CLIE」に標準搭載するというかたちで最初のPalmデバイス対応製品を発表することができました。

「ATOK Pocket」はCE版とPalm版だけですか？

鈴木 名称を別にすれば、小さなサイズのATOKは「ATOK Pocket」だけではありません。「組込型ATOK」では、契約上「これはATOKです」と公言できないものもありますが、すでにさまざまな家電機器に搭載されています。一方で基礎的な面では「よりコンパクトに」という改良も重ねていたことが、今回の「ATOK Pocket」にも結び付いたといえます。

「CLIE」に標準装備された「ATOK Pocket」を、ほかのPalmデバイス向けに販売する予定はありますか？

鈴木 まず、今回「CLIE」に搭載した「ATOK Pocket」は「ATOK Pocket for Palm OS」ではなく「～ for CLIE」。つまり、Palm OS用のATOKではなく、「CLIE」へのバンドルソフトという位置付けなので、すぐにPalm OS対応製品を発売できるわけではありません。Palm版というかたちについては考えていないわけではありませんが、OSバージョンの違いやJ-OS上での動作についても検証していかなければならないので、まだ具体的な話はできる段階ではありません。

「ATOK for Palm OS」を発売するときのメディアは何になると考えますか？

鈴木 Palmデバイスに共通の媒体は赤外線以外にありませんから、現実的な対応はCD-ROMでしょうね。しかし、Palmのソフトウェア市場は個人ユーザーがネットワークを通じて育ててきたという背景もありますから、その種の流通が行いやすい土壌を

作りたいですね。例えば、インターネット上でのソフト販売などを推進していきたいと考えています。

わずか数10文字だけで事足りる欧米と違い、日常使用する文字数が膨大な我が国では「文字入力」には「変換」という操作がつきまとう。だが、その操作方法がプラットフォームごとに違うようでは、連携して使うユーザーにとっては不便と言わざるを得ないだろう。日頃、職場や自宅のパソコンで使い慣れている「ATOK」がPalmに移植されたことで、大きな壁がひとつ取り除かれることになる。「ATOK Pocket」の登場が、Palm市場の活性化を促進することになるのではないだろうか。

ATOK Pocketのチューンナップ点

パソコン版では、従来からの高い変換効率に加え、変換間違いを減らすための「同音語選択支援」機能や繰り返し入力の手間を省く「推測変換」など、高機能が売り物の「ATOK」だが、メモリー容量もCPUパワーも限られたPalmOS機の中で、どれほどの高性能を確保することができたのだろうか。続いて「ATOK Pocket」の具体的な機能について伺ってみた。

Palm版は、パソコン版やCE版と違いがありますか？

鈴木 Palmの特徴としてグラフィティーがありますが、携帯情報端末の世界では入力デバイスとしてキーボードを持つウィンドウズCEのほうが特殊な存在ですね。CE版では基本的にパソコン版の流れを汲む「AI変換」や「自動入力補正機能」なども備えています。Palm版で継承しているのは

「すべてを入力しなくても正しい組み合わせを選べる」ということです。「なるべく少ない入力操作で正しい文字に変換する」ことを目指した「ATOK」の基本コンセプトに違いはありませんが、Palm版ではメモリーやCPUでさまざまな制限のため、「連文節変換」と「よく使う単語に合わせ、辞書をチューンナップする」というところまでに留めました。しかし、携帯情報端末として必要な語彙（手帳に書くことの多い単語など）や用例（アドレス帳やメール、スケジューラーで使う言い回しなど）をそろえた結果、高い変換効率を実現することができました。

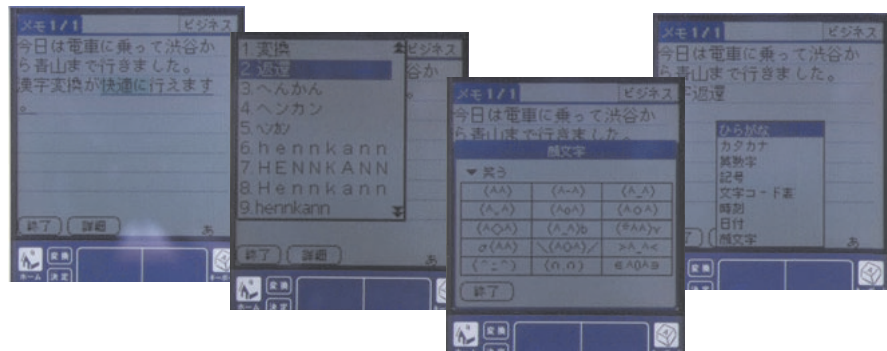
プログラムと辞書の容量は？

鈴木 「CLIE」バンドル版に関しては、容量などの詳細を公表していません。また、登録単語数については、ほかのOS版も含め、数値の公表を控えています。というのも、単純な登録単語数競争になつては意味がないからです。変換効率を高めるためには、登録単語数を増やすよりも辞書の関連付けや用例の分析のほうを重視すべきなのです。

高機能な漢字変換が求められる一方で、Palm陣営各社には「PDAは熟語変換で十分」という声もありますが？

鈴木 携帯情報端末の上で大きな文書を作ることはないとはいえ、入力を行うことがある以上、「文字入力しやすい」ということは重要です。特に同音異義語の多い漢字変換では、用例を考慮しない熟語変換では不十分といえます。そこで、まずPalmにキーボードを接続して使うことを想定し、その際に「やっぱりATOKだけのことはある」と評価されることを目標としました。「ATOK」の特徴でもある単語間の結び付きや自動学習などの機能を備えることはもちろんですが、PDAに多く使われる単語や用例を研究し、電子メール利用に重点を置いてチューニングしてあります。その結果、使い勝手は格段に向上していると自信を持っています。

Palmの長所のひとつに「初めてでも直感的に触れる」ことが挙げられていますが、



ATOKではソフトキーボードの文字種切り替え操作が標準のものとは違う理由はなぜですか？

鈴木 数世代前のパソコン版ATOK以降、日本語文中に含まれる英文字列も含めて変換できるようになりましたから、入力段階で「かな」と「英字」を区別する必要はありません。また「ATOK Pocket」では、Palmの特徴であるグラフィティーにも対応しているのはもちろんですが、ソニー独自の「ジョグシャトル」による候補語の選択や文字の確定ができるなど、ハードウェア特有の機能も生かしていますから、すぐに慣れていただけると確信しています。

キーボードを持たないPalm本体では、ソフトキーボードを使うのですか？

鈴木 Palmの入力インターフェースの基本はグラフィティーと文字パレット（ソフトキーボード）ですが、どちらも使えます。ただし、グラフィティーについては何も変更は加えていませんので、ローマ字で入力することになります。一方、文字パレットはジャストシステムなりの改良を加えています。文字種や用途別に入力パネルを分けてあるので、簡単にソフトキーボード部分を入れ替えたり追加することができます。顔文字パレットや時刻、日付などのソフトキーボードもそのひとつみたいなものです。これらの情報は開示していきますので、独自のソフトキーボードを作ることできるというのが、Palm版ATOKの特徴のひとつです。

手書き入力の活用は考えていないのでしょうか？

鈴木 グラフィティーをローマ字入力として活用することはできますが、「ATOK Pocket」ではかなや漢字の手書き入力はできません。もちろん、これらの研究も進めてはいるのですが、入力方法についてはさまざまな特許が存在しているし、一朝一夕には実現できないハードウェア絡みの問題もあります。今後、ハードメーカーなどと協力して実現できる機能もあると思いますので、将来に期待してほしいというところでしょうか。

入力という面では、スタイラスペンな

どにこだわりはありませんか？「ATOK」の使いやすさを向上させるものが考えられると面白そうですが……。

鈴木 「ATOK」だけを基準に考えるわけにはいきませんが、スタイラスペンの工夫で入力操作をラクにすることはできそうですね。店頭でのパッケージ売りの際に、販促物として考えても面白いですね(笑)。

Palmの用途として特定業務分野も少ないと思うのですが、業種別辞書や用途別辞書は用意されていないのでしょうか？

鈴木 ソニーでは個人市場を狙っているようですが、ビジネス市場でも売れる商品だと思いますし、複数の辞書が使えるようにする必要はあると考えていました。システム的には標準装備したPDA専用辞書のほかに2種類の補助辞書を利用できるようにしてあります。これは単純に語彙数を増やすための拡張辞書というだけでなく、特定業務向け専用辞書の拡張という用途も考えたうえで設計です。「CLIE」にはメモリスティックが装備できますから、業務用アプリケーションに合わせた専用辞書を入れることで使い勝手が向上すると考えています。

辞書の拡張やウィンドウズ版で作ったユーザー辞書などは流用できないのでしょうか？

鈴木 ユーザー辞書には400単語まで登録することができますし、拡張システム辞書や追加辞書、特定業種向けの辞書などを発売することも考えています。新たな補助辞書を作るにはユーティリティソフトが必要となりますが、どのようなかたちでユーザーに提供するかについては一切決まっています。店頭での販売になるかもしれませんが、オンライン配布となるかもしれません。それとウィンドウズ版で作ったユーザー辞書からの流用についてもユーティリティを開発中ですが、これもまだ提供できる状態にはなっていません。

バージョンアップを重ね、変換効率ほぼ最終段階といえるところまで進化したパソコン版ATOKユーザーの期待に応えたいと考えながらも、メモリーやCPUの制限の中でPDAの軽快さを維持するという難しい

要求を実現した「ATOK Pocket」は、Palmの基本路線に従い「情報公開」を行うという。従来の「ATOK」にはなかった考え方だ。ユーザー自身が辞書やソフトキーを自由に開発できる環境が今後の「ATOK Pocket」の進化を速めると期待してもいいのではないだろうか。

「ATOK」に続く Palm対応アプリケーション

ATOK Pocket開発秘話がありますか？

鈴木 いちばん苦勞したのは、Palm OSにIMEを組み込む仕組みが用意されていない点です。結局、公開されているAPIを使い、一般のアプリケーションソフトと同じイメージで作らざるを得ませんでした。既存のフリーソフトウェアとのバッティングなどの問題が発生したこともあり、作者の方たちにも協力していただき対策を立てました。また、日本語処理は、どうしても使用するメモリー消費やCPU負荷が高いので、通信ソフトとの共存が厳しかったですね。

「ATOK」でPalm市場へ参入したジャストシステムですが、ほかのソフト製品を出す予定はありますか？

鈴木 スケジュールソフトなどPDAで使う標準的なアプリケーションは、すでに多数存在しますから考えにくいですね。現時点で具体的な話はできませんが、iATOKとの連携や「ATOK Direct」のような製品なら、ASPサービスのなかたちでの提供も考えられそうですね。

パソコンの世界ではウィンドウズからLinuxへと動きがあるが、Palmの急速な普及はPDAの世界でもオープンプラットフォーム指向が望まれていることを示しているといえるだろう。かつてガチガチのガードを固めていたジャストシステムがPalm市場に参入してきたことで、またひとつ新しい時代が始まったと言えるのかもしれない。日本語処理ソフトも複数のメーカーから出てくるようになるのもっと面白い市場が生まれるのではないかと感じさせられた取材であった。

Webサイトでお買い物

オンラインショッピングを実践してみよう

Shopping

インターネットを利用することで、なかなか入手しにくい製品を簡単に、また比較的安価に入手することが可能となった。そこで、ここでは具体的にオンラインショップで製品を購入する方法を紹介しよう。Webページに表示される手順に従って、記入したりボタンをクリックしていけば、希望の商品を簡単に購入することができる。

山田 道夫 文

Webサイトでの 買い物は安全か

正直なところ、クレジットカードで支払う場合は必ずしも安全とは言い切れないのが、オンラインショッピング。しかし、それは普通の店で買物をして、必ずしも安全とは言えないのと似ている。

ただし、インターネットの場合は、ショップの規模などがわかりにくい場合が多いし、まだまだできたばかりのサービスだけに「あそこなら大丈夫」といった信用の蓄積が厚いとはいえない。そのため、クレジットカードなどの番号を知らせる場合、躊躇してしまう人も多い。

また、ショップの信頼問題のほかに、インターネットのショッピングならではの問題



Webサイトで お買い物

している店を選ぼう。あとは、クレジットカードの番号だけをFAXでやり取りできるショップを選んだり、万が一に備えて限度額の低いオンラインショッピング用のカードを用意するのも手だ。

実際にオンラインショッピングを体験

必要なもの

ここでは、Palmデバイスのオンラインショッピングサイトとして著名なVis-a-Visから「Palm Computing m100」(以下、Palm m100)を購入する場合を例にとる。SSLに対応したオンライン決済もできるが、銀行振込や代金引換え配送も選べる点ありがたい。

ホームページでじっくり吟味

Vis-a-Visのホームページ (<http://www.visavis.co.jp/>) にアクセスすると、自動的にショップヘジャンプする。

最初に表示されるのが[図1]だ。モニターがいくら大きくても、1画面では表示しきれない。しかし、本当に必要な情報は1画面目に表示するように工夫されている。情報サイトとしてもよくできていて、ちょっとした製品情報を知りたい場合などには、メーカー系のWebサイトを回るよりも、さまざまなメーカーの製品が一度に紹介されているため便利だった。当然、Vis-a-Visが扱っていない製品は紹介されていないが、取り扱い製品は非常にバリエーションに富んでいる。

ここで、「ブラウザの設定」のページを見ると、Vis-a-Visで買い物をするためには、WebブラウザでCookieを有効にしておく必要があることがわかる[図2]

オンラインショッピングをするのが今回の目的なので、[図1]に戻り「SHOP」のアイコンをクリックしよう。

[図3]では、細かなテーマごとに分類

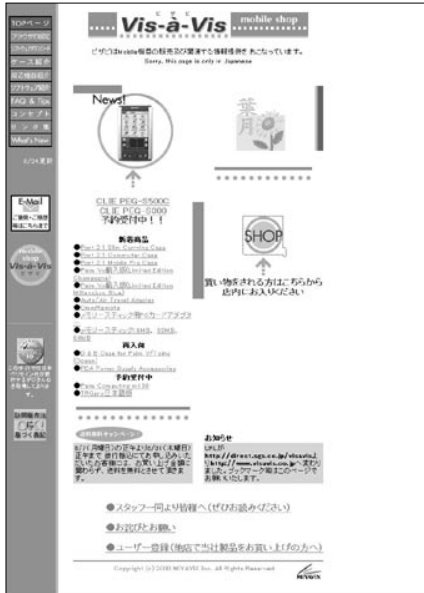


図1 Vis-a-Vis ([URL](http://www.visavis.co.jp/) <http://www.visavis.co.jp/>) のホームページ。オンラインショッピングが可能だけでなく、Palmに関するさまざまな情報が紹介されていることがわかる



図2 「ブラウザの設定」ページを見ると、Cookieを有効にしておく必要があることがわかる。また、Webブラウザでの対応方法も簡潔に記されている

もある。

ほとんどのショップでは、SSL (Secure Socket Layer) を使って、暗号化された情報のやり取りを行っている場合が多い。「Netscape Navigator」でカギが繋がったアイコンが画面の左下に現れたら、SSLで暗号化された状態であることを示している。しかし、SSLといえども100%安全とは言い切れない。セキュリティーホールが発見される可能性もあるし、店員がカード番号を悪用するかもしれない。疑い داشتらきりが無いが、最低限の目安としてSSLに対応

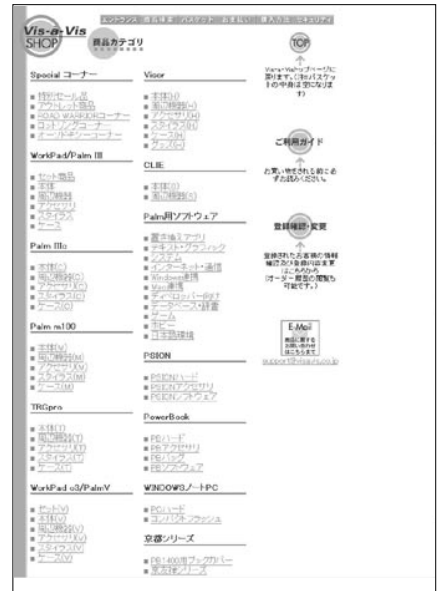


図3 非常にシンプルだが、わかりやすいリンク。製品ごとに分類されているので、すでにPalmデバイスを持っているユーザーは、自分の機種に合った商品を探すことなく探せる



図4 「ご利用ガイド」では、商品の受け渡し方法や代金の支払い方法、オンラインショッピングでの疑問点に対してもキチンと説明されている

されたリンクが集まっている。買う製品がはっきり決まっている人には便利な構成だ。ページとしてはかなり長いので、下までスクロールしてみよう。基本的な構成は、「製品本体」「周辺機器」「アクセサリ」「ス



図5 試しに「特別セール品」をクリックした。やや古い機種が割安で販売されている



図6 ほかの機種との比較ということで、「Visor」をクリックした



図7 Palm Computing m100のページ。ここでは簡単な紹介だけに終わっているが、より詳細な紹介文へジャンプすることもできる

「タイラス」「ケース」と製品ごとになっている。テーマごとに分けられていて、機種対応を探さなければならないページだと、自分の製品に対応しているかどうかをいちいちチェックしなければならない。しかし、

製品ごとの分類だと、商品自体が重複することはあっても、表示されるすべての製品が自分の機種に対応しているのわかりやすい。

「ご利用ガイド」は必ず読もう

ここでは「WorkPad」, 「Palm c」, 「Palm m100」, 「TRGpro」, 「WorkPad c3/Palm V」, 「Visor」, 「CLIE」に分けられている。さらにPalm用のソフトウェア、サイオン「PSION」や「PowerBook」, ノートパソコンなどの他機種にも分類されている。

各コーナーを見る前に、どのような運用システムになっているかを知るほうが先決だ。支払い方法や保証、安全対策などは気になるところだからだ。

「ご利用ガイド」アイコンをクリックすると[図4]になる。ここでは、商品の構成などがわかる(Vis-a-Visでは、シェアウェアの登録代金の支払いもできる)。Vis-a-Visの決済方法は、宅配業者を使った代引き/先払いの銀行振込/先払いのクレジットカードによる引き落としと、3種類ある。また、価格には一般的には消費税が含まれていないことや、受け付け自体は24時間OKだが、休業日に受け付けた場合は、翌営業日に発送などの手配を行うことが明示されている。Vis-a-Visの休業日は土・日/祝祭日、年末年始だ。また、返品・交換の場合、Palm 限定だが、代替機が用意されている



図8 より詳細な紹介が表示された。下のほうには製品の詳細なスペックが表示されている。もっとも、原稿執筆時点では発売日より前のため、予約のみの受付だった



図9 「バスケットへ追加」ボタンをクリックすると、購入する製品の確認が可能だ。もちろん、買い物続けることもできる



図10 今回は新規登録であったため、「お買い上げ&お客様登録」ページが表示された。一度でも購入したことがあれば、再度登録する必要はない

ことがわかって興味深い。

最初に利用する場合は、印刷してじっくり読んだほうがいいかもしれない。読み終わって納得したら、「戻る」アイコンをクリックしよう。

目的のPalm m100のページはすぐに見つかったわけだが、「Specialコーナー」もなかなか魅力的なタイトルでちょっと見てみたい。「特別セール品」をクリックすると[図5]となった。やや古い機種や新製品の登場が間近な製品が、かなり安い価格で販売されている。ついで、画面の下のほうの「Visor」の「本体(H)」をクリックして、スペックの比較をしてみよう[図6]

寄り道をしたが、Palm m100に戻ろう。リンクのPalm m100の下の「本体(M)」リンクをクリックすると、[図7]が現れた。製品情報を読んでみたくなったので、

Webサイトで お買い物



図11 必要事項を記入する必要がある。情報がどう扱われるかは、「ご利用ガイド」の「お客様の個人情報について」に記載されている。「お客様の同意なく個人情報を他に提供するのはありません。」ということだ



図12 ここで届け先などを確認する

「Palm Computing m100」リンクをクリックしたら、製品紹介が表示された[図8]。気に入ったので、製品を購入することに決めよう。「バスケットへ追加」アイコンをクリックすると、[図9]が表示された。再度、商品名や単価、数量などを確認する。「お買い上げ」をクリックすると「お買い上げ&お客様登録」ページが表示され[図10]。「新規登録」をクリック。すでに登録していた場合は、「ログイン」を選択して次のページでメールアドレスとパスワードを登録すればいい。

新規登録の場合は[図11]が表示されるので、必要事項を記載する必要がある。パスワードはコピー&ペーストではなく、実際に手入力しよう。普通はWebブラウザが憶えておいてくれるが、忘れると困るの



図13 最終的にここで情報を確認する。手順からいけば長いようにも感じるが、実際にはほとんど時間はかかっていない



図14 「ご購入の確認」画面。オーダー番号などは控えておこう

でPalmや紙の手帳などに記録しておく。

「登録」ボタンをクリックすると登録が完了する。

支払い方法を選んで買い物終了[図12]のように届ける先が表示されるので確認する。ここで支払い方法を選択することができる。「代引き」「銀行振込」「クレジットカードオンライン」「クレジットカードFAX」から選択する。ここでは、代引きを選んだ。

次に「合計」を選ぶと、購入した製品や数、合計金額、届け先の最終確認画面とな



図15 Vis-a-Visのページは、製品情報も豊富な。中でもケースは一見の価値がある。国内ではVis-a-Visしが扱っていないようなものもある



図16 周辺機器も、Palmデバイス関連はほとんどそろっている

る[図13]。ここで「お買い上げ」をクリックし、[図14]のようにオーダー番号が表示され、申し込みが完了する。オーダー番号は問い合わせのために控えておこう。

1日以内にオーダー受け付けメールが届くはずだが、万一届かない場合は、指定されたメールアドレスまで問い合わせる必要がある。

ほかにも「ケース紹介」([図15])や「周辺機器紹介」([図16])などのページを見ているだけでも楽しくなってくる。十分に楽しみながらのショッピングが可能だ。

Web これだけ増えた Webサイト

オンライン・Palm 販売ショップリスト

オンラインショッピングのできるWebサイトは日々増えているといっても過言ではない。ここでは、メーカー系とショップの主だったWebサイトを紹介します。いろいろと見て回って、お気に入りのショップを見つけてほしい。

(8月25日調べ。現在の状況とは異なっている場合があります:50音順)

【メーカー系】

ソニー・スタイル

URL <http://www.jp.sonystyle.com/peg/>

販売元: ソニースタイルドットコム・ジャパン(株)カスタマーセンター
東京都港区港南1-8-15 Wビル

TEL: 03-5783-1122

8月21日にCLIEの先行予約を開始した。一時期はつながりにくいほどの混雑状況だったという。

ほかのショップ販売などとは異なり、CLIEでケーブルアダプター、メモリスティックなしモデルも購入できる。価格はPEG-S500C/D(カラー液晶搭載)モデルが4万2800円、PEG-S300/D(モノクロ液晶搭載)モデルが3万7800円からと、ケーブルがない分だけ安価になっている。CLIE本体だけが必要であれば、おそらく日本で最も安価に購入できるサイトだ。支払い方法は、クレジットカード/代引き/銀行振込が可能。カタログページなども非常に充実している。



【メーカー系】

HANDSPRING

URL <http://www.handspring.co.jp/>

販売元: HANDSPRING(株)

東京都千代田区麹町3-4 トラストイ麹町ビル8F

TEL: 0120-517-301

アメリカでも通信販売をメインにしていたが、日本でもメーカー系の中では通信販売に力を入れていることがWebサイトを見てもわかる。見やすく、商品を購入しやすく、美しくデザインされている。カタログページも秀逸。

Palmデバイスは、Visor Deluxeのみの販売。価格は2万9800円。クレードルや、ケーブルなどのアクセサリ、HANDSPRING(株)のロゴなどが入ったTシャツ、帽子、鞆なども販売している。

Visorを選択した場合、クレードルはUSBが標準でシリアルはオプションになる。納期表示は、2週間以内/3週間以内/4週間以内と、いまだきのネット販売にしてはかなり遅め。人気機種だということもあるのだろうが、すぐに入手したい人には向かない。支払方法は、銀行振込/郵便振替/コンビニ決済/クレジット決済の4つから選択する。注文状況をWebページで調べることができる。



【メーカー系】

日本IBM

URL <http://www.ibm.co.jp/shop/shopibm/>

販売元: 日本アイ・ビー・エム(株)

東京都港区六本木3-2-12

TEL: 0120-301-586

WorkPad c3 Model 50Jを3万9900円で販売中。インターネットからのクレジットカードか銀行振込による方法、FAXによる方法、電話による注文が可能。WorkPad c3はPalm Vに比べて独自ソフトウェアをバンドルするなど、お買い得感はある。

Webサイトについていえば製品情報などは充実しているが、WorkPadを発売開始したときの熱気を知る者にはややさびしい状況だ。



【ショップ】

イケショップ

イケショップモバイルプラザ

URL <http://www.ikeshop.co.jp/plaza/palm/index.html>
通信販売トップページ

URL <http://www.ikeshop.co.jp/direct/index.html>
販売元：(株)イケショップ通信販売部

東京都千代田区外神田5-1-15 岡野ビル5F

TEL : 03-3835-7221

Palmデバイスだけではなく、PSIONをはじめとした各種PDAの取り扱いでも著名。Palmデバイス本体での取り扱い製品はPalm、WorkPad、CLIE、TRGpro、Visor。価格はリスト形式でも表示できて便利。ちなみに、Palm Computing m100の予価は1万9800円。CLIEのPEG-S500Cは5万4800円、PEG-S300は4万9800円。TRGproは3万9800円。英語版のPalmデバイスの取り扱いも行っており、GUCCIなどのケース類や周辺機器も豊富だ。

フリーウェアやベータ版のダウンロードページもある。通信販売はメールオーダーで行う。銀行振込 / 代引き / 分割払い(ショッピングクレジット)の取り扱い。

Palmデバイスだけではなく、さまざまな製品の取り扱いがある分だけ、多少わかりにくいかもしれない。注文フォームによるメールオーダーのみの受け付けはやや面倒だ。



【ショップ】

MJSOFT

URL http://www.ijnet.or.jp/MJSOFT/index_palm.html
販売元：MJソフト自由が丘店

東京都目黒区自由ヶ丘1-7-15 バルテ・フォンタン2F

TEL : 03-5731-8081

PC本体なども取り扱う。PalmデバイスだとPalm (m100が1万9500円) CLIE (PEG-S300が4万8800円、PEG-S500cが5万3800円) WorkPad c3、TRGpro日本語版など。価格は平均的だが、m100はほかのショップと比べて300円安い。

キーボードやフェイスプレートなど多彩な周辺機器、アクセサリやケースも取り扱う。周辺機器は機種ごとに分類されており、小さな写真の多用や詳細な説明で見やすくわかりやすい。ただし、注文の際にはマック関連商品とマック以外の関連商品とでは入力フォームが異なるので要注意だ。

注文もカタログ表示のページから簡単にジャンプできる。シートに記入して購入する。支払いは、代引き / 銀行振込 / クレジットカード / 現金書留に対応している。Palmデバイスの基本仕様、搭載ソフト、付属品といった情報もきちんと掲載されている。



【ショップ】

Vis-a-Vis

URL <http://www.visavis.co.jp/shop/>

販売元：(株)ミヤビックス

京都市下京区丸烏通仏光寺下の大政所町680

(住友生命丸烏通ビル)

TEL : 075-344-1169

Palmデバイス本体だけではなく豊富な周辺機器、ケースなど独自の仕入れも魅力。商品説明も丁寧だ。PalmについてのFAQも充実している。

m100の予価は1万9800円。PEG-S500Cは5万4800円、PEG-S300は4万9800円。TRGpro日本語版は4万2800円。

支払いは代引き / 先払い / 銀行振込 / 同じくクレジットカードの3種。



【ショップ】

Pilot Pro Shop

URL <http://www.cup.com/pilot/>

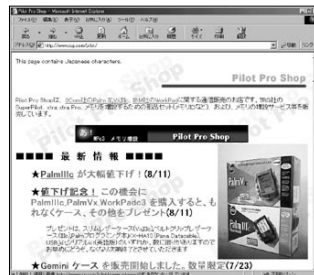
販売元：(有)オープンセサミ

神奈川県座間市緑ヶ丘4-13-42

FAX : 0462-36-3071

取り扱いはPalmとWorkPad。m100の値段はまだ紹介されていない。Palm cが税、送料込みで4万3600円。フラッシュメモリーの未使用部分を使用するFlashProの販売も行う。また、PalmPilot用の取り換えケースであるGminiケースの販売なども行っている。ある意味ではマニアックな店。

注文方法は、注文フォームから申し込むかEメールまたはFAXで申し込む。



【ショップ】
PDA工房

URL <http://www.u-systems.co.jp/pda/>
販売元：ユニバーサルシステムズ(株) PDA工房

〒710-0826 岡山県倉敷市老松町2-6-9 守安ビル

TEL : 086-430-0430

Palmデバイス本体はIBM、Palm、TRG、Visor。在庫状況が一覧表示で、×でわかる。m100の予価は1万9800円。CLIEの取り扱いはない。WorkPad C3 8602-30Jの8MB改造モデルを売っていたりする。メモリー増設や、フラッシュ増設、ボタン交換、カスタマイズなどのオリジナルな改造サービスも行っている。

周辺機器などは各Palmデバイスごとに使用可能な製品が分類されていてわかりやすい。製品も豊富。珍しいところでは、海外で最低限必要となる機器やアダプターを中心に紹介した「旅先通信」というコーナーもある。

購入する場合は、Webブラウザのcookieを使用する。

支払い方法は、銀行振込 / 代金引換 / 現金。入金確認後または代引き注文後、在庫のある商品は翌営業日までに発送、在庫のない商品は入荷次第発送するという。



【ショップ】
MacLet

URL <http://www.maclet.com/>
販売元：マックレットドットコム(株)

東京都港区西麻布1-7-10

TEL : 03-3445-9026

Macintoshも取り扱っており、PDA専門店ではないが、製品の紹介などは早い。8月25日時点の取り扱いはPalm、TRGpro日本語版。m100の予価は1万9800円。TRGpro日本語版は4万2800円。

ハードディスク、CD-R、CD-RW、ネットワークといった。周辺機器なども取り扱っている。ただし、5件ずつ表示させるスタイルはやや使いにくいかもしれない。

SSLによるWebサイトからの購入が可能だが、会員登録が必要。また、商品到着後14日以内の場合返品が可能であることを明示している(返品送料は購入者負担)。

MacLetは、Palmデバイスのアウトレットショップとして「MacLet 楽天市場支店」をオープンした(URL <http://www.rakuten.co.jp/maclet/>)。また、PDA Letも近日オープン予定だ。



【ショップ】
Hitin

URL <http://www.hitin.com/>
販売元：Hitin

東京都北区赤羽台3-1-19 綿貫ビル2F

TEL : 03-5963-7500 (平日13:00 ~ 18:00)

Palm c、Palm VとWorkPad c3を販売中。また、英語版のPalm eや英語版のPalm Vなども発売している。主にメモリーのアップグレードに力を注いでおり、8MB増設モデルはもちろんのこと、海外からの直輸入品など品数も豊富だ。また、Palm x用のクリアカラーケースなども販売している。

SSLを使った申し込みが可能。



【ショップ】
Master

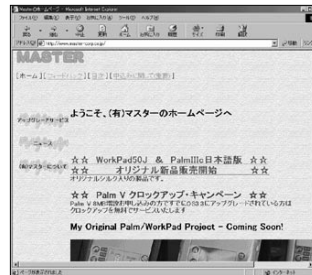
URL <http://www.master-corp.co.jp/>
販売元：(有)マスター

東京都千代田区外神田3-8-7 神栄ビル7F

TEL : 03-3526-5090

WorkPad50JとPalm c日本語版のオリジナルを販売している。シルクスクリーンに改造を施した名前入れサービス付きのWorkPad 50Jオリジナルは、5万1240円(消費税、送料、代引き手数料込み)。オリジナルシルク入りのPalm c日本語版オリジナルは、5万9640円(消費税、送料、代引き手数料込み)。

Palm Vクロックアップ・キャンペーン、TRGproフラッシュメモリーアップグレードサービスなども行っている。フォームにて申し込む。



FAQ

佐橋 慶信

今年になってメーカー各社から続々と日本語版のPalmデバイスが発売され、新しくPalmユーザーの仲間入りをした読者も多いだろう。ひと口にPalmデバイスといっても、デバイスの種類によって、カラー/白黒、電池式/充電式、Palm OSのバージョンなど、数々の違いがある。なかには、Palmならではの使い方に戸惑うケースもあるかもしれない。ここでは、こんなときはどうすればいいかという素朴な疑問に答えるとともに、基本的なPalmデバイスの扱い方や知っていると便利な使い方などを紹介しよう。

それに新しく登場したPalm m100やCLIEでは、そもそもコネクタの形状自体が異なっているため、物理的に接続することはできない。また、ACアダプター付属で充電機能を備えたもの、電池対応で充電機能のないものが存在する。

Palm とWorkPad (30J)、Palm xとPalm など、完全に互換性が保たれている場合は問題ないのだが、基本的にほかの機種種のクレードルを使うのは厳禁と考えるべきだ。コネクタの形状に互換性があっても、充電機能付きのクレードルに電池式Palmデバイスに乗せるのも止めておこう。もしも充電用端子がショートした場合、クレードル、Palmデバイスともにダメージを受ける可能性があるためだ。Palm cとPalm がこの組み合わせに当たる。



各種Palmデバイスのコネクタ形状の違い
 左上 SONY CLIE PEG-S500C
 左下 Palm c (Palm 、WorkPad 30J、TRGproなども同様)
 右上 Visor
 右下 Palm x (Palm V、WorkPad 40J/50Jも同様)

Q 最初の充電はどれくらいすればいい?

A Palmデバイスには、単4乾電池2本で動作する電池式のもの、本体に内蔵された充電電池で動作する充電式のもの

の2種類がある。このうち、電池式Palmデバイスは、購入直後に電池を挿入すればすぐに使用できるようになる。それに対して、充電式Palmデバイスの場合は、工場出荷時にはほとんど充電されていないので、まず最初に十分に充電しておく必要がある。

機種によって若干異なるが、充電機能付きのクレードルや専用のACアダプターがパッケージに付属しているはずだ。これらを使って、4~8時間程度は充電しておこう。ちなみに、Palm cの場合は充電完了がLEDの色の違いで判明するが、ほとんどのPalmデバイスでは充電状態は把握できない。そのため、「最初は長めに」というのが充電のコツだ。



電池式の場合は、単4乾電池2本を装着すれば、すぐに使用可能になる。



CLIEの場合は、クレードルの後部にACアダプターを接続できる



充電式の場合は、充電機能付きクレードルなどを使って十分に充電しておく

Q ほかの機種種のクレードルは使える?

A Palmデバイスにとって、クレードルは必要不可欠な存在だ。クレードルを経由してパソコンとのデータのやり取りが行えるのだし、充電式Palmデバイスの場合はクレードル経由で充電するケースがほとんどだ。

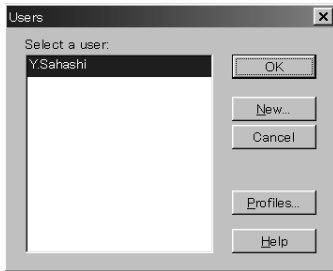
ひと口にクレードルといっても、その仕様はPalmデバイスごとに異なっている。例えば、Palm 系のものとはPalm 系のもの、

Q ユーザー名は漢字がいい? それともアルファベット?

A 購入直後やハードリセットしたあとで、PalmデバイスをPalm DesktopとHotSyncすると「ユーザー名」を尋ねられる。既存のユーザー名がある場合には、その中から選択すればいい。しかし、Palm Desktopもインストールした直後の場合は、ユーザー名を入力する必要がある。このユーザー名は、通常Palmデバイス側からは変更できない。変更する場合は、ハードリセ

ットで初期状態に戻すか、フリーウェアの「PalmName」(<http://www.mulliner.org/palm/palmname.html>)などのユーティリティーが必要となる。

ところで、このユーザー名は、日本語の名前をそのまま入力しておけばいいのだろうか。通常ユーザー名については、Palm DesktopとのHotSync時に確認される程度の使い方がないように思える。しかし、実はもうひとつ重要な役割がある。シェアウェアのレジスト(登録)時に、ユーザー名が必要になる場合があるのだ。海外のシェアウェアを使う場合、漢字やひらがなといった「ダブルバイト」と呼ばれるユーザー名を使用していると、うまく正式ユーザーとして登録されないケースがある。将来、海外のシェアウェアを使うことも考えて、ユーザー名は半角のアルファベットを使っておいた方がいい。



ハードリセットしたあとでHotSyncすると、ユーザー名を尋ねられる。これは、Palm Desktop英語版



「Palm Name」を使用すれば、ユーザー名は自由に変更できる



「DataBk3」というシェアウェアの登録画面。ユーザーごとにレジストIDは異なっている。日本語ユーザー名だとうまくレジストできない

Q Palm Desktopのバックアップはどうすればいい?

A Palmデバイスのデータは、パソコン側のPalm Desktopにバックアップされている。では、Palm Desktopのデータはどのようにバックアップしておけばいいだろう。

まず、バックアップのタイミングを考えよう。Palmデバイスに新たにアプリケーションをインストールしたり、大きく環境を変更したときは、その時点でバックアップを行っておくべきだ。また、出張や旅行などでPalmデバイスを持ち歩く機会が増える前にも、バックアップは行っておきたい。しかし、最も確実でお勧めできるバックアップタイミングは、定期的に日時を決めてバックアップを行うことだ。例えば、毎週日曜日の朝とか、毎月1日に行うといったように決めるわけだ。

ウィンドウズの場合は、エクスプローラーなどで、ユーザーフォルダーを別のドライブやMO、CD-Rなどにバックアップしておく。ちなみに、筆者の場合は「C:\Palm\Y」フォルダーにユーザーフォルダーが作成されているので、このフォルダーごとエクスプローラーなどでバックアップメディアに保存している。もちろん、ハードディスク全体をバックアップしてもいいが、簡単にリストアするためには、ユーザーフォルダーだけをコピーしておくが便利だ。リストアしたい場合は、新規にインストールしたPalm Desktopにユーザーを追加し、そのあとでユーザーフォルダーを書き戻しておく。

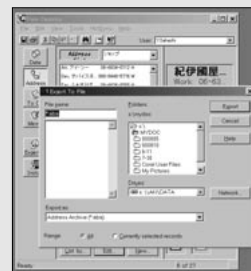
マックの場合は、「ファイル」メニューから「コピーを保存」を選べば、ユーザー環境のバックアップが用意できる。元に戻すときも、新規にユーザーを作成して「マージ」で行える。全体のバックアップを取りたい場合は、ユーザー情報が保存されているフォルダーごとバックアップしておく。

リストアする場合には、新規にインストールしたPalm Desktopにユーザー名を追加し、保存先のデータをマージすればいい。

アドレス帳や予定表などは、それぞれ別のファイル形式にエクスポートして保存しておくという方法がある。もともとエクスポートは、ほかのデータベースやPIMアプリケーションで使用するための方法だが、定期的に別の形式に保存しておくことで、簡単に元の状態に戻せる。個別のバックアップを行っておくと、ユーザー名が異なる複数のPalmデバイスに書き戻すこともできるので、時と場合によって使い分けるといいだろう。



マックの場合は、「マージ」を使ってほかのユーザー環境を結合したり書き戻すことができる



定期的にデータをエクスポートしておけば、ほかのアプリケーションでも利用できる。Palm Desktopを再インストールしたときも同様に使用可能だ

Q HotSync時間を短縮したい

A HotSyncに要する時間が短くならないかというのは、多くのPalmユーザーが感じていることだろう。そのようなとき

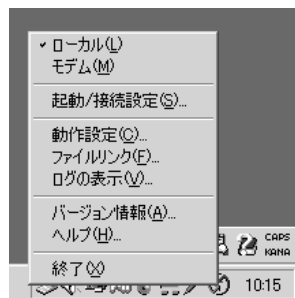
は、コンジットの設定が有効だ。ウィンドウズの場合、コンジットの設定はHotSyncマネージャーの「動作設定」で行う。Palmデバイスの各アプリケーションと、同期するかしないかを設定できる。コンジットを初期設定のまま使用しているユーザーは意外に多いが、この設定を変更することで、

HotSyncに要する時間を短縮することができるのである。

例えば、「支払いメモ」や「ToDo」など、標準搭載のアプリケーションのいくつかを使っていないユーザーも多い。筆者も「支払いメモ」はほかのアプリケーションで代用しているので、通常はほとんど使用しない。このような使っていないコンジットがあれば、動作の設定を「ファイルの同期」から「何もしない」に変更しておくといふ。ただし、Palmデバイス側でデータを入力しても、Palm Desktop側には反映されないのに注意が必要だ。

実は、Palm Desktop側からだけでなく、Palmデバイス側からもコンジットの設定は行える。「HotSync」のオプションメニューで「コンジットの設定」を選択すると、それぞれのコンジットについて個別に設定できるのである。こちらからも、同期する必要のないコンジットのチェックをはずして、HotSync時間を短縮することができる。

ただし、例えば「電卓」のチェックをはずしておく、電卓で使用した過去の履歴などのデータも、Palm Desktop側にはバックアップされない。このように、アプリケーションのチェックをはずすと、そのデータはバックアップされないのに注意が必要だ。



ツールバーのHotSyncアイコン上でマウスを右クリックすると、HotSyncマネージャーの設定メニューが開く



コンジットの設定画面。HotSync時の動作をアプリケーションごとに設定できる



HotSyncアプリケーションのオプションメニューから「コンジットの設定」を選ぶ



HotSync不要なアプリケーションのチェックマークをはずしておく、HotSyncに要する時間が短縮される

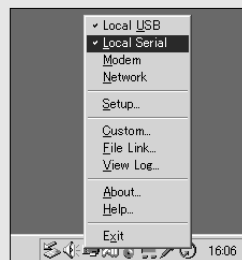
Q 複数のPalmデバイスを1台のパソコンで使用したい

A Palm Computing m100やCLIE、TRGpro日本語版などが相次いで登場し、複数のPalmデバイスを持つユーザーも増えてきたようだ。では、1台のパソコンで、複数のPalmデバイスと同期をとることは可能だろうか。

まず、同じ機種あるいはクレードルの形状や仕様が同じタイプの場合には、1台のクレードルを使ってHotSyncすることができるため、別のユーザー名で使用するだけでOKだ。異なるタイプのクレードルの場合には、シリアル切り替えスイッチを使用するのがいいだろう。

複数のCOMポートを持つウィンドウズマシンであれば、COMポートを切り替えて使用するというのも可能ではあるが、HotSyncマネージャーをわざわざ切り替える必要があるため、かなり面倒だ。マックの場合でも、モデムポート、プリンターポートは切り替え可能だが、やはりHotSyncする前にHotSyncマネージャーで切り替えが必要になる。シリアル切り替えスイッチを操作するか、設定を変更するか、どちらにしても通常のHotSyncより少し手間がかかる。

現状で最も手間がかからない組み合わせは、VisorとWindows 98との組み合わせかもしれない。VisorのPalm Desktopは、シリアルポートとURBポートの両方に対応している。Visorを使用する場合はUSBポートを、ほかのPalmデバイスはCOMポートをそれぞれ指定しておけば、自動認識されて楽に運用できるはずだ。なお、このときユーザー名については、それぞれ別の名前にしておく必要がある。



VisorのPalm-Desktopを使用すれば、HotSyncマネージャーでUSBとシリアルを同時に指定できる

Q グラフィティー入力のコツはありますか？

A 手書きでアルファベットや数字などを入力するGraffitiは、Palmの特徴的な機能のひとつだ。ただし、初めて使うユーザーは、慣れるまで戸惑うことも多いようだ。そこで、グラフィティー入力のコツを伝授しよう。

筆順を変えてみる

2種類以上の筆順を持つ文字は、「B、D、F、G、M、O、P、R、V、X、Y」だ。特に「V」などは、筆順を変えてみると認識率が飛躍的に高まる。グラフィティーのヘルプ画面にはひとつの筆順しか表示されていないので、マニュアルを参考にして、筆順を変更してみよう。これだけで認識率が向上するはずだ。

筆圧を高める

少し強めに書くと、認識率は大きく変わる。最初と最後に強めにするだけでも、効

果は高い。

ハネずに止める

最後にきっちりと止めるクセを身に付けておくと、認識率は上がるようだ。無意識のうちに、文字の最後をはねたり流したりするクセのあるユーザーは注意しよう。

大きく書く

領域一杯に大きく書くと、認識率は高くなる。例えば、数字の「4」などは中途半端に書くよりも、いっそ「L」のような書き方をした方が認識しやすい。実は、日本語版Palmデバイスよりも英語版Palmデバイスの方が、グラフィティー領域が少し広いので、文字の入力がしやすいのだ。

少し高速に

慎重すぎるのも考えもので、あまり遅いとうまく認識しない。グラフィティーはかなり高速な入力でも認識するので、遠慮しないで素早く書いてみよう。

斜めに書かない

マウスの使い方と同じで、天地をきちんと水平に合わせて書くようにしよう。Palmデバイスを傾けて持つクセのあるユーザーは注意が必要だ。

スタイラスペンを替えてみる

入力用のスタイラスペンの種類を変更してみるのも、ひとつの手だ。筆圧の軽いユーザーは、重いペンにすると効果が上がるようだ。逆に、スピードを重視したい場合には、軽いペンが有効となる。スタイラスペンの先の材質によっても、書き味がかなり変わってくるはずだ。



Palmデバイスに付属のグラフィティー入力一覧シール。ケースやカバーに貼っておける

Q パソコンの住所録データを活用したい

A すでにパソコンを使っているユーザーであれば、何らかのかたちでデータを持っているはずだ。例えば、年賀状のための住所録の作成などは、パソコン購入と同時に取り組んだユーザーが多いのではないだろうか。このようなデータを標準搭載のアプリケーションにコンバートしてしまえば、Palmデバイスに新たにデータを入力する手間が省ける。

コンバートの方法は、マックやウィンドウズなど使用している環境によって異なるが、Palm Desktopのファイルメニューから「インポート」を選べばいい。住所録のインポートには、CSV形式のテキストファイルを使用するのが最も楽だろう。この方法はほとんどのデータベースソフトがサポートしているので、データの位置さえしっかり設定しておけば、確実にインポートできる。携帯電話メモリーの編集ソフト、年賀状ソフトなど、有効に利用してみたい。



Palm Desktopのファイルメニューから「インポート」を選べば、CSV形式のテキストファイルなどが読み込める

Q ショートカットって何？

A 入力時の変換効率、辞書を選んだり辞書を変更すれば向上するが、ショートカットを使うことによって、より効率的な入力も行える。ただし、日本語Palm OSでは、バージョン3.5からショートカットが使用できるようになった。したがって、

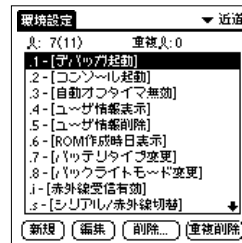
3.1のVisorやWorkPadシリーズの一部では、ショートカットが使用できないものがあるので注意していただきたい。

「環境設定」から「ショートカット」を選択すると、ショートカット一覧が表示される。ショートカット記号である筆記体の「^{エル}」のあとに、これらのアルファベットを入力すれば、それぞれに対応した文字列が入力される。おもしろいのは、日付や時刻などもリアルタイムで入力できる点だ。例えば、グラフィティーで、「^{エル}」（ショートカットキー）+「ts」と入力すれば、入力時の時刻がメモ帳などのアプリケーションに入力されるのである。予定やメモの入力には、非常に役に立つ機能だ。ショートカットは日/英どちらの環境でも使えるので、自分のメールアドレスなど、よく使う文字列を登録しておくといいたいだろう。

また、隠されたショートカットを表示する機能を持つユーティリティも存在する。「近道」(<http://www.fatal-error.com/jp/>)がそれだ。「近道」を使用すれば、通常は隠されているショートカットも表示できるのだ。例えば、バックライトの反転を行ってみただけで、「^{エル}」（ショートカットキー）+「。」+「8」を入力してリセットすればいい。ただし、元に戻す場合には、ハードリセットが必要なショートカットもあるので注意したい。特に「自動オフタイム無効」は要注意だ。



「環境設定」から「ショートカット」を選択すると、ショートカット一覧が表示される

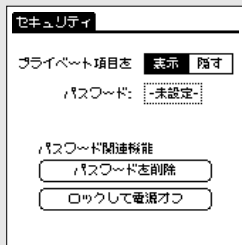


「近道」を使用すれば、システムに隠されているショートカットが判明する。ただし、使用する場合は注意が必要だ

Q**他人に見られたくないデータはどうすればいい？****A**

気軽に持ち歩けるというのがPalmデバイスの特徴だが、忘れたり、落したり、盗難にあったりという、セキュリティの不安もある。そこで、Palmデバイスに重要なデータを入れているユーザーは、必ずパスワードの設定を行っておきたい。

設定方法は簡単で、「データ保護」アプリケーションでパスワードを入力するだけだ。セキュリティは、プライベートアドレスだけを隠すレベルから、電源オン時にパスワードを要求するレベルまであり、ユーザーのニーズによって使い分けができる。



「データ保護」を起動してパスワード設定を行う。セキュリティにはいくつかのレベルがある



アドレスなどをプライベート設定にすると、パスワードで保護される

Q**名刺交換はどうすればできる？****A**

Palmデバイスのアドレス帳には、名刺機能がある。自分の住所データなどを設定しておけば、そのデータをほかのPalmデバイスに赤外線送信できるのだ。

名刺機能は非常に便利なのだが、プライベートとビジネスとで、使い分けたいとい

うユーザーも多いだろう。オンラインソフトの中には、いくつかの名刺を切り替えて使い分けられるものもある。しかし、標準状態のままでも名刺を切り替えることは可能で、新しく「名刺」カテゴリーを追加しておき、いくつかの名刺を用意しておけばいい。

また、名刺の送信はアドレスボタンを数秒間押し続けることで自動的に開始されるので、わざわざメニューから名刺の赤外線通信を選ぶ必要はない。よく使う機能だけに、いつでも対応できるように、名刺は必ず用意しておこう。

Q**パームウェアのインストール方法は？****A**

パームウェアのインストールは、ウィンドウズでもマックでも、非常に簡単に行える。

Palm Desktopがインストールされていれば、「.prc」や「.pdb」などの拡張子を持つファイルをダブルクリックするだけで、コンジットマネージャーが起動して「次のHotSync時にインストール」というメッセージが表示される。

複数のアプリケーションやデータを一度にインストールしたいときは、マウスを使ってデータをコンジットマネージャーにドラッグ&ドロップする。基本的な方法だが、たまにしかインストール作業を行わないユーザーは覚えておくと便利だ。

このほかに、DOCアプリに特化したインストールサポートツールや、HTMLファイルやテキストファイルのインストールツールなど、さまざまなパームウェアが公開されている。

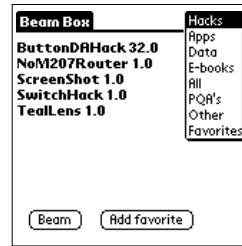


インストールツールのウィンドウ。このウィンドウに、「prc」や「pdb」ファイルをドラッグ&ドロップしてもインストールできる

Q**赤外線HotSyncに必要なものは？****A**

最新のPalm OS (3.3~3.5)では、赤外線HotSyncを行うために、新たにドライバーを追加する必要はない。しかし、Palm OS 3.0/3.1搭載のデバイスを使用しているユーザーが赤外線HotSyncを行うためには、Ir用ソフトウェアを追加する必要がある。これに関しては、機種によって異なるので注意が必要だ。

Palmデバイスでは、標準の状態ではアプリケーションの赤外線通信が可能になっている。しかし、データを赤外線通信したり、DAなどの特殊なアプリケーションを送受信することはできない。このような目的のために、オンライン上では赤外線通信の拡張アプリケーションが公開されている。例えば、「BeamBox」(<http://www.inkverse.com/beambox.html>)は、前述の機能に加えてDOCデータなどにも対応したアプリケーションである。



「BeamBox」を使用すれば、赤外線通信できないデータやHackソフトも送受信できる

Q**赤外線通信の距離は？****A**

通常Palmデバイスで赤外線通信を行う場合は、50~80cm程度の距離で行うのが適当だろう。あまり近くても、安定した赤外線通信は行えないからだ。ただし、周囲が明るい場合や、極端に気温が高い場合などは、通信距離を短くした方

が安定する場合が多い。赤外線は光を使って通信するため、周囲の光のノイズ、空気の歪みなどに弱い。また、インバーター蛍光灯にも弱いので、赤外線通信中は蛍光灯の光が当たらないように、影を作るとスムーズに通信できる場合がある。

Q 画面がフリーズしたらリセットすればいい？

A Palmデバイスのリセット方法は、大きく分けて4つある。ごく普通に使うリセットはソフトリセットで、これは背面のリセット穴をピンで突くだけというシンプルなものだ。画面が停止した場合などに利用するといい。データが破壊されることはほとんどない。

上ボタンリセットは、Hackソフトなどでトラブルが起こった場合に利用する。リセットピンを差すときに、上ボタンを押したままにしておく。この方法でリセットしたあとで問題を解決してから、ソフトリセットを試して問題がないか確認しておこう。

データの紛失を恐れないのであれば、ハードリセットが最も強力なリセット方法だ。これは電源ボタンを押しながらリセットピンを突くというもの。工場出荷の状態に戻されるので、入力してあったデータがすべて消えてしまう。したがって、パソコンと接続できる環境であらかじめHotSyncを行ってからリセットするべきだろう。

FlashProなどを利用して、フラッシュメモリー内にもアプリケーションやデータを置いてある場合には、メモ帳ボタンを押しながら背面のリセット穴にピンを差すという方法もある。この場合、フラッシュメモリー領域も初期化される。

Palmデバイスも動作が不安定になったりフリーズすることがある。その場その場の状況に応じて、リセット方法を使い分けるということ覚えておこう。

Q PHSや携帯電話と接続したい

A Palmデバイスの外部機器として、さまざまなモデムが用意されている。Palmデバイスでデータ通信を行う場合は、これらのモデムを利用することになる。

CLIEの場合は、専用モデムと3種類のケーブルが標準で用意されているので、PHSや携帯電話のほとんどに対応できる。唯一対応していないのは、cdmaOne方式だけだ。ようやく日本語版が登場したTRGproの場合は、一般的なコンパクトフラッシュ用のスロットを装備しているので、コンパクトフラッシュタイプのモデムやPHSを使用することができる。現在Palmユーザーの間では、TRGproとP-in Comp@ctの組み合わせがホットな話題となっている。

そのほかのPalmデバイスの場合は、本体下部のシリアルコネクタにモデムを装着できるタイプが多いので、自分が使っている機種に合ったモデムを利用すればいい。ただし、コネクタ形状などは機種によって異なるので、手持ちのPalmデバイスに接続できるかどうかをきちんと確認してから購入しよう。

例外として、NTTドコモのNM502iの場合は、電話機側に赤外線ポートを装備している。そのため、特別なモデムやケーブルなしで、Palmデバイスをワイヤレスに接続できるのである。



CLIEには、標準でモバイルコミュニケーションアダプターと3種類の接続ケーブルが用意されている



TRGproとP-in Comp@ctを組み合わせれば、外出先でのデータ通信もスマートに行える



一般的なPalmデバイスでは、本体下部にモデムを装着して通信を行う



NM502iの場合は電話機側に赤外線ポートを装備しているので、Palmデバイスの赤外線ポートと向き合わせれば、ワイヤレス通信が可能だ

現行機種を一挙に紹介



Palm デバイスカタログ

2000年に突入してから、日本におけるPalmコミュニティは一変した。カラーディスプレイを搭載した「Palm c」、カラフルなボディーで他とは一線を画す「Visor」、そしてソニー流の解釈によるPalmデバイス「CLIE」と様々なモデルが登場。メディアに露出する機会も激増し、これまでにない盛り上がりを見せている。ここでは、現行機種をひととおり取り上げ、その特徴をまとめてみた。購入の際に役立ててほしい。

CLIE(PEG-S500C/PEG-S300)

ソニー(株)

Tel. ☎0570-00-3311
<http://www.sony.co.jp/sd/PEG/>

ジョグダイヤルなどの独自機能を搭載
ソニーらしさを強調した注目の機種



PEG-S500C



PEG-S300

CLIEシリーズはカラーモデル「PEG-S500C」とモノクロモデル「PEG-S300」のラインアップで、いずれもソニーらしいギミックを満載している。その最たるものがジョグダイヤルの採用だ。片手で手軽にメニュー選択、スクロール操作が行える。さらにはメモリースティックに対応しているので、データのバックアップやメモリー増設も簡単。このほかに、本シリーズのために開発された日本語入力プログラム「エイトツック・ポケット ATOK Pocket」や画像ユーティリティー「ピクチャーギア・ポケット PictureGear Pocket」をはじめとするオリジナルアプリケーションが多数用意されている点も見逃せない。購入時に同社Webサイト「ソニースタイル」を利用すればメモリースティックの容量などオプションの選択も可能だ。なお、CLIEシリーズはマックに未対応。

メモリー容量	8MB (RAM) / 4MB (ROM)
ディスプレイ	160×160ドット (半透過型バックライト搭載STNカラー液晶 / バックライト搭載16階調モノクロ液晶)
CPU	CPU Motorola DragonBall EZ (20MHz)
バッテリー	充電式リチウムイオン電池内蔵型
インターフェース	シリアルポート、赤外線ポート メモリースティックスロット
OS	Palm OS 3.5日本語版
付属品	Palm Desktop日本語版 (ウィンドウズ版)、HotSyncクレードル (USB)、ACアダプター、カバー、スタイラスペン、携帯電話接続アダプター、携帯電話接続ケーブル (3種)、8MBメモリースティック
標準PIM以外の 付属アプリケーション	PictureGear Pocket、PictureGear 4.2 Lite、 Memory Stick Gate、ATOK、Pocket、PalmScape
外形寸法	縦115×横71×奥行き15mm
重量	120g
価格	オープンブライズ (PEG-S500C / 実売5万4800円前後、PEG-S300 / 4万9800円前後)

Visor Deluxe

HANDSPRING (株)

Tel. ☎0120-517-301
http://www.handspring.co.jp/

豊富なカラーバリエーションと
リーズナブルな価格がウリの人気機種



ブルー、オレンジ、グリーン、アイス、グラファイトの5色のカラーバリエーションが目を引くVisor。従来のPalmデバイスと比べるとずっとフレンドリーな印象を受けるが、標準搭載メモリーが容量8メガバイトであることに加え、「スプリングボード」という独自のスロットを備え、拡張性も高くスペックの面でも申し分ない。増設用メモリーやバックアップ用モジュール、また今後発表されるスプリングボードモジュールを追加すれば、MP3プレーヤーやデジタルカメラとして利用することも可能だ。プライスパフォーマンスは他社製品より高いと言える。

メモリー容量	8MB (RAM) / 4MB (マスクROM)
ディスプレイ	160 × 160ドット LCDモノクロ16階調
CPU	Motorola DragonBall EZ (16MHz)
バッテリー	アルカリ単4乾電池 × 2本
インターフェース	シリアルポート、赤外線ポート、スプリングボードスロット、内蔵マイク
OS	Palm OS 3.1 H2日本語版
付属品	Palm Desktop日本語版 (ウィンドウズ版) Palm Desktop日本語版 (マック版) HotSyncクレードル (USB) カバー、ソフトケース
標準PIM以外の 付属アプリケーション	予定表 +、CityTime
外形寸法	縦122 × 横76 × 奥行き15mm
重量	153g
価格	2万9800円

Palm Computing m100

パーム コンピューティング (株)

Tel. ☎0120-564-380
http://www.palm-japan.com/

2万円を切る価格設定でビギナーを
ターゲットに絞った入門機



100の最大の特徴は、ラウンドフォルムを強調したデザインと2万円を切る価格設定にある。米国および国内で急速にシェアを伸ばすVisorを意識してか、5色の「フェースプレート」という本体カバーをオプションで用意し、気分に応じて着替えることが可能になっている。スペックに関しては、標準搭載メモリーが容量2メガバイトでマスクROMを採用しているため、拡張性についてはあまり期待できない。しかし、標準的な機能を利用するだけなら本機でも問題はない。また「手書きメモ」や「クロック」といったm100にしか内蔵されないアプリケーションもある。初めてPalmを使ってみようという人やセカンドマシンを必要としているユーザーには魅力的な製品といえるだろう。

メモリー容量	2MB (RAM) / 4MB (ROM)
ディスプレイ	160 × 160ドット LCDモノクロ16階調
CPU	Motorola DragonBall EZ (16MHz)
バッテリー	アルカリ単4乾電池 × 2本
インターフェース	シリアルポート、赤外線ポート
OS	Palm OS 3.5 日本語版
付属品	Palm Desktopソフト (ウィンドウズ版、マック版) HotSyncケーブル、マック用シリアルアダプター
標準PIM以外の 付属アプリケーション	手書きメモ、クロック、基本スキル
外形寸法	縦118 × 横79 × 奥行き18mm
重量	137g
価格	1万9800円

Palm IIIc

パーム コンピューティング (株)

Tel. ☎0120-564-380
<http://www.palm-japan.com/>

Palmデバイス初の
カラー液晶ディスプレイを
搭載したフラッグシップマシン



Palm IIIcは256色表示が可能な透過型TFTを採用しており、モノクロ画面よりもはるかに高い視認性を持っている。また調節可能なバックライトを装備しているため、屋内や夜間でも快適な操作環境を実現。ディスプレイのカラー化によって懸念された動作および表示速度の鈍化もほとんど見られない。内蔵のリチウムイオン充電電池の駆動時間についても、ごく一般的な使用方法では極端にバッテリーを消費することもないようだ。気になるのは、重量とサイズ。カラー液晶を搭載するソニーのカラーモデル「PEG-S500C」と比較すると、大ぶりの印象は否めない。

メモリー容量	8MB (RAM) / 4MB (ROM)
ディスプレイ	160×160ドット TFT256色カラー
CPU	Motorola DragonBall EZ (20MHz)
バッテリー	充電式リチウムイオン電池内蔵型
インターフェース	シリアルポート、赤外線ポート
OS	Palm OS 3.5日本語版
付属品	Palm Desktop日本語版 (ウィンドウズ版) Palm Connect日本語版 (マック版) HotSyncクレードル (充電器兼用) マック用シリアルアダプター、ACアダプター、カバー、スタイラスペン
標準PIM以外の 付属アプリケーション	AlbumToGo、BackGammonなど
外形寸法	縦128×横80×奥行き17mm
重量	193g
価格	4万9800円

Palm Vx

パーム コンピューティング (株)

Tel. ☎0120-564-380
<http://www.palm-japan.com/>

本家パーム コンピューティング初の
日本語OSを搭載したPalmデバイス



世界最小 / 最軽量のスリムなサイズとアルミでまとわれたボディ、洗練されたデザインが特徴的なPalm Vx。もちろん性能の面でも、容量8メガバイトのメモリーを標準搭載し大量のデータおよびアプリケーションをインストール可能だ。モノクロディスプレイ表示能力も現行機種の中では最高の部類に属する。付属のクレードルは本体のデザインと同じくアルミ仕様となっており充電器としての機能も備えるが、従来のPalm 系のクレードルとは互換性はない。リチウムイオン充電電池の採用により、フル充電で2週間もの駆動時間を誇る。拡張性は決して高くないが、基本性能を十分に満たしなおかつメタリックシルバーの美しいデザインを併せ持つことで、歴代Palmデバイスの中でも非常に人気が高いモデルとなっている。

メモリー容量	8MB (RAM) / 4MB (ROM)
ディスプレイ	160×160ドット LCDモノクロ16階調
CPU	Motorola DragonBall EZ (20MHz)
バッテリー	充電式リチウムイオン電池内蔵型
インターフェース	シリアルポート、赤外線ポート
OS	Palm OS 3.5日本語版
付属品	Palm Desktop日本語版 (ウィンドウズ版) Palm Connect日本語版 (マック版) HotSyncクレードル (充電器兼用) マック用シリアルアダプター、ACアダプター、革製カバー、スタイラスペン×2本
外形寸法	縦114×横78×奥行き10mm
重量	113g
価格	4万1800円

WorkPad c3(50J)

日本IBM(株)

Tel. ☎0120-04-1992
http://www.ibm.co.jp/

日本のPalm市場を牽引してきた
WorkPadシリーズの最新機種



WorkPad c3(50J)は、旧モデル(30J)を競合機種Palm Vx相当にまでアップグレードしたものだ。Palm Vxとのハードウェア上のスペックに違いはない。ただし、WorkPad c3のほうが付属アプリケーションが豊富である。ウェブブラウザ「PalmScape」^{パームスケープ}、メールソフト「MultiMail」^{マルチメール}やロータスノーツとのデータを同期する「EasySync」^{イージーシンク}が添付されるのは魅力的。価格もWorkPad c3のほうがやや安価となっている。マックユーザーの場合、マック用の接続キットは一切付属せず、「PalmConnect」^{パームコネクト}(価4480円)を別途購入する必要がある。PHSモジュールを内蔵した「31J」という企業向けに開発されたPalmデバイスもある(市販予定なし)

メモリー容量	8MB (RAM) / 4MB (ROM)
ディスプレイ	160 × 160ドット LCDモノクロ16階調
CPU	CPU Motorola DragonBall EZ (20MHz)
バッテリー	充電式リチウムイオン電池内蔵型
インターフェース	シリアルポート、赤外線ポート
OS	Palm OS 3.5日本語版
付属品	Palm Desktop日本語版(ウィンドウズ版)、HotSyncクレードル(充電器兼用)、ACアダプター、革製カバー、スタイラスペン×2本
標準PIM以外の 付属アプリケーション	Lotus EasySync(ノーツ用)、WebSkechなど
外形寸法	縦115.5 × 横79 × 奥行き11.35mm
重量	119g
価格	オープンプライス(実売 3万9800円前後)

TRGpro 日本語版

株式会社エム・ディ・エス

Tel.03-3834-5250
http://www.mds2000.co.jp

株式会社アスク

Tel.03-5215-5650
http://www.ask-corp.co.jp/

コンパクトフラッシュに対応
拡張性



TRGproは地味な印象を受けるが、CF(コンパクトフラッシュ)カードスロットを備えており、付属の「CFPro」などのユーティリティとの組み合わせで現行のPalmデバイスの中でも抜群の拡張性を実現。カードスロットはType I対応なので、NTTドコモPHS「バルディオ611S」やPHSカード「P-in Com@ct」とウェブブラウザとメールソフトを用意だけでインターネットにアクセスできる。さらには米IBM社のマイクロドライブにも対応しているので、データのバックアップに困ることもない。設計はPalmシリーズがベースとなっているので、同シリーズの周辺機器を流用できる。現行Palmデバイスの中で唯一オーディオアンブスピーカーを搭載しているので音楽も楽しめる。

メモリー容量	8MB (RAM) / 4MB (ROM)
ディスプレイ	160 × 160ドット LCDモノクロ16階調
CPU	Motorola DragonBall EZ 16MHz
バッテリー	アルカリ単4乾電池×2本
インターフェース	シリアルポート、赤外線ポート、 CFカードスロット(CompactFlash Type I/II) オーディオアンブスピーカー
OS	Palm OS 3.5日本語版(CFスロットサポート拡張)
付属品	Palm Desktop日本語版、カバー、スタイラスペン
標準PIM以外の 付属アプリケーション	CFPro、CFBackup
外形寸法	縦121 × 横82 × 奥行き20mm
重量	170g
価格	オープンプライス(実売4万2800円前後)